6 サスペンション & アクスル

ホイールアライメント ……6－3
準備品 ……6－3
前点検項目 ……6－3
フロント点検および調整 ……6－4
2WS車 ……6－7
リヤトーイン点検および調整 ……6－7
4WS車 ……6－8
リヤ点検および調整 ……6－8
フロントサスペンション ……6－10
準備品 ……6－10
フロントショックアブソーバー ……6－11
脱着構成図 ……6－11
ASSY取りはずし ……6－11
ASSY点検 ……6－13
廃却方法 ……6－13
ASSY取り付け ……6－13
ボールジョイント ……6－16
脱着構成図 ……6－16
前点検 ……6－16
取りはずし ……6－16
点検 ……6－16
取り付け ……6－16
ロワーサスペンションアーム ……6－17
脱着構成図 ……6－17
取りはずし ……6－17
取り付け ……6－19
スタビライザー ……6－21
脱着構成図 ……6－21
取りはずし ……6－21
リンク点検 ……6－22
取り付け ……6－22
フロントアクスルハブ ……6－24
準備品 ……6－24
フロントアクスルハブ ……6－26
脱着分解構成図 ……6－26
取りはずし ……6－27
分解 ……6－28
組み付け ……6－30
取り付け ……6－31
ボルト交換 ……6－33
フロントドライブシャフト ……6－34
準備品 ……6－34
フロントドライブシャフト ……6－36
脱着分解構成図 ……6－36
取りはずし（全車） ……6－38
分解前点検（全車） ……6－40
3S-FE車 ……6－40
分解 ……6－40
ダストカバーおよびスナップリング交換 ……6－41
インボードジョイント分解，組み付け ……6－41
組み付け ……6－44
3S-GE車 ……6－45
分解 ……6－45
ダストカバーおよびスナップリング交換 ……6－47
インボードジョイント分解，組み付け ……6－47
組み付け ……6－50
取り付け（全車） ……6－52
リヤサスペンション ……6－54
準備品 ……6－54
リヤショックアブソーバー ……6－55
脱着構成図 ……6－55
ASSY取りはずし ……6－56
ASSY点検 ……6－58
廃却方法 ……6－58
ASSY取り付け ……6－58
ボールジョイント（4WS車） ……6－61
脱着構成図 ……6－61
前点検 ……6－61
取りはずし ……6－61
点検 ……6－62
取り付け ……6－62
ストラットロッド & サスペンションアーム ……6－64
2WS車 ……6－64
脱着構成図 ……6－64
取りはずし ……6－65
取り付け ……6－65
4WS車 ……6－68
脱着構成図 ……6－68
取りはずし ……6－69
取り付け ……6－69
スタビライザー ……6－72
脱着構成図 ……6－72
取りはずし ……6－72
リンク点検 ……6－73
取り付け ……6－73
リヤアクスルハブ ……6－74
準備品 ……6－74

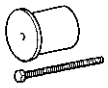
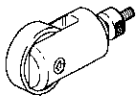
無断複製禁止

リヤアクスルハブ……6—76
脱着分解構成図……6—76
取りはずし……6—77
分解……6—78
組み付け……6—79
取り付け……6—80
ボルト交換……6—81
ボールジョイント点検（4WS車）……6—81
TEMS……6—82
準備品……6—82
部品配置図……6—82
機能点検……6—83
減衰力制御状態表示点検……6—83
制御機能点検……6—83
トラブルシューティング……6—86
トラブルシューティングの進め方……6—86
単体点検……6—94
コントロールスイッチ……6—94
アクチュエーター……6—94
ステアリングセンサー……6—94
ストップランプスイッチ……6—95
メーター……6—95
コンピューター……6—95

無断複製禁止

ホイールアライメント

準　備　品

工　具	ソケットレンチ(30mm)			フロントアクスルハブセットナット脱着用
	ブレーキペダルプッシャー			フロントホイールアライメントフットブレーキ保持用
計　器		㈱バンザイ扱い TB-302	フロントホイールアライメントアタッチメント	フロントホイールアライメント測定用
		㈱バンザイ扱い TB-331	フロントホイールアライメントアタッチメント	リヤホイールアライメント測定用(4WS車)
		㈱バンザイ 弥栄工業㈱扱い AA-828	ローラー測定子	タイヤの振れ測定用
	キャンバー，キャスター，キングピンゲージ			ホイールアライメント測定用
	ダイヤルゲージ			タイヤの振れ測定用
	ターニングラジアスゲージ			ホイールアライメント測定用
	トーインゲージ			トーイン測定用
	タイヤプレッシャーゲージ			タイヤ空気圧測定用
	トルクレンチ（500～2800kg·cm）			フロントアクスルハブセットナット締め付け用

前点検項目

1　タイヤサイズおよび摩耗状況点検

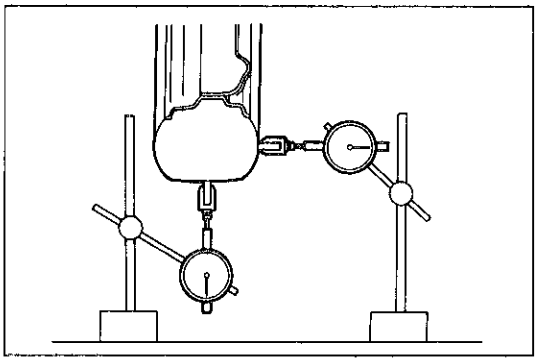
(1)　サイズ違いがなく左右の摩耗差および偏摩耗が著しくないことを点検する。

2　タイヤ空気圧点検

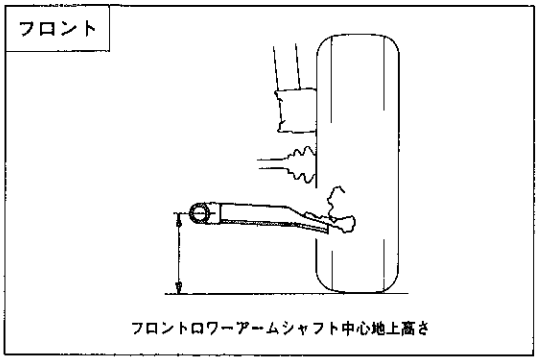
基準値

タイヤサイズ	型　式	一般走行時(kg/cm²)	
		前　輪	後　輪
185/65 R14 85S(H)	ST182系(3S-FE) ST183系(3S-FE)	2.3	2.0
205/60R14 87H	ST182系(3S-GE) ST183系(3S-GE)	2.1	2.0

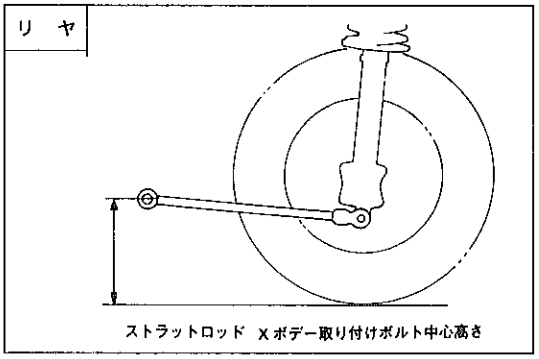
無断複製禁止



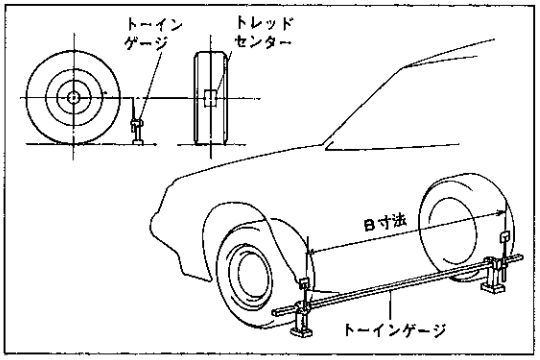
K1304



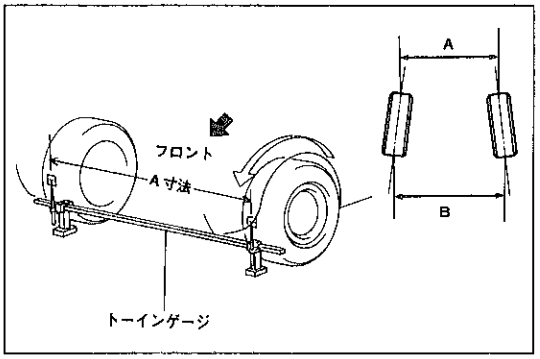
X0049



X0050



D2316　D7091



D2317　K8208

3　タイヤの振れ点検

限　度　　3.0mm（縦方向，横方向）

4　関係各部のボルトの締め付け状態点検

5　関係各部のガタ点検

6　車高点検

(1)　車両のコーナーを大きく上下に動かし，サスペンションを落ち着かせてから車両を点検する。

基準値（空車時）

	車　　高　　(mm)
フロント寸法	195
リ ヤ 寸 法	250

フロントホイールアライメント点検および調整

1　トーイン点検

(1)　車両をゆすり，車両を安定させる。

(2)　車両を直進で5m手押しして前進させる。

注意　車両を後退させた時は必ず後退させた距離分前進させる。

(3)　トーインゲージの指針高さをフロントホイール軸中心高さに合わせる。

(4)　前輪タイヤおのおのの後部にトレッドセンターを印し，マーク間の距離（B寸法）を測定する。

(5)　車両をゆっくり押して前進させ，前輪を180°回転させる。

注意　180°以上回転させないこと。オーバー回転した場合は，(3)からやり直す。

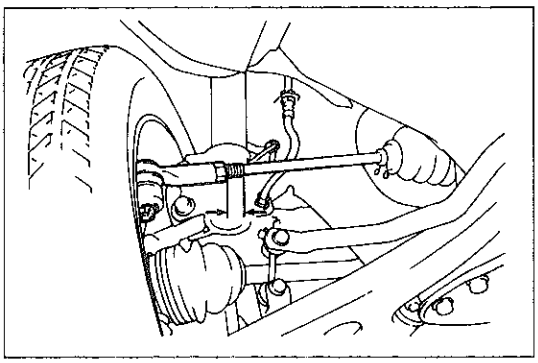
(6)　車両前部でマーク間の距離（A寸法）を測定する。

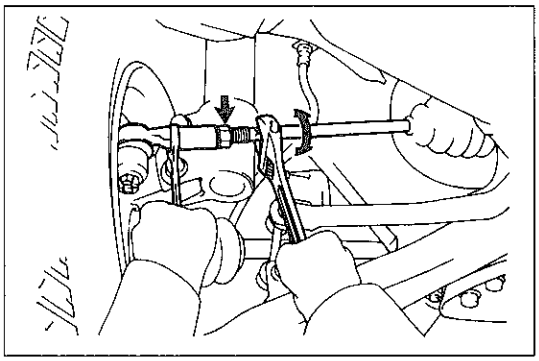
(7)　トーインを求める。

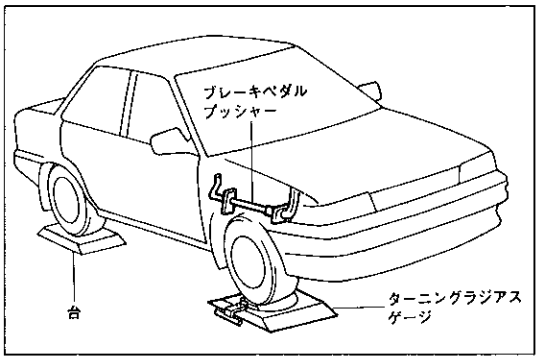
点検基準値　0±2mm

トーイン＝B寸法－A寸法

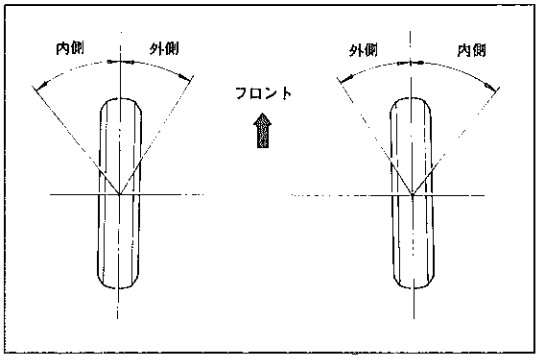
無断複製禁止


X0051

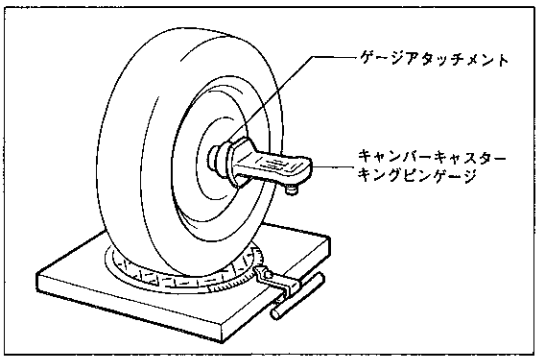

X0052



K1307



E5765



C8428

2　トーイン調整

注意　エアバッグ付き車のステアリングホイールパッドをはずした場合は取り扱いに注意する。
(詳細P9-2参照)

(1) 左右のラックエンドのねじ部の長さを測定する。
基　準　　左右差　　1 mm以内

(2) ラックブーツのクリップをはずす。

(3) タイロッドエンドのロックナットをゆるめる。

(4) ラックエンドねじ部の左右差が基準外の場合は(5)または(6)から，基準内の場合は(8)の調整を行う。

(5) 測定値がアウト側にはずれる場合は，寸法の短い方のラックエンドを伸ばす方向に調整する。

(6) 測定値がイン側にはずれる場合は，寸法の長い方のラックエンドを縮める方向に調整する。

(7) 再度トーインを点検する。

(8) 左右のラックエンドをおのおの反対方向に同量ずつ回し，トーインが基準値内に入るように調整する。
調整基準値　　0 ± 1 mm

(9) タイロッドエンドのロックナットを締め付ける。
T＝570kg·cm

(10) ラックブーツのねじれを修正して，クリップを取り付ける。
注意　クリップは車両後方に向ける。

3　ターニングラジアスゲージセット

注意
- 空車状態で，前輪が回転しないようにブレーキペダルプッシャーなどを使用してフットブレーキを効かせた状態で点検する。
- ストップランプが点灯しないようにストップランプヒューズを取りはずす。

4　ホイール切れ角点検

(1) ホイール切れ角を点検する。
基準値

内　側	36°10′±2°
外　側　(参 考)	31°10′

(2) 切れ角に左右差がある場合は，トーイン点検および調整を行う。

5　キャンバー，キャスター，キングピンアングル点検

(1) キャンバーキャスターキングピンゲージを取り付ける。
① ホイールキャップを取りはずす。
② コッターピン，ナットキャップをはずし，30mmのソケットを使用してアクスルハブセットナットを取りはずす。
注意
- ナットをはずした状態で車両を動かさない。
- アルミホイール車はタイヤを脱着して行う。

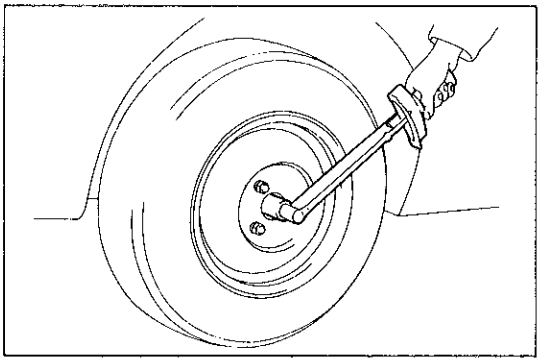
③ ゲージアタッチメントを手でいっぱい締め込む。
④ ゲージのセンターロッド先端をドライブシャフト部中心に合わせ，ゲージアタッチメントに取り付ける。

無断複製禁止

(2) キャンバー，キャスター，キングピンアングルを点検する。

基準値

アライメント	点検基準値	左右差限度
キャンバー	0° 00′ ±45′	30′ 以内
キャスター	1° 10′ ±45′	
キングピン アングル	14° 00′ ±45′	



K5375

(3) ケージおよびゲージアタッチメントを取りはずす。

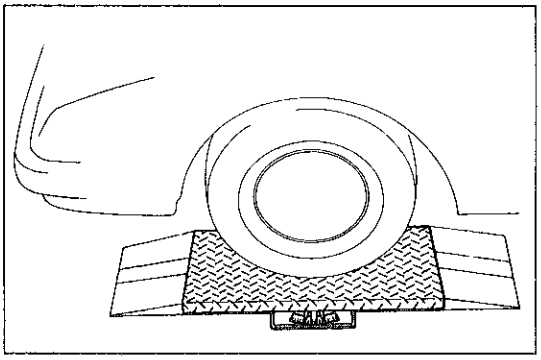
① ブレーキペダルを踏み，ブレーキが効いた状態で30mmのソケットレンチを使用してアクスルハブセットナットを規定トルクで締め付ける。

T＝1900kg·cm

② ナットキャップおよび新品のコッターピンを取り付ける。

注意　アルミホイール車はタイヤを脱着して行う。

③ ホイールキャップを取り付ける。



D7094

6　サイドスリップ点検

(1) サイドスリップテスターでサイドスリップを点検する。

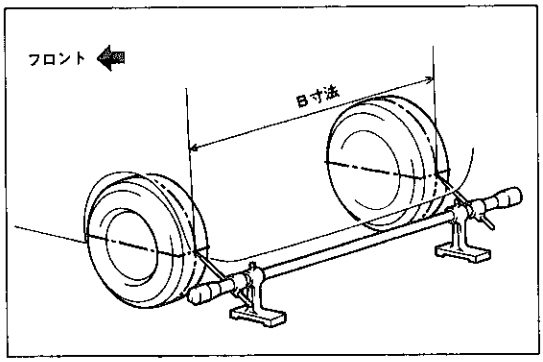
① テスター進入は直進方向に歩く速度（4 km/h程度）以下とし，ギヤ位置はニュートラルで行う。

基準値　0～3 mm（1 mにつき）

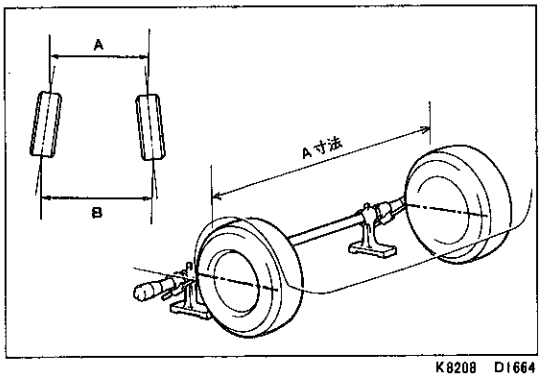
注意
- A/T車は必ずNレンジにする。
- テスター上でブレーキを踏まない。
- テスター上でステアリング操作をしない。

(2) 基準値外の場合はフロントホイールアライメントが正しいかどうか点検する。

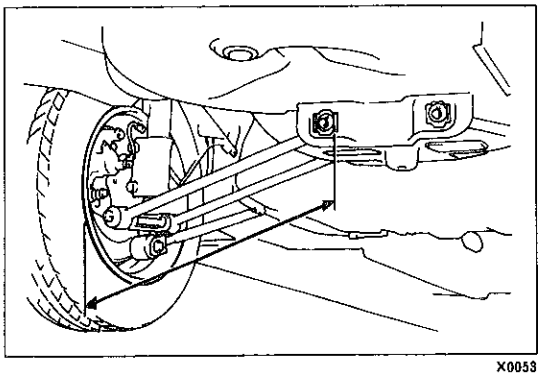
無断複製禁止

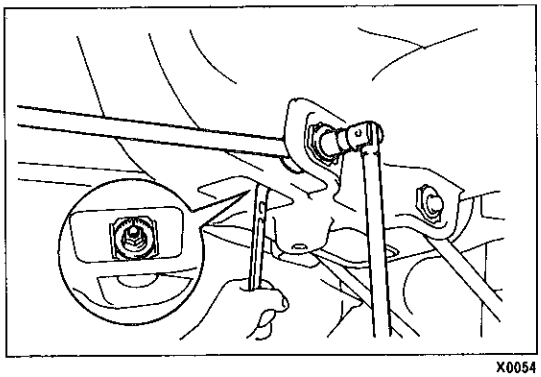


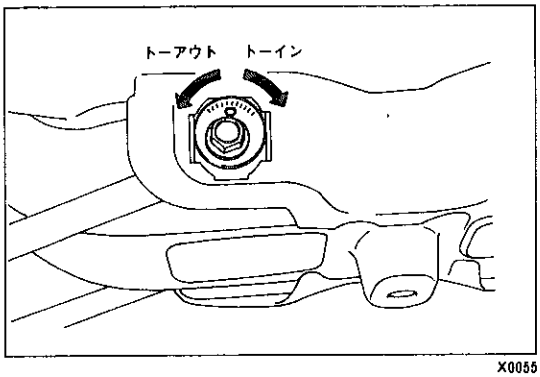
D1663



K8208　D1664


X0053


X0054



X0055

2WS車

リヤトーイン点検および調整

1　トーイン点検

(1) 車両をゆすり，車両を安定させる。

(2) 車両を直進で5m手押しして前進させる。

注意　後退させた時は必ず後退した距離分前進させる。

(3) トーインゲージの指針高さを必ずリヤホイール軸中心高さに合わせる。

(4) 後輪タイヤおのおのの後部にトレッドセンターを印し，マーク間の距離（B寸法）を測定する。

(5) 車両をゆっくり押して前進させ，後輪を180°回転させる。

注意　180°以上回転させないこと。オーバー回転した場合は，(3)からやり直す。

(6) 車両前部でマーク間の距離（A寸法）を測定する。

(7) トーインを求める。

点検基準値　5±2mm

トーイン＝B寸法－A寸法

2　トーイン調整

(1) ディスクホイールとトーアジャストカムのブラケットコーナー部との距離を測定する。

(2) 左右差が3mm以上ならば3mm以内になるまでどちらか一方のサスペンションアームのカムで(4)または(5)の調整を行う。

(3) サービスカバーをはずし，ボルトをゆるめる。

(4) 測定値がアウト側にはずれたときは，寸法の短い方のアームのトーアジャストプレートでトーイン側へ調整する。

(5) 測定値がイン側にはずれたときは，寸法の長い方のアームのトーアジャストプレートでトーアウト側へ調整する。

注意　カムの位置は中心基準線から4目盛以上回さない。

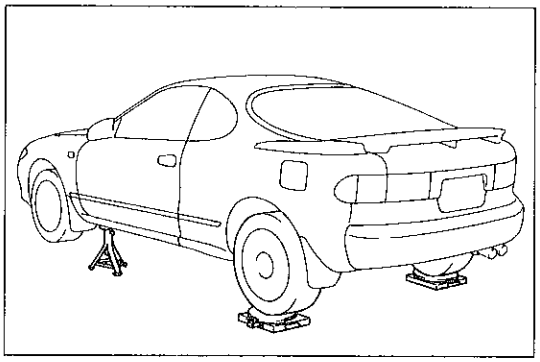
(6) 再度トーインを点検する。

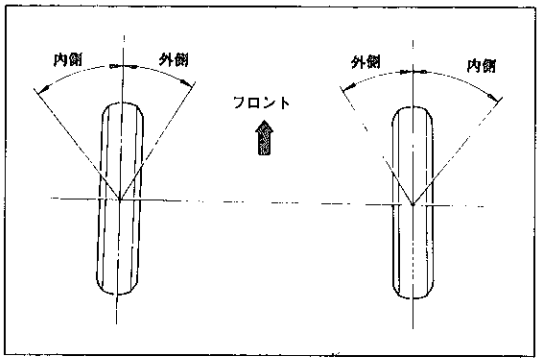
(7) トーアジャストプレートおよびトーアジャストカムを左右反対方向に同量ずつ回し，トーインが基準値内に入るように調整する。

調整基準値　5±1mm

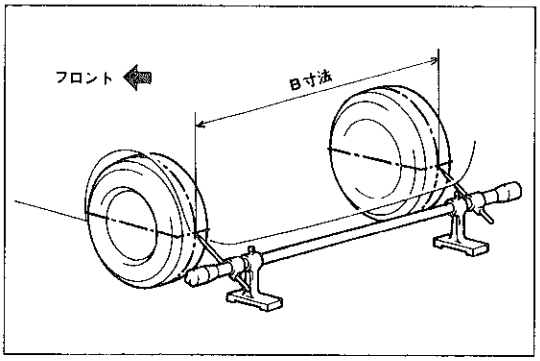
〈参考〉　カム1目盛（片側）でトーインは約1.5mm変化する。

無断複製禁止

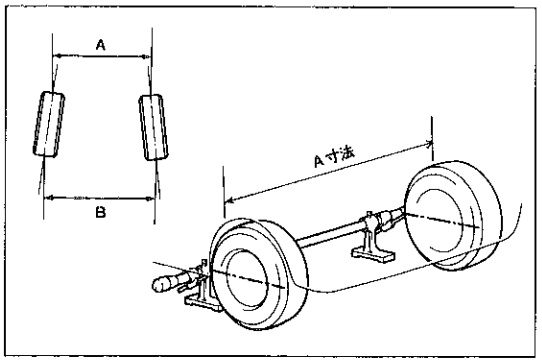

X0590



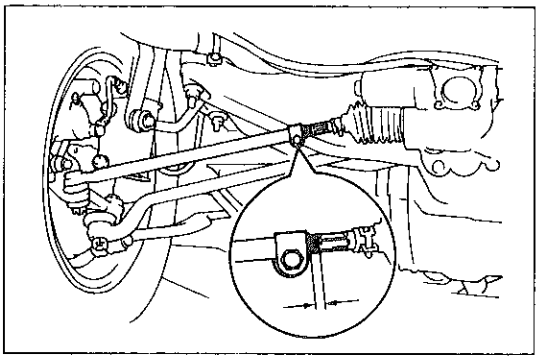
E5765



D1663



K8208　D1664


X0056

4WS車

リヤホイールアライメント点検および調整

1　リヤホイール切れ角点検

注意　フロントホイール切れ角点検後，行う。

(1) フロント両輪をジャッキアップする。

(2) リヤタイヤをターニングラジアスゲージにセットし，パーキングブレーキを引く。

(3) ステアリングホイールを直進状態から左右いっぱいに切ったときのリヤタイヤ切れ角を測定する。

基準値　5′ ±45′（外側，内側とも）

注意　リバース2WSモード以外で測定する。

〈参考〉　リバース2WSモードとは

・IGスイッチ……ON
・リバース2WSスイッチ……ON
・シフト位置……リバース
} の状態

(4) 切れ角が基準値外の場合は，4WSニュートラル点検，調整を行う。

(P8-107参照)

2　トーイン点検

(1) 車両をゆすり，車両を安定させる。

(2) 車両を直進で5m手押しして前進させる。

注意　後退させた時は必ず後退した距離分前進させる。

(3) トーインゲージの指針高さをリヤホイール軸中心高さに合わせる。

(4) 後輪タイヤおのおのの後部にトレッドセンターを印し，マーク間の距離（B寸法）を測定する。

(5) 車両をゆっくり押して前進させ，後輪を180°回転させる。

注意　180°以上回転させないように行い，オーバー回転した場合は，(3)からやり直す。

(6) 車両前部でマーク間の距離（A寸法）を測定する。

(7) トーインを求める。

点検基準値　2±2mm

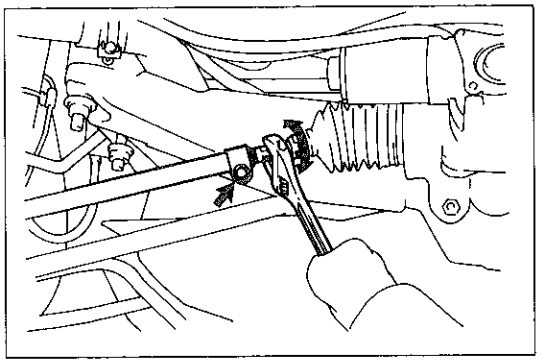
トーイン＝B寸法－A寸法

3　トーイン調整

(1) 左右のラックエンドのねじ部の長さを測定する。

基　準　左右差　1mm以内

無断複製禁止


X0057

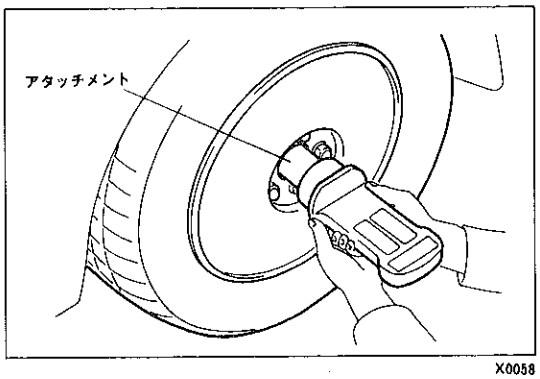
(2) ラックブーツのリップをはずす。
(3) タイロッドエンドのナットをゆるめる。
(4) ラックエンドねじ部の左右差が基準外の場合は(5)または(6)から，基準内の場合は(8)の調整を行う。
(5) 測定値がアウト側にはずれる場合は，寸法の短い方のラックエンドを伸ばす方向に調整する。
(6) 測定値がイン側にはずれる場合は，寸法の長い方のラックエンドを縮める方向に調整する。
(7) 再度トーインを点検する。
(8) 左右のラックエンドをおのおのの反対方向に同量ずつ回し，トーインが基準値内に入るように調整する。

調整基準値　2 ± 1 mm

(9) タイロッドエンドのナットを締め付ける。

T＝185kg·cm

(10) ラックブーツのねじれを修正して，クリップを取り付ける。



X0058

4 キャンバー点検

(1) 車両をゆすり，サスペンションを安定させる。
(2) 車両を直進で5 m手押しして前進させる。

注意　後退させた時は必ず後退した距離分前進させる。

(3) ホイールキャップまたはセンターオーナメントを取りはずす。
(4) キャンバーを点検する。
① キャンバーキャスターキングピンゲージにアタッチメントを取り付ける。
② ゲージをリヤアクスルハブ端面に押し当てた状態で，キャンバーを点検する。

点検基準値　−45′ ± 30′（左右差限度　30′ 以内）

注意　アクスルハブ端面のゴミ，異物を取り除いてから点検する。

5 サイドスリップ点検

(1) サイドスリップテスターでサイドスリップを点検する。
① テスター進入は直進方向に歩く速度（4 km/h程度）以下で行う。

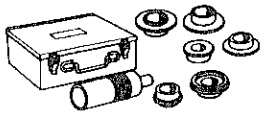
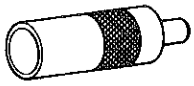
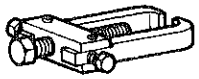
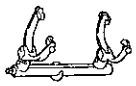
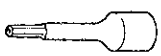
基準値　0 ～ 5 mm（1 mにつき）

注意　・テスター上でブレーキを踏まない。
・テスター上でステアリングを操作をしない。

(2) 基準値外の場合はリヤホイールアライメントを点検する。

無断複製禁止

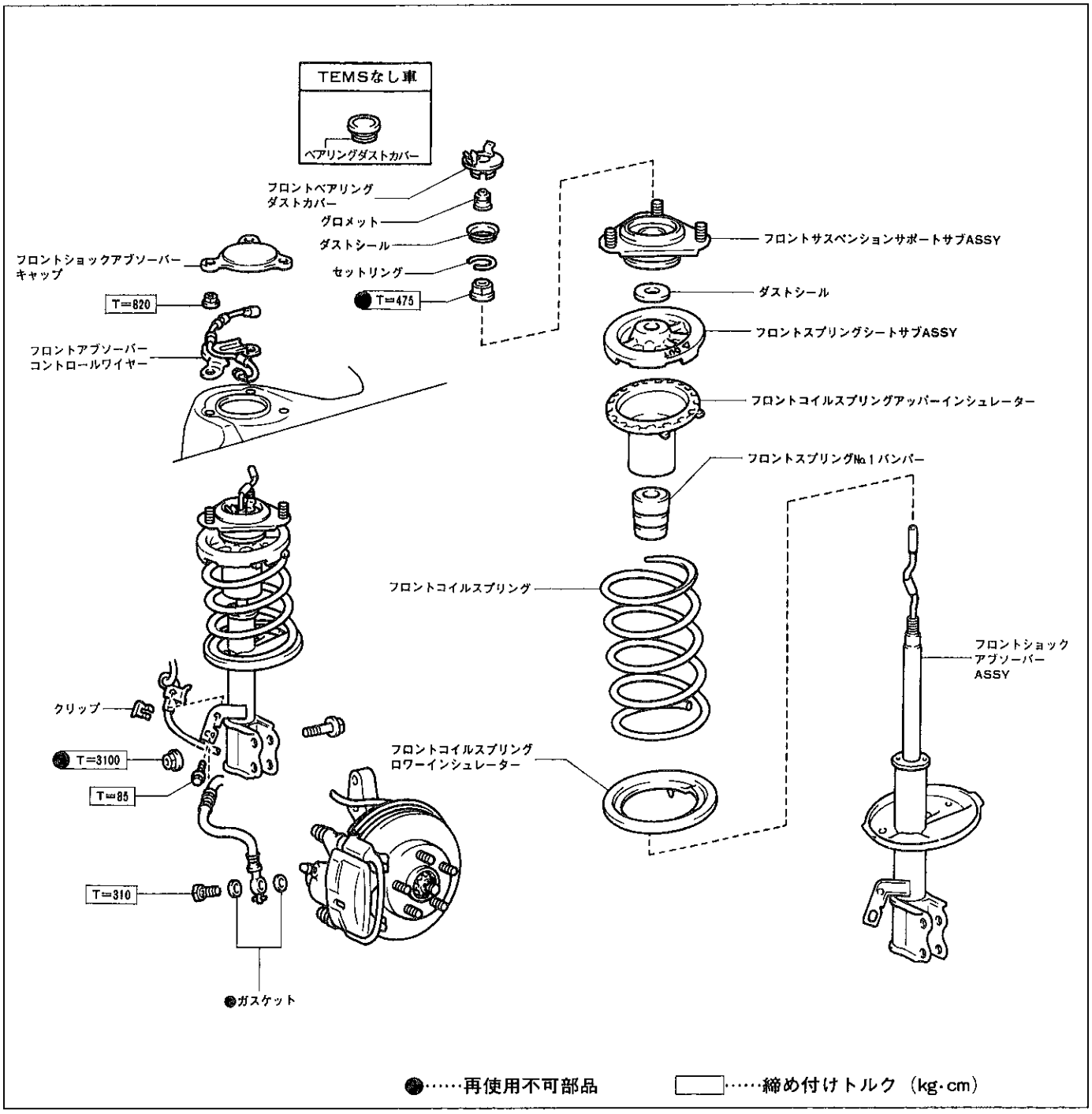
フロントサスペンション
準　備　品

SST		09268-64010	インジェクションノズル レンチセット	
		09268-64030	インジェクションノズル ホルダーレンチ	セルフロックナット脱着用（TEMS付き車）
		09316-60010	トランスミッション　アンド トランスファーベアリングリプ レーサー	
		09316-00010	リプレーサーパイプ	ダストデフレクター取り付け用
		09316-00040	リプレーサーC	
		09628-62011	ボールジョイントプラー	ボールジョイント切り離しおよび タイロッドエンド切り離し用
		09720-00011	ショックアブソーバー オーバーホールツールセット	
		09721-00071	フロントショックアブソーバー リングナットレンチ	リングナット取りはずし用
		09727-30020	コイルスプリング コンプレッサー	コイルスプリング圧縮用
		09729-22031	フロントスプリング アッパーシートホルダー	セルフロックナット脱着用
工　具		㈱バンザイ 扱い 3X-75-5	ヘキサゴンレンチ5	スタビライザー脱着用
計　器	トルクレンチ（0～30kg･cm）			ボールジョイント点検用
	トルクレンチ（0～4200kg･cm）			各部締め付け用
油　脂 その他	キヤッスル・MPグリースNo.2			各部塗布用

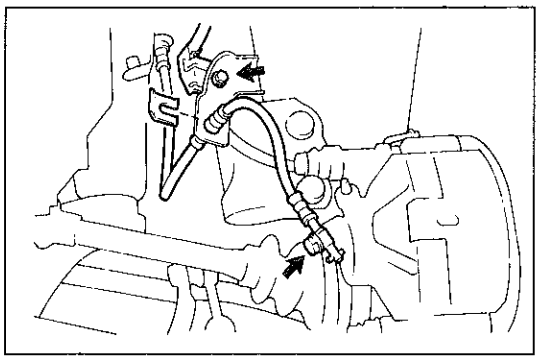
無断複製禁止

フロントショックアブソーバー

脱着構成図



K5684

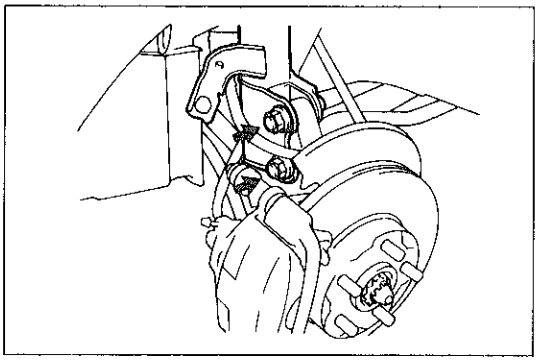


K5685

フロントショックアブソーバーASSY取りはずし

1　フロントホイール取りはずし
2　ブレーキフレキシブルホース切り離し
3　スピードセンサーW/H切り離し（ABS付き車，4WS車LH側）

無断複製禁止

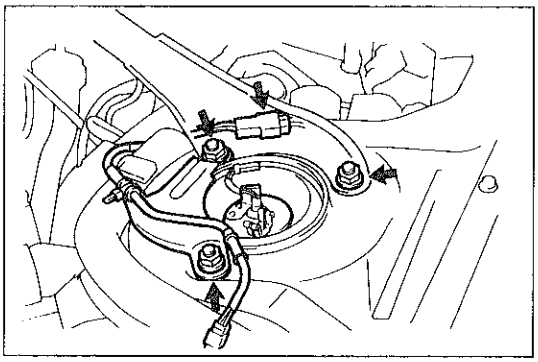

X0059

4　フロントショックアブソーバーASSY　ウイズ　コイルスプリング取りはずし

(1)　ショックアブソーバーロワーブラケットとステアリングナックルの取り付けボルト2個およびナット2個を取りはずす。

注意　ドライブシャフトブーツを傷つけないようにウエスなどで保護する。

(2)　ショックアブソーバーキャップを取りはずす。(TEMS付き車)

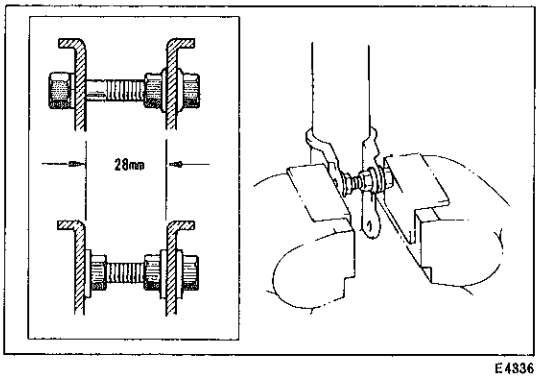

X0060

(3)　サスペンションサポートカバーのクランプからコネクターおよびW/Hをはずし，コネクターを切り離す。(TEMS付き車)

(4)　サポート取り付けナット3個を取りはずす。

(5)　フロントショックアブソーバーASSY　ウイズ　コイルスプリングを取りはずす。

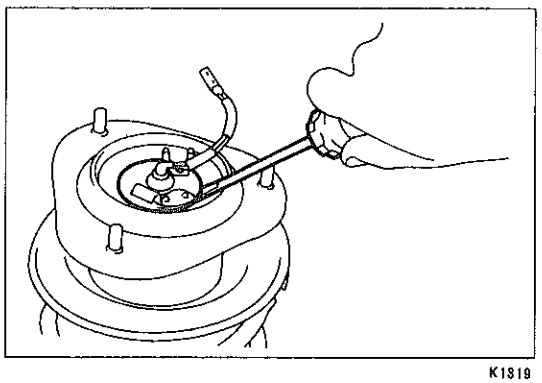
(6)　コネクターを切り離し，アブソーバーコントロールワイヤーを取りはずす。(TEMS付き車)



E4336

5　フロントショックアブソーバー　ウイズ　コイルスプリング固定

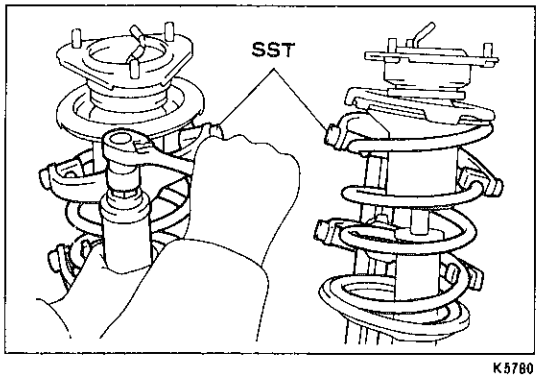
(1)　ショックアブソーバーロワーブラケットにボルトおよびナットを図のように取り付け，バイスに固定する。


K1819

6　ベアリングダストカバー取りはずし（TEMSなし車）

7　サスペンションサポートカバー取りはずし（TEMS付き車）

注意　W/Hに無理な力を加えない。



K5780

8　フロントショックアブソーバー取りはずし

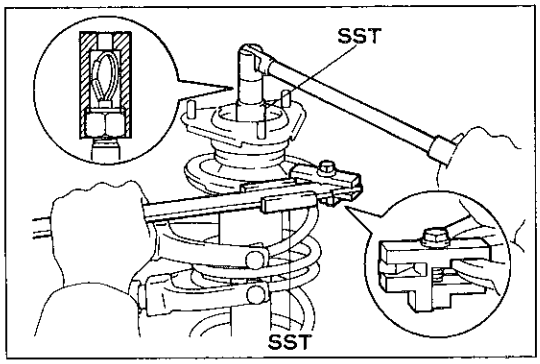
(1)　SSTを取り付けられる範囲で上下のフックの距離が最も広くなるようスプリングに取り付ける。

SST　09727-30020

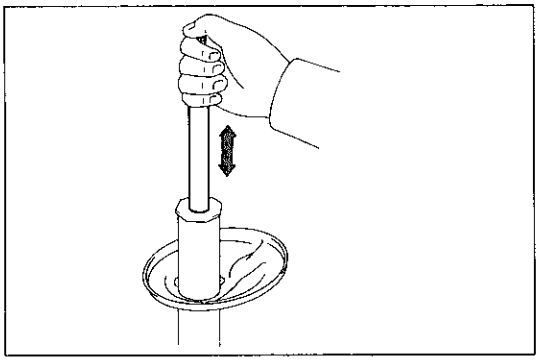
(2)　スプリングを十分に圧縮する。

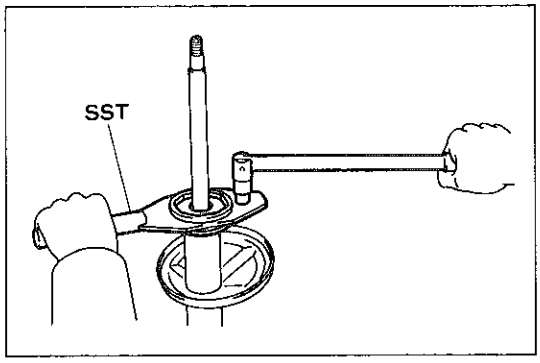
注意　インパクトレンチは使用しない。

無断複製禁止

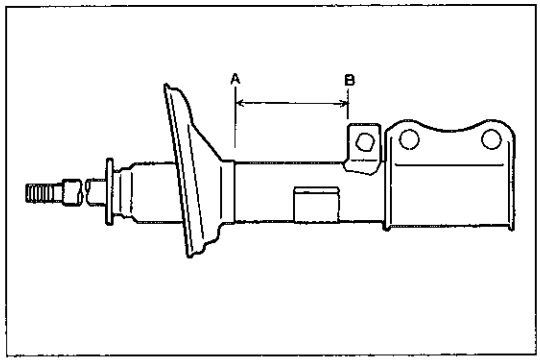


K5781

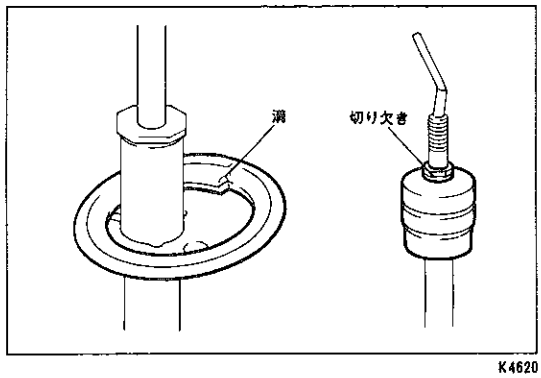

E5812



X0061



K4619



K4620

(3) スプリングアッパーシートをはさみ保持する。

SST　09729-22031

(4) ナットをはずし，サスペンションサポート，ダストシール，スプリングシート，アッパーインシュレーター，コイルスプリング，スプリングバンパーおよびロワーインシュレーターを取りはずす。

SST　09268-64030（TEMS付き車）

注意 ・アクチュエーター用W/Hを軽く2つに折り曲げてSSTを差し込む。（TEMS付き車）
・インパクトレンチは使用しない（TEMS付き車）
・1回転ゆるめるごとにSSTをはずして，W/Hがねじれないようにする。（TEMS付き車）

フロントショックアブソーバーASSY点検

1 ショックアブソーバー作動点検

(1) ショックアブソーバーを伸縮させる。

基　準　全ストロークの重さが一定であり異常な手ごたえ，異音がない

ガス封入式ショックアブソーバー廃却方法

1 SSTによる廃却方法

(1) ガスが抜け始めるまでリングナットをゆっくりゆるめる。（約3～4回転）

SST　09721-00071

注意 ガスの圧力によりオイルが出てくることがあるので注意してから廃却する。

(2) ガスが完全に抜けたこと（ピストンロッドが下がる）を確認してから廃却する。

2 穴あけによる廃却方法

(1) ピストンロッドを伸ばした状態で水平に置き図に示すA－B間にφ2～3mmの穴をあけてガスを抜く。

注意 抜け出すガスは無色，無臭，無害であるが，ドリルの切り粉などが飛び出すことがあるので注意して作業を行う。

フロントショックアブソーバーASSY取り付け

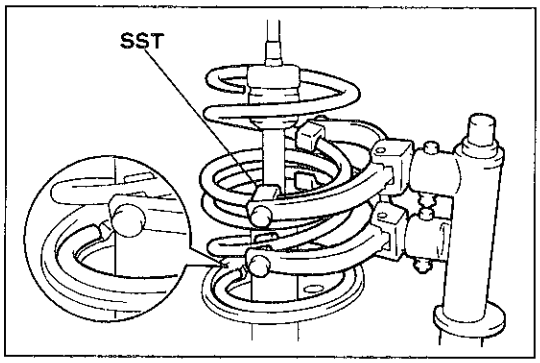
1 ロワーインシュレーター取り付け

(1) ロワーインシュレーターの溝とショックアブソーバーの溝を合わせて取り付ける。

2 スプリングバンパー取り付け

(1) スプリングバンパーをピストンロッドの切り欠き部の下に取り付ける。

無断複製禁止



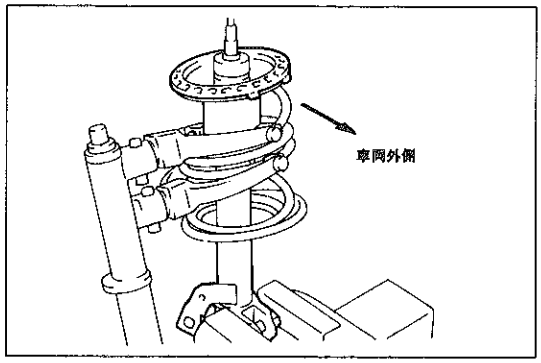
K5782

3　コイルスプリング取り付け

(1)　SSTを使用して，コイルスプリングを圧縮する。

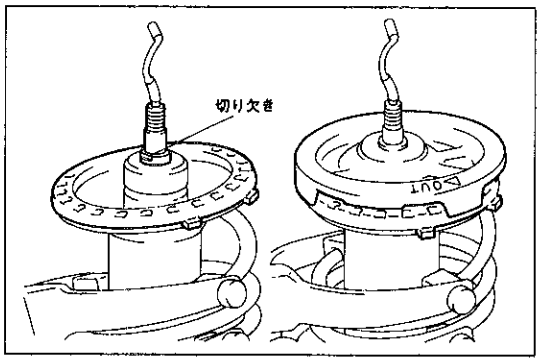
ＳＳＴ　09727-30020

(2)　コイルスプリングエンドをロワーインシュレーターの溝に合わせて取り付ける。



K5783

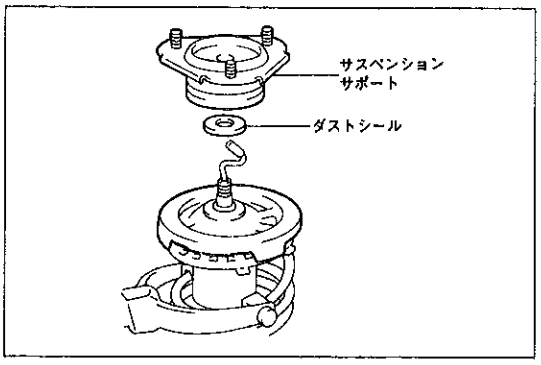
(3)　アッパーインシュレーターの突き出し部とショックアブソーバーのロワーブラケットが同じ方向（車両外側）になるように取り付ける。



K5784

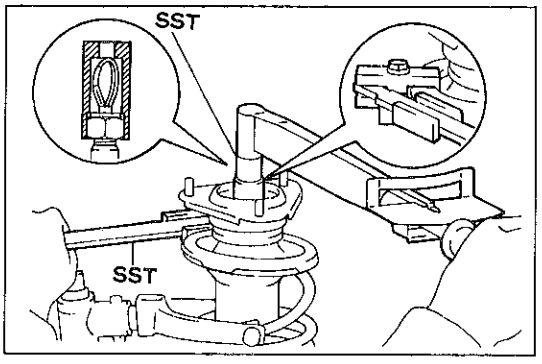
(4)　ショックアブソーバーのピストンロッド切り欠き部を図の方向に合わせる。

(5)　スプリングアッパーシートのマーク（△OUT）をショックアブソーバーのロワーブラケットと同じ方向（車両外側）にし，スプリングアッパーシートとピストンロッドの切り欠き部を合わせて取り付ける。



K5785

(6)　スプリングアッパーシートの上にダストシールおよびサスペンションサポートを取り付ける。



K5786

(7)　スプリングアッパーシートをはさみ保持する。

ＳＳＴ　09729-22031

(8)　新品のナットを締め付ける。

ＳＳＴ　09268-64030（TEMS付き車）

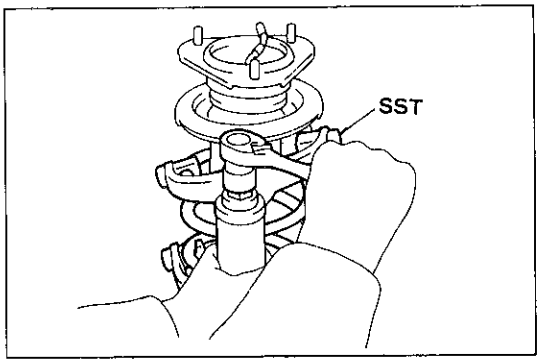
T＝475kg·cm

注意　・アクチュエーター用W/Hを軽く 2 つに折り曲げてSSTを差し込む。（TEMS付き車）

・インパクトレンチは使用しない。（TEMS付き車）

・１回転締め込むごとにSSTをはずして，W/Hがねじれないようにする。（TEMS付き車）

無断複製禁止

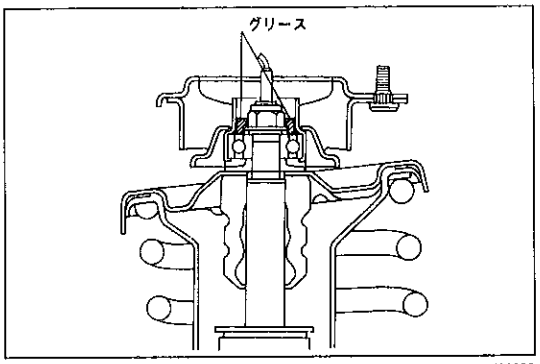


K5787

(9) コイルスプリング圧縮用のSSTを取りはずす。

SST　09727-30020

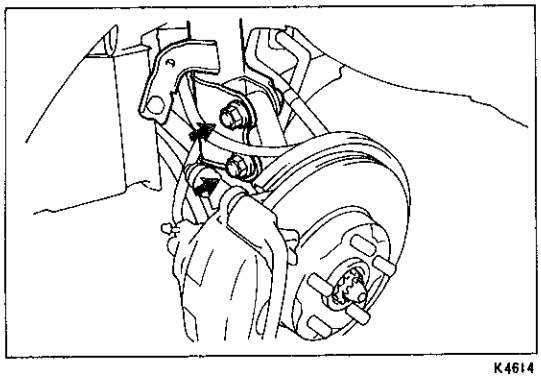
注意　インパクトレンチは使用しない。



K4626

(10) サスペンションサポートベアリング部にキヤッスル・MPグリースNo.2を充填する。

(11) ダストカバーを取り付ける。(TEMSなし車)


K4614

4 フロントショックアブソーバーASSY ウイズ コイルスプリング取り付け

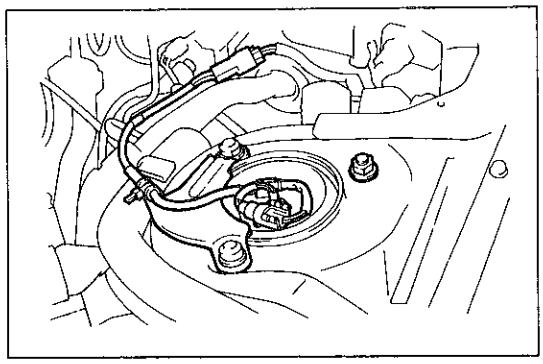
(1) ナット3個で，サスペンションサポートを取り付ける。

T=820kg·cm

注意　TEMS付き車は，アブソーバーコントロールワイヤーを共締めする。

(2) ショックアブソーバーロワーブラケットをステアリングナックルに据え付け，ボルト2本を車両後方から差し込み新品のナット2個で締め付ける。

T=3100kg·cm


K4628

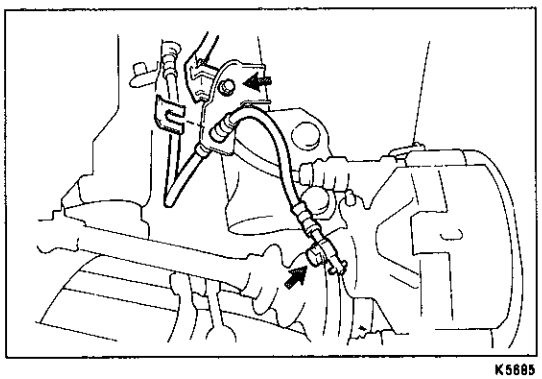
5 サスペンションサポートカバー取り付け（TEMS付き車）

(1) W/Hをサスペンションサポートカバーに通す。

注意　W/Hを引っ張ったりねじらない。

(2) サスペンションサポートカバーの合わせマークを車両前側のサスペンションサポート取り付けナットに合わせて取り付け，コネクター2個を接続して，W/Hをクランプする。

(3) ショックアブソーバーキャップを取り付ける。


K5685

6 スピードセンサーW/H取り付け（ABS付き車，4WS車LH側）

T=85kg·cm

7 ブレーキフレキシブルホース取り付け

T=310kg·cm

8 ブレーキエア抜きおよびフルード漏れ点検

9 フロントホイール取り付け

T=1050kg·cm

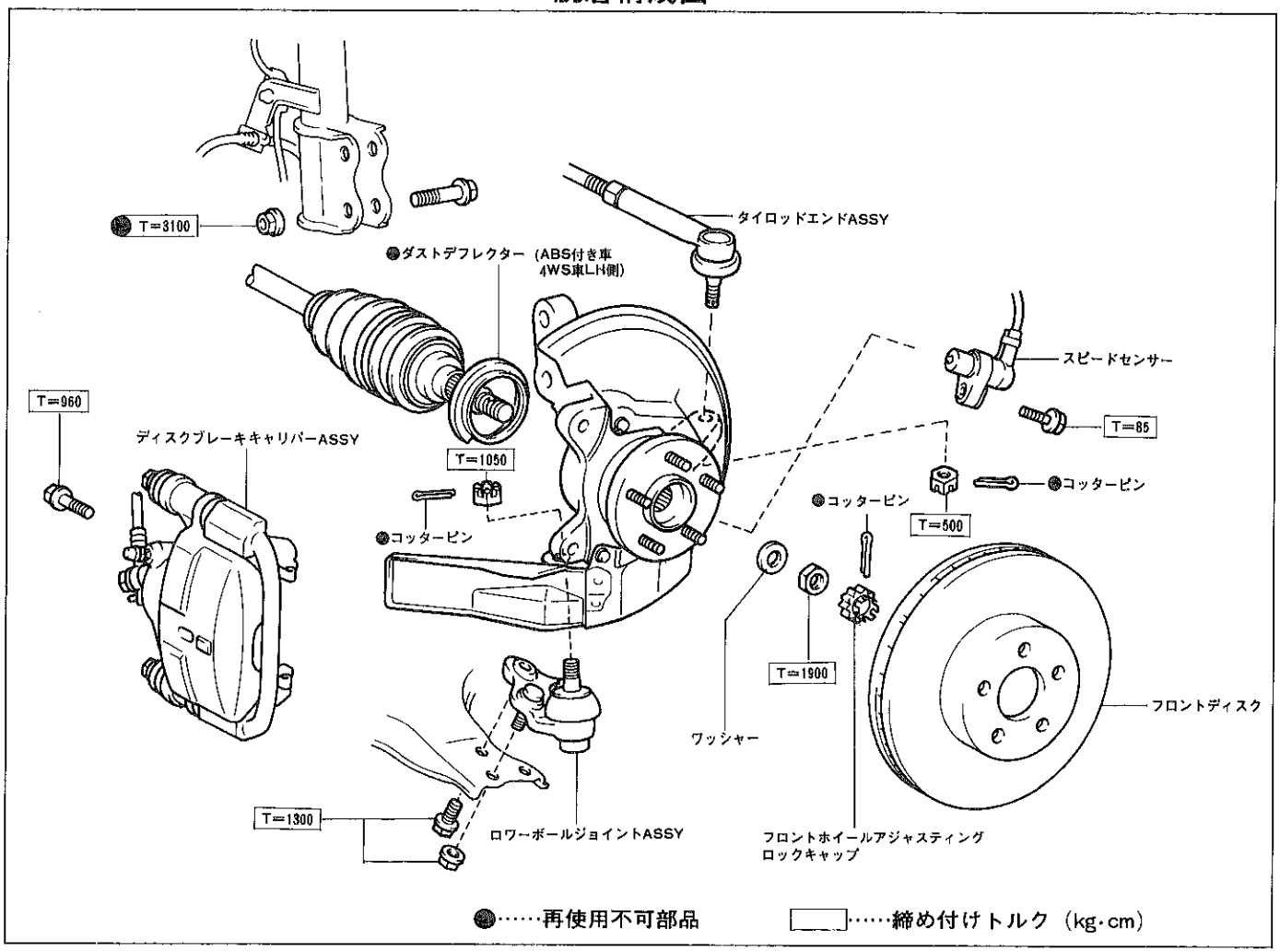
10 フロントホイールアライメント点検および調整

(P6-4参照)

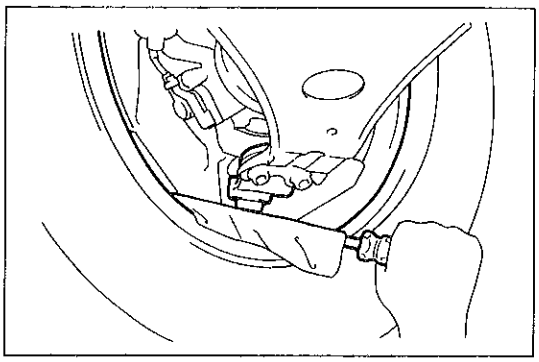
無断複製禁止

ボールジョイント

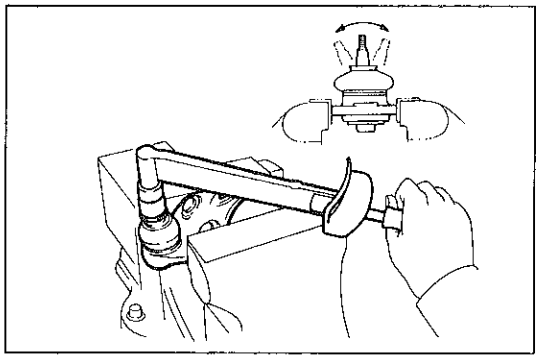
脱着構成図



X0062



X0063



K1342

前点検

1　ボールジョイントのガタ点検

(1)　車両のフロントをジャッキアップする。

(2)　ホイールを支点にして，ボールジョイント下部を押し上げ，垂直方向のガタを点検する。

基準値　　0 mm

ボールジョイント取りはずし

(P6-28参照)

ボールジョイント点検

1　ボールジョイント回転具合点検

(1)　スタッドを摺動方向に5往復させた後，2～4秒／回転の速度で連続して回転させ，5回目に測定する。

基準値　　10～30kg·cm

2　ブーツ点検

(1)　ブーツに亀裂がないことを点検する。

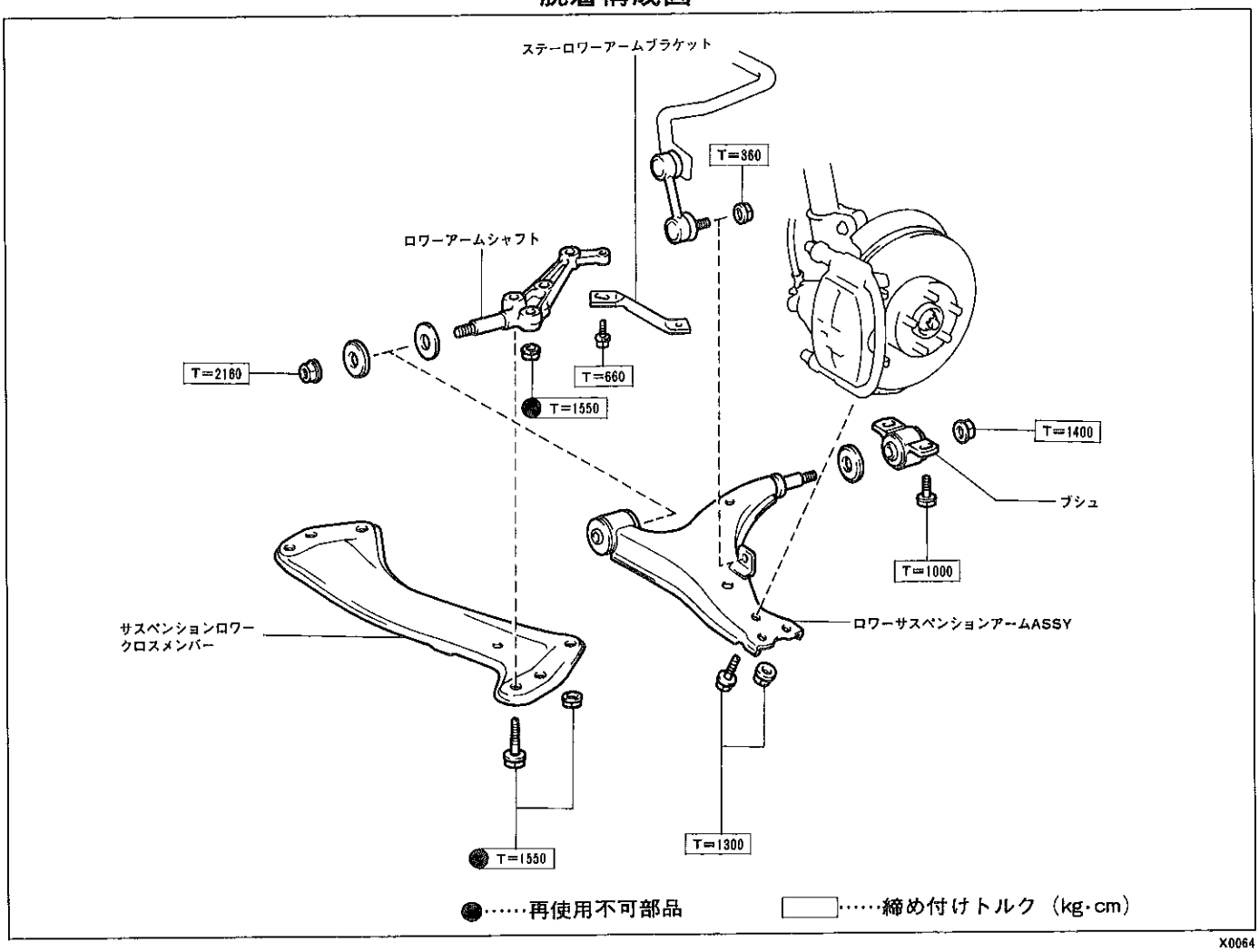
ボールジョイント取り付け

(P6-31参照)

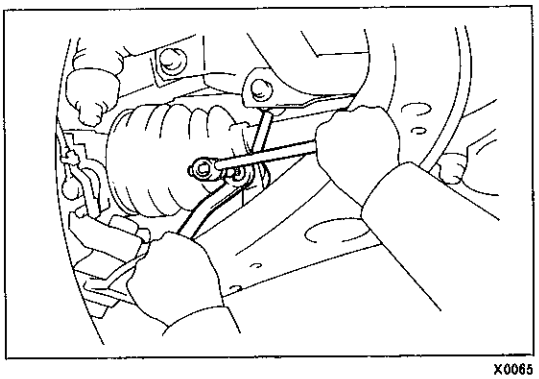
無断複製禁止

ロワーサスペンションアーム

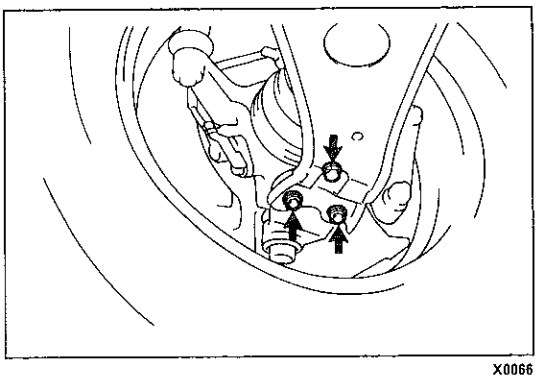
脱着構成図



X0064



X0065



X0066

ロワーサスペンションアーム取りはずし

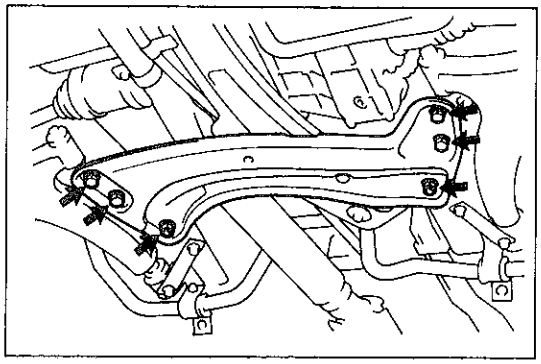
1　スタビライザーリンク切り離し

(1)　ヘキサゴンソケットレンチ（5 mm）でスタッドを固定して，ナットをはずし，リンクをロワーアームから切り離す。

2　ロワーボールジョイント切り離し

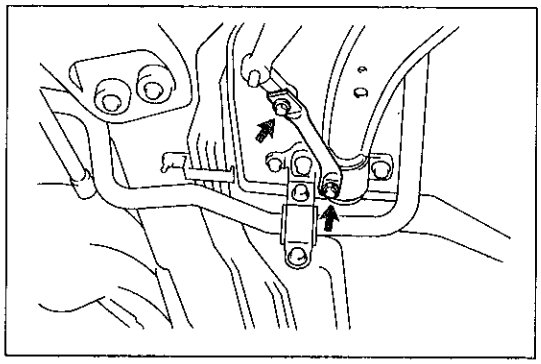
(1)　ボルトおよびナット2個をはずし，ボールジョイントをロワーアームから切り離す。

無断複製禁止


X0067

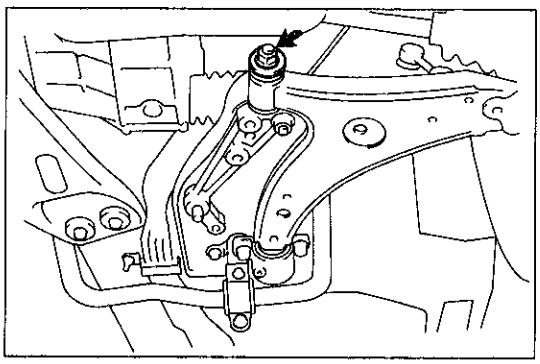
3 クロスメンバー取りはずし

(1) ボルト4本およびナット2個をはずし，クロスメンバーを取りはずす。


X0068

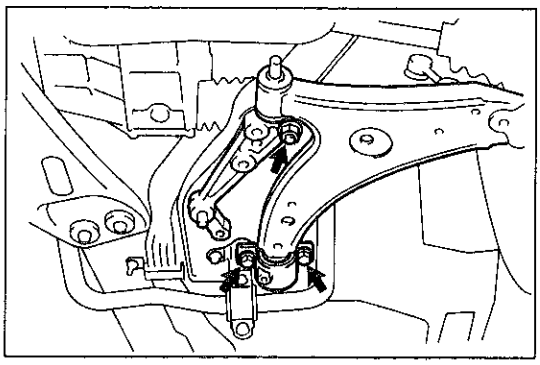
4 ロワーアームブラケット取りはずし

(1) ボルト2本をはずし，ブラケットを取りはずす。


X0069

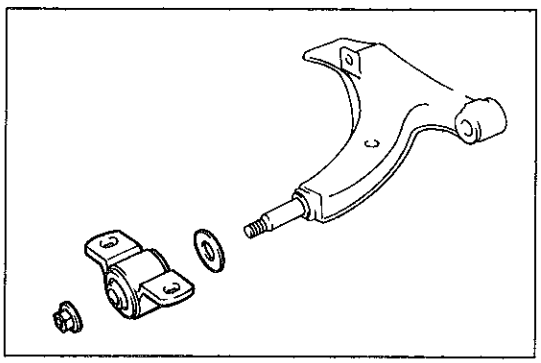
5 ロワーアーム取りはずし

(1) ロワーアームフロント側のナットおよびリテーナーを取りはずす。


X0070

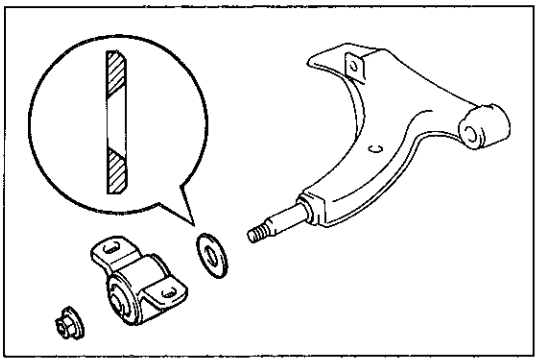
(2) ボルト2本およびナットをはずし，ロワーアーム ウイズ シャフトを取りはずす。

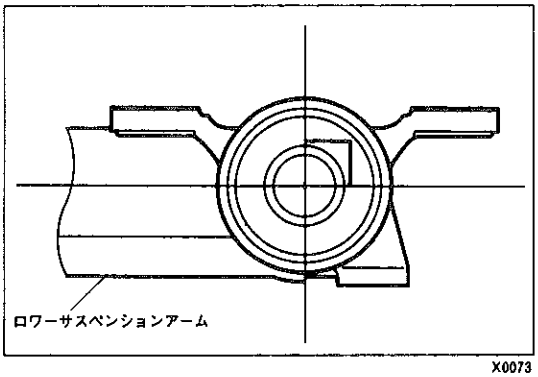
(3) ロワーアームからシャフトおよびリテーナーを取りはずす。


X0071

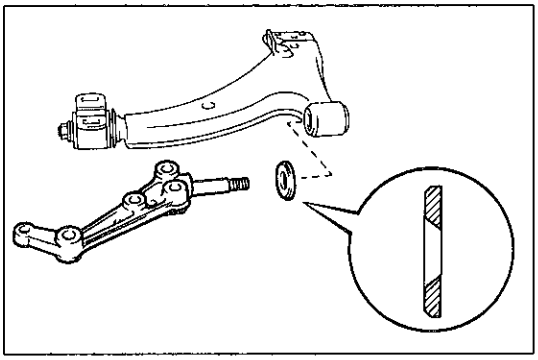
(4) ナットをはずし，ブシュおよびリテーナーを取りはずす。

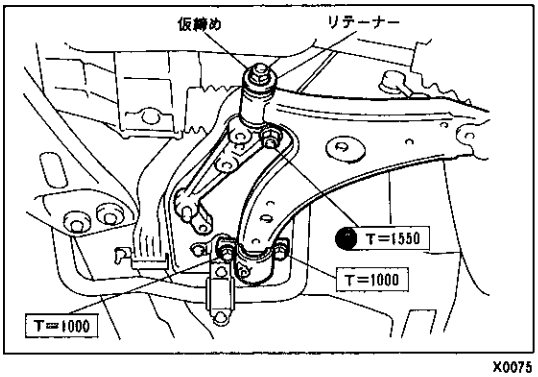
無断複製禁止


X0072

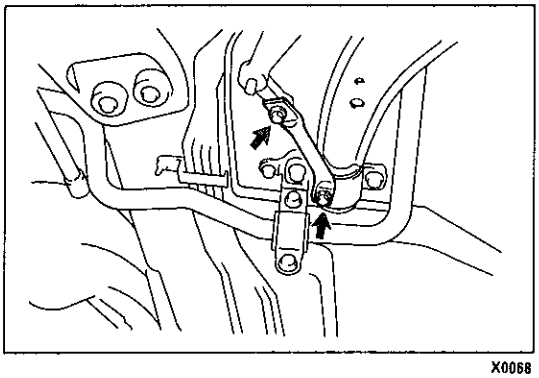


X0073


X0074



X0075


X0068

ロワーサスペンションアーム取り付け

1　ロワーアーム取り付け

(1)　リテーナーを介して，ブシュを入れ，ナットを締め付ける。

T＝1400kg·cm

注意　ブシュの取り付け方向は，図に示す向きにする。

(2)　リテーナーを介して，シャフトをロワーアームに挿入する。

(3)　ナット（新品）およびボルト2本で，ロワーアーム　ウイズシャフトを取り付ける。

T＝1550kg·cm（ナット）

T＝1000kg·cm（ボルト）

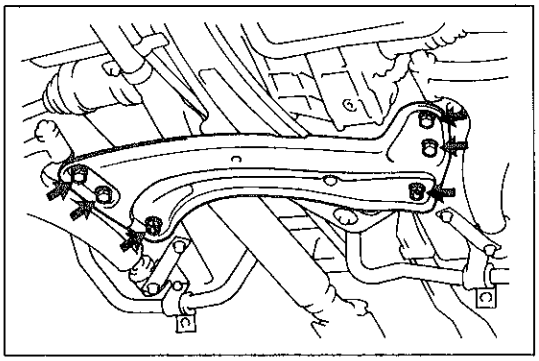
(4)　シャフトにリテーナーを介し，ナットを仮締めする。

2　ロワーアームブラケット取り付け

(1)　ボルト2本でブラケットを取り付ける。

T＝660kg·cm

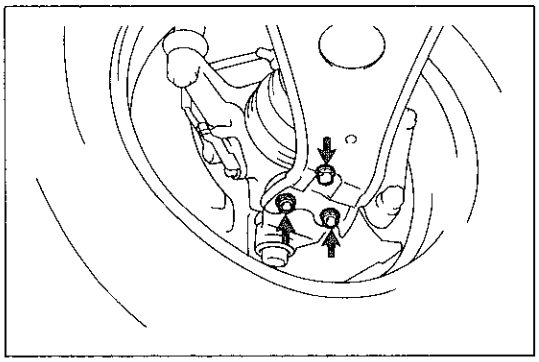
無断複製禁止


X0067

3　クロスメンバー取り付け

(1)　新品のボルト4 本およびナット2 個でクロスメンバーを取り付ける。

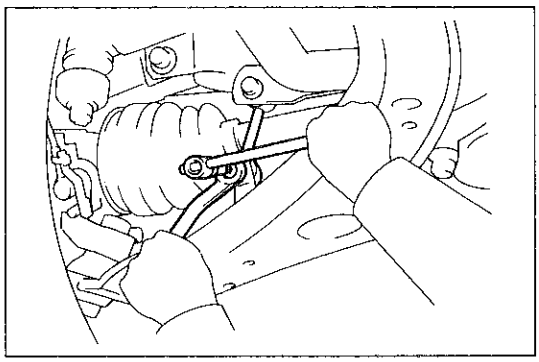
T＝1550kg·cm


X0066

4　ロワーボールジョイント取り付け

(1)　ボルトおよびナット2 個でボールジョイントを取り付ける。

T＝1300kg·cm


X0065

5　スタビライザーリンク取り付け

(1)　ヘキサゴンレンチ（5 mm）でスタッドを固定して，ナットでリンクを取り付ける。

T＝360kg·cm

6　車両落ち着かせ

(1)　車両をジャッキダウンして数回上下にゆすり，フロントサスペンションを落ち着かせる。

(2)　車両をジャッキアップして，ロワーアームをジャッキで支えサスペンションに荷重をかける。

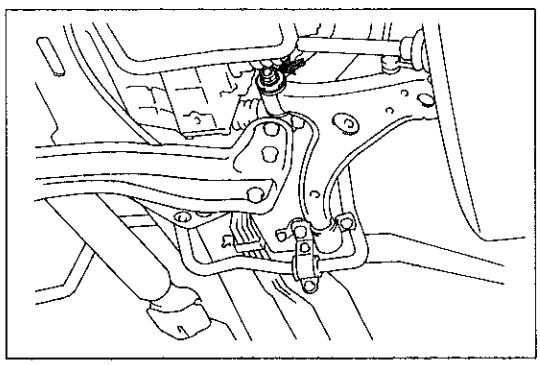
7　ロワーアーム本締め

(1)　ナットを本締めする。

T＝2160kg·cm

8　フロントホイールアライメント点検および調整

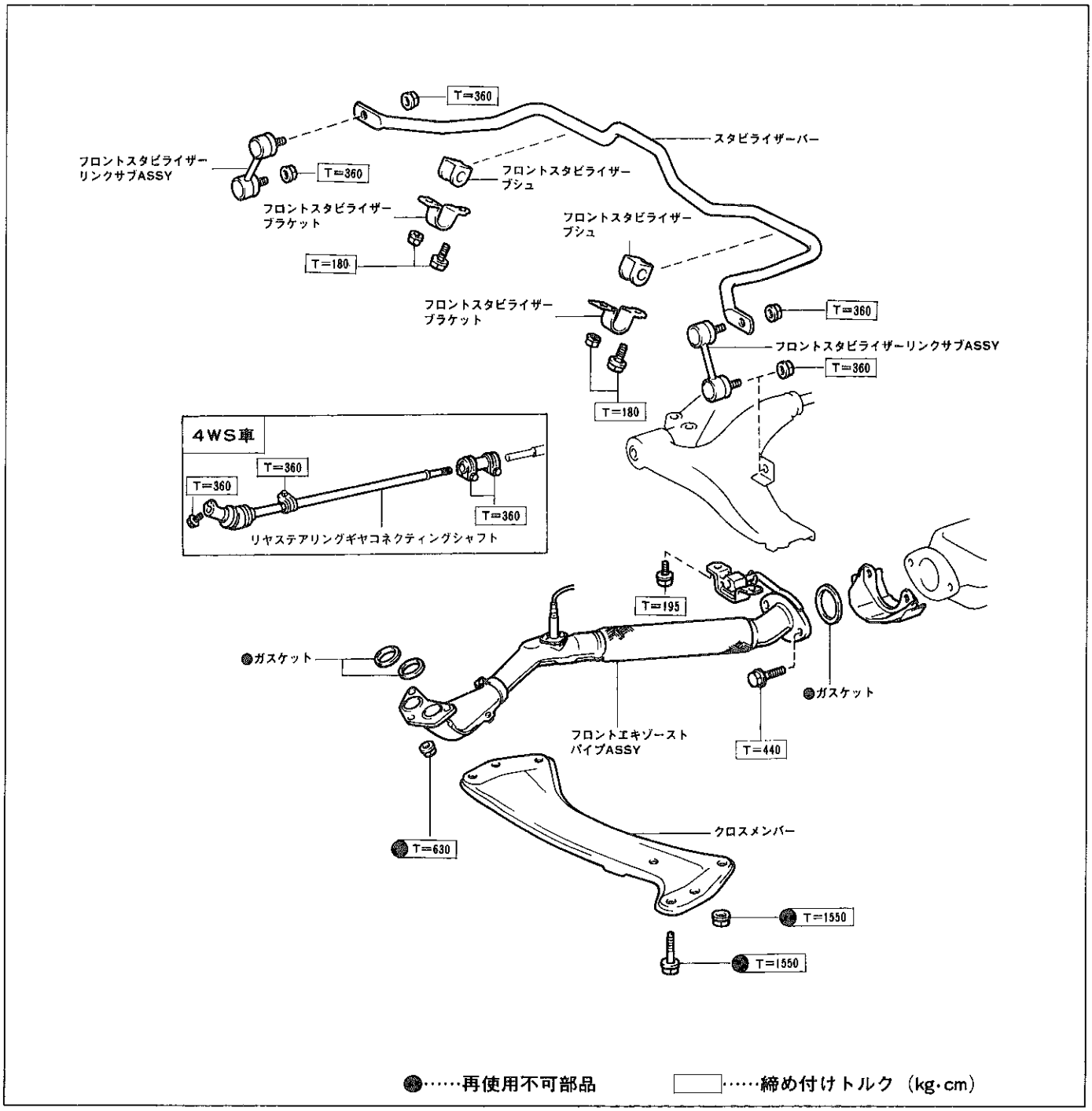
(P6-4参照)


X0076

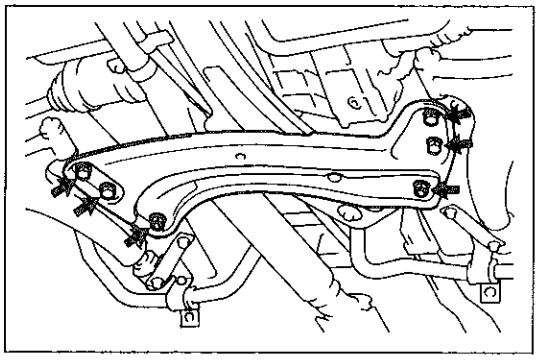
無断複製禁止

スタビライザー

脱着構成図



X0077



X0067

スタビライザー取りはずし

1　リヤステアリングギヤコネクティングシャスト取りはずし（4WS車）

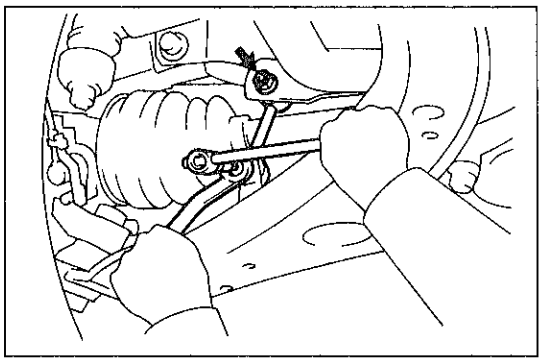
（P8-111参照）

2　クロスメンバー取りはずし

(1)　ボルト4本およびナット2個をはずし，クロスメンバーを取りはずす。

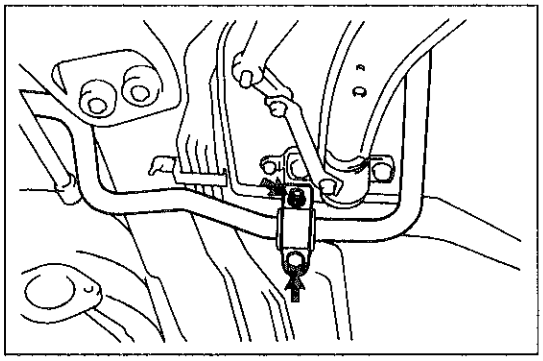
3　フロントエキゾーストパイプ取りはずし

無断複製禁止


X0078

4　スタビライザーリンク取りはずし

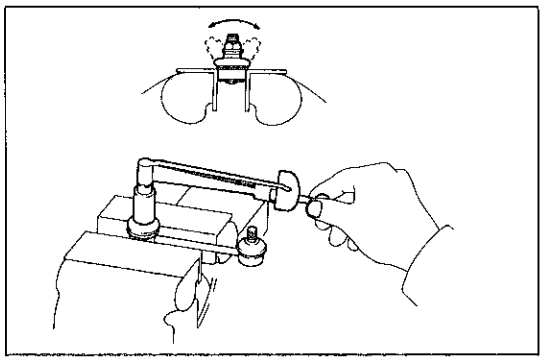
(1)　ヘキサゴンソケットレンチ（5 mm）でスタッドを固定して，ナット 4 個をはずし，リンク 2 個を取りはずす。


X0079

5　スタビライザー取りはずし

(1)　ボルト 2 本およびナット 2 個をはずし，ブラケット 2 個，ブシュ 2 個およびスタビライザーを取りはずす。

スタビライザーリンク点検


X0080

1　ボールジョイント回転具合点検

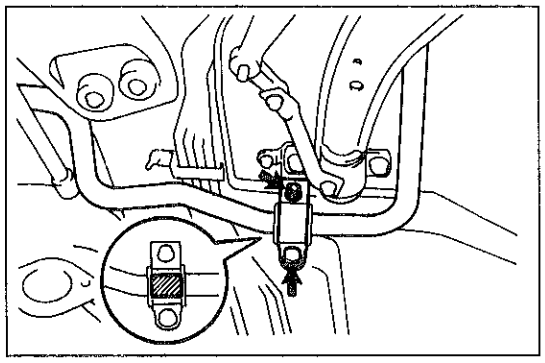
(1)　スタッドを摺動方向に 5 往復させた後，2 ～ 4 秒/回転の速度で連続して回転させ，5 回目に測定する。

基準値　　0.5～10kg·cm

2　ブーツ点検

(1)　ブーツに亀裂がないことを点検する。

スタビライザー取り付け

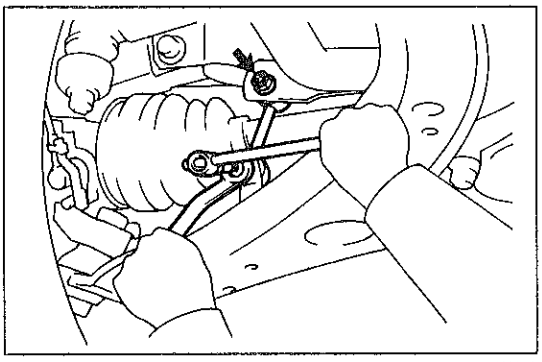

X0081

1　スタビライザー取り付け

(1)　ブシュをスタビライザーの識別マークに合わせる。

(2)　ブラケットをボルト 2 本およびナット 2 個で取り付ける。

T＝180kg·cm


X0078

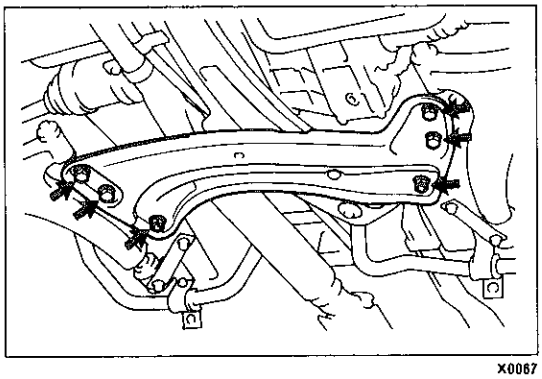
2　スタビライザーリンク取り付け

(1)　ヘキサゴンソケットレンチ（5 mm)でスタッドを固定して，ナット 4 個でリンク 2 個を取り付ける。

T＝360kg·cm

3　フロントエキゾーストパイプ取り付け

無断複製禁止


X0067

4　クロスメンバー取り付け

(1)　新品のボルト4 本およびナット2 個で，クロスメンバーを取り付ける。

T＝1550kg·cm

5　リヤステアリングギヤコネクティングシャフト取り付け(4WS車)

(P8-113参照)

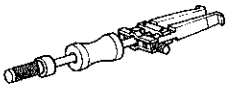
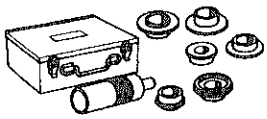
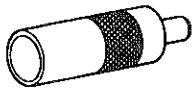
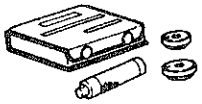
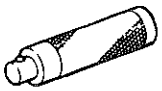
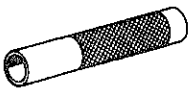
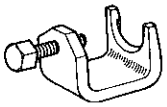
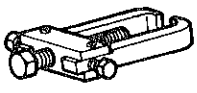
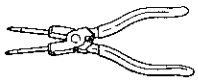
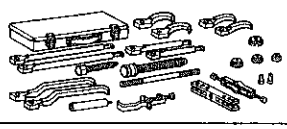
6　フロントホイールアライメント点検および調整

(P6-4参照)

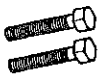
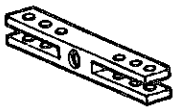
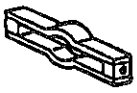
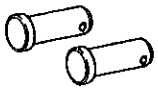
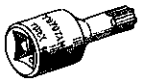
無断複製禁止

フロントアクスルハブ

準 備 品

SST		09308-00010	オイルシールプラー	オイルシール（インナーおよびアウター側）取りはずし用
		09316-60010	トランスミッション アンドトランスファーベアリングリプレーサー	
		09316-00010	リプレーサーパイプ	ダストデフレクター取り付け用
		09316-00040	リプレーサーC	
		09608-30022	フロントハブベアリングリプレーサーセット	
		09550-00050	リプレーサー	フロントアクスルハブ取り付け用
		09608-05010	ハンドル	フロントアクスルハブ取り付け用 オイルシール取り付け用
		09608-32010	ステアリングナックルオイルシールリプレーサー	オイルシール取り付け用 ベアリング取り付け用
		09612-22011	チルトハンドルベアリングリプレーサー	アクスルハブ取りはずし用
		09628-10011	ボールジョイントプラー	ハブボルト取りはずし用
		09628-62011	ボールジョイントプラー	タイロッドエンド切り離し用 ロワーボールジョイント切り離し用
		09905-00013	スナップリングプライヤー	ホールスナップリング脱着用
		09950-20017	ユニバーサルプラー	

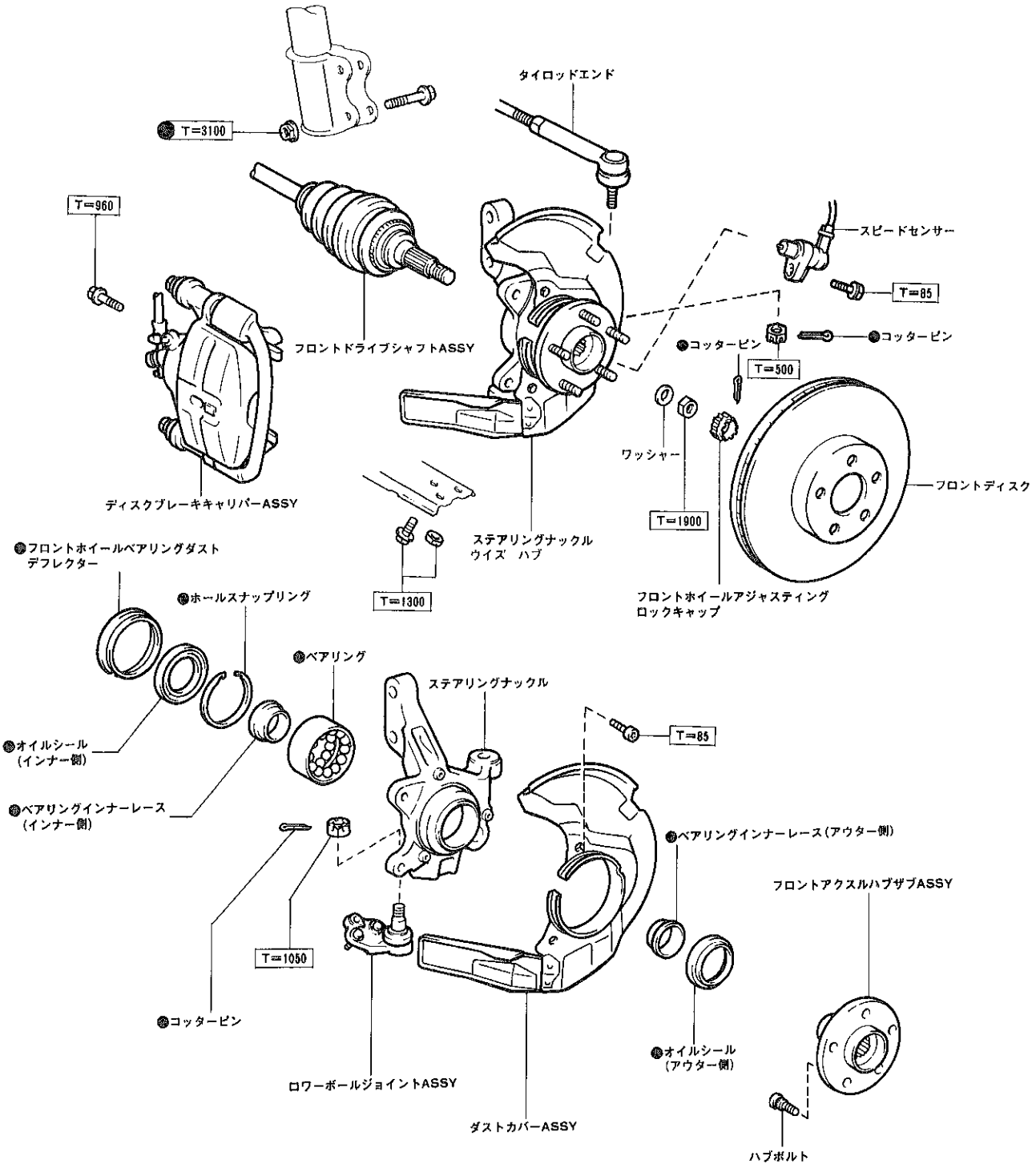
無断複製禁止

SST		09952-20010 スクリュー	インナーレース（アウター側）取りはずし用
		09953-20010 Bクロウ	
		09954-20011 アジャストスクリュー	
		09955-20012 プロパ	
		09956-20011 タイティングピース	
		09957-20010 ピン	
		09958-20010 アタッチングディスクE	
		09959-20010 ハンドル	
工具		09042-00010 トルクスソケットレンチT30	ダストカバー脱着用
	ソケットレンチ（30mm）		フロントアクスルハブ脱着用
計器	トルクレンチ（0～4200kg･cm）		各部締め付け用
	ダイヤルゲージ		アクスルハブ振れ点検用
油脂その他	キヤッスル・MPグリースNo.2		各部塗布用

無断複製禁止

フロントアクスルハブ

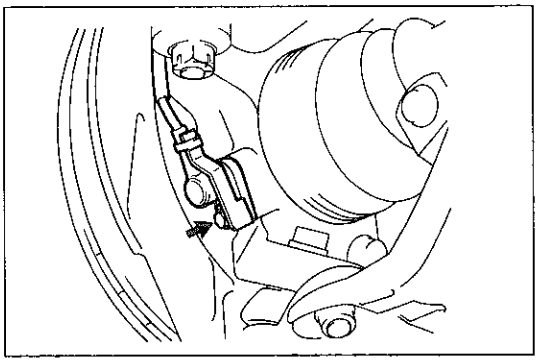
脱着分解構成図

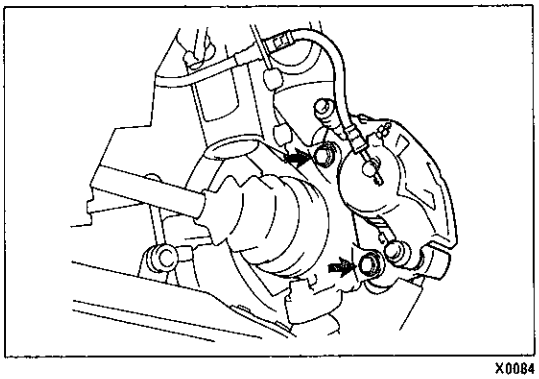


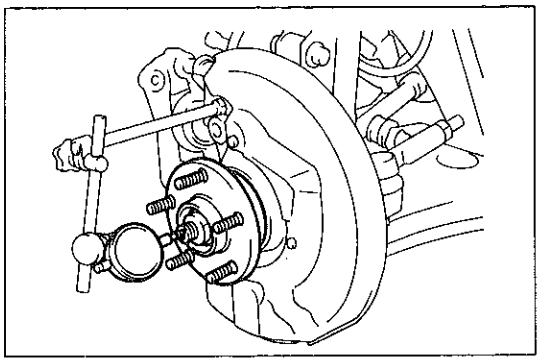
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg·cm）

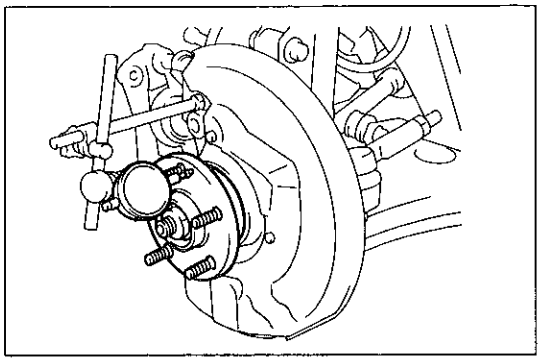
X0082

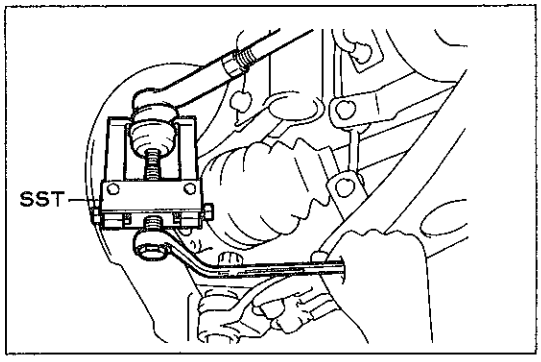
無断複製禁止


X0083


X0084


X0085


X0086



X0087

ステアリングナックル　ウイズ
アクスルハブ取りはずし

1　フロントホイール取りはずし

2　スピードセンサー取りはずし（ABS付き車，4 WS車LH側）

(1)　ステアリングナックルからボルトをはずし，スピードセンサーを切り離す。

(2)　センサーワイヤー用クランプを取りはずす。

3　コッターピン，ロックキャップ，ロックナット，ワッシャー取りはずし

4　フロントブレーキキャリパーおよびディスク取りはずし

(1)　ボルト２本をはずし，ブレーキキャリパーをステアリングナックルから取りはずす。

(2)　キャリパーを針金などで吊しておく。

注意　ブレーキパッド間に10mm程度の木片などを入れる。

(3)　ディスクとアクスルハブに合わせマークを付けてからフロントディスクを取りはずす。

注意　ディスク面に油脂を付けない。

5　ベアリング軸方向のガタ点検

(1)　ワッシャーおよびベアリングロックナットでドライブシャフトとアクスルハブを固定できるまで締め付ける。

(2)　ダイヤルゲージをドライブシャフト先端の円周上にセットし，ベアリング軸方向のガタを点検する。

限　度　0.05mm

6　アクスルハブ振れ点検

(1)　ダイヤルゲージをアクスルハブの外周付近にセットし，アクスルハブの振れを点検する。

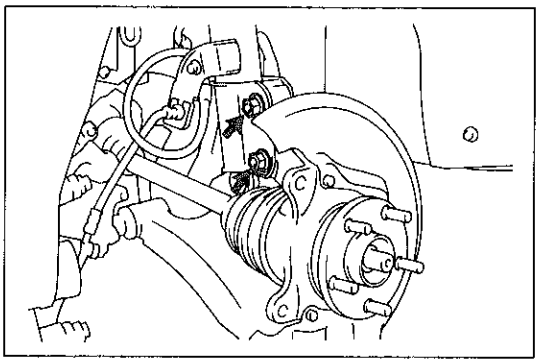
限　度　0.07mm

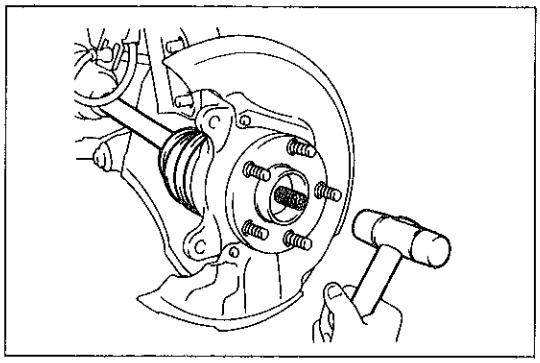
(2)　ベアリングロックナットおよびワッシャーを取りはずす。

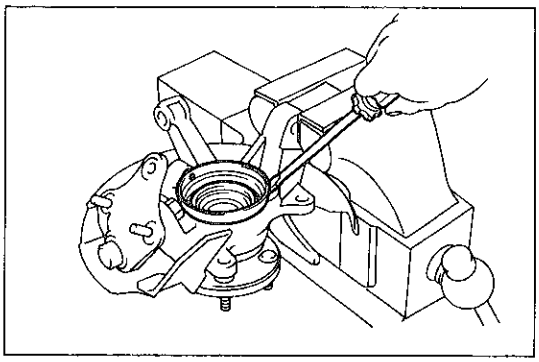
7　タイロッドエンド切り離し

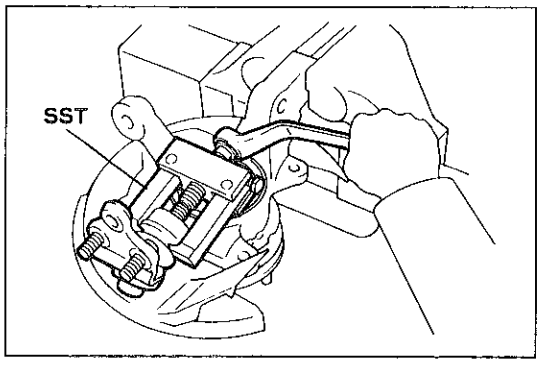
ＳＳＴ　09628-62011

無断複製禁止

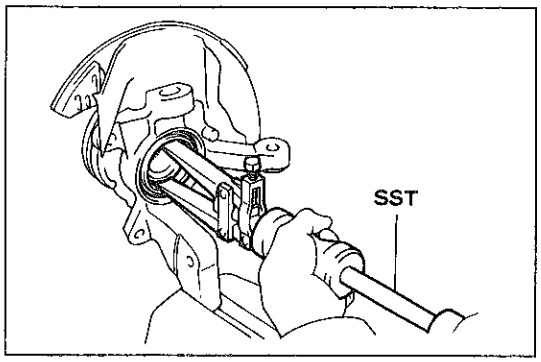

X0088


X0089


X0090



K4629



K4651

8　ステアリングナックル切り離し

(1)　ショックアブソーバーロワーブラケット取り付けナット２個をはずして，ボルトは差し込んだ状態にしておく。

9　ロワーボールジョイント切り離し

(1)　ボルト１本およびナット２個をはずして，ロワーボールジョイントからロワーアームを切り離す。

注意　ボールジョイントダストカバーを傷つけない。

10　ステアリングナックル　ウイズ　アクスルハブ取りはずし

(1)　ドライブシャフトの先端を軽くたたき，シャフトとアクスルハブのかん合をはずす。

注意　ドライブシャフトのねじ部を傷つけないようテープなどで保護する。

〈参考〉　かん合が固い場合は，ブラスバーを使用して，ドライブシャフトの先端をたたく。

(2)　ステアリングナックルを支え，ショックアブソーバーロワーブラケット取り付けボルトを抜き取り，ステアリングナックル　ウイズ　アクスルハブを取りはずす。

注意　ドライブシャフトブーツおよびスキッドコントロールローター（ABS付き車，４WS車LH側）を傷つけないようウエスなどで保護する。

フロントアクスルハブ分解

1　ダストデフレクター取りはずし（ABS付き車，４WS車LH側）

(1)　㊀ドライバーで，ダストデフレクターを取りはずす。

注意　スピードセンサー無し車のボールジョイント交換時はデフレクターを取りはずす必要はない。

2　ロワーボールジョイント取りはずし

(1)　コッターピンおよびキャッスルナットを取りはずす。

(2)　ボールジョイントをステアリングナックルから取りはずす。

ＳＳＴ　09628-62011

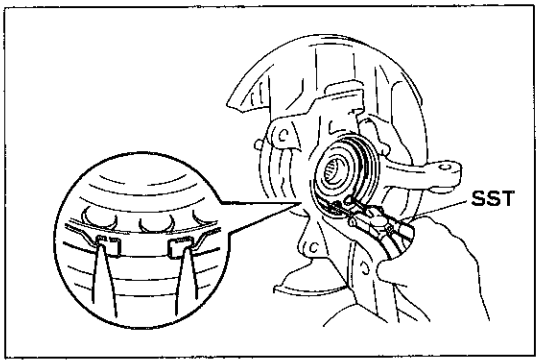
3　ダストデフレクター取りはずし（除くABS付き車，４WS車LH側）

4　オイルシール（インナー側）取りはずし

(1)　オイルシールをステアリングナックルから取りはずす。

ＳＳＴ　09308-00010

無断複製禁止

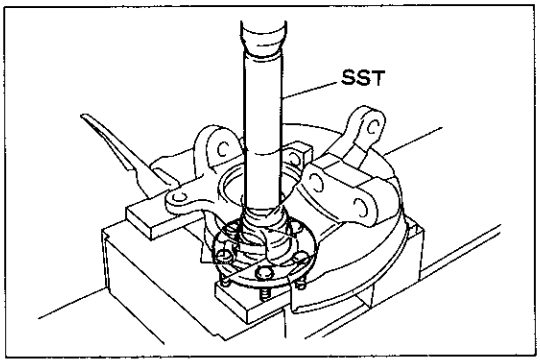


K4652

5　ホールスナップリング取りはずし

(1)　ホールスナップリングを取りはずす。

ＳＳＴ　09905-00013



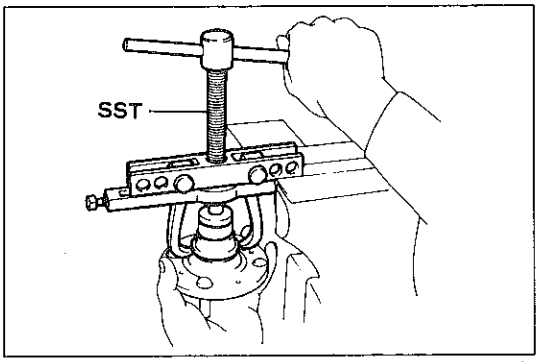
X0091

6　アクスルハブ取りはずし

(1)　アクスルハブをステアリングナックルから取りはずす。

ＳＳＴ　09612-22011

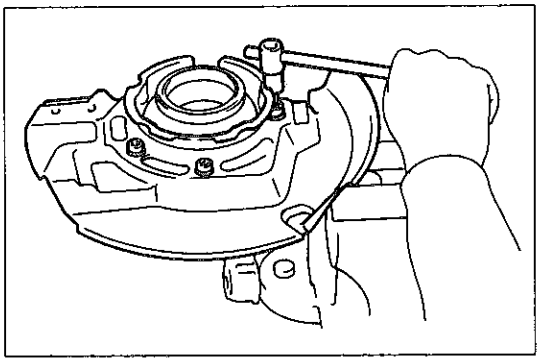
(2)　ベアリングインナーレース（インナー側）を取りはずす。



K2426

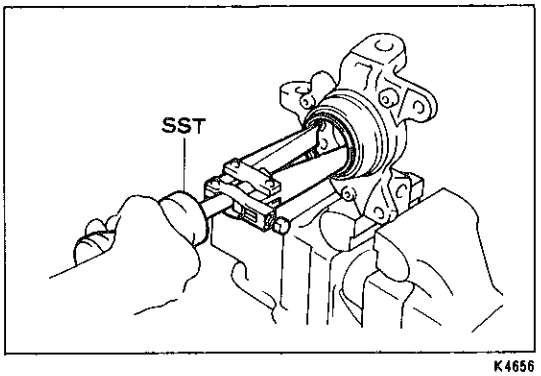
(3)　ベアリングインナーレース（アウター側）をアクスルハブから取りはずす。

ＳＳＴ　09952-20010　09953-20010　09954-20011
09955-20012　09956-20011　09957-20010
09958-20010　09959-20010


X0092

7　ディスクブレーキダストカバー取りはずし

(1)　トルクスソケットレンチ（T30）でボルト４本をはずし，ダストカバーを取りはずす。



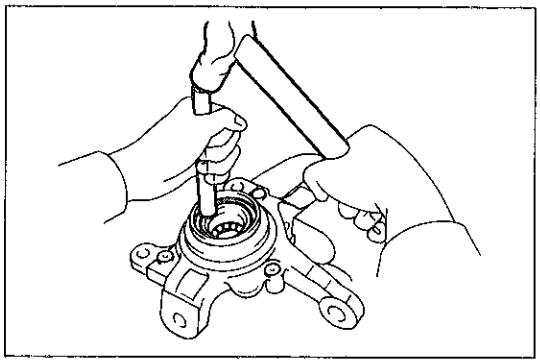
K4656

8　オイルシール（アウター側）取りはずし

(1)　オイルシールをステアリングナックルから取りはずす。

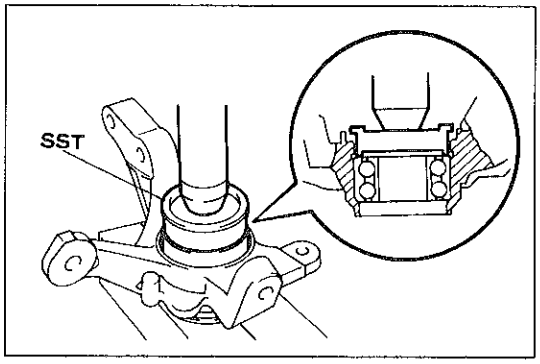
ＳＳＴ　09308-00010

無断複製禁止


K4657

9　ベアリング取りはずし

(1)　インナーレースをベアリングアウター側に取り付け，ベアリングインナーレースをたたいて取りはずす。



K4658

フロントアクスルハブ組み付け

1　ベアリング取り付け

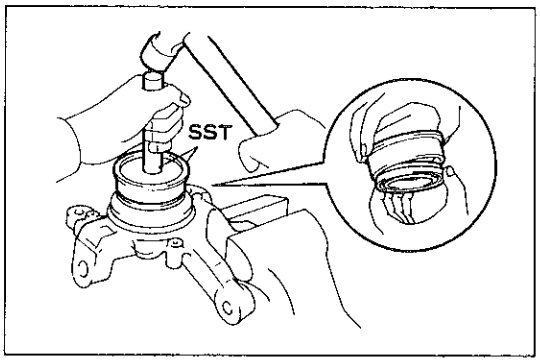
(1)　新品のベアリングをステアリングナックルに圧入する。

ＳＳＴ　09608-32010

注意　・ボールおよびインナーレースを分離した場合は，必ず組み付いていた側に組み付ける。

・新品のベアリングに付いているグリースは拭きとらない。

・ボールおよびインナーレースに異物を付着させない。



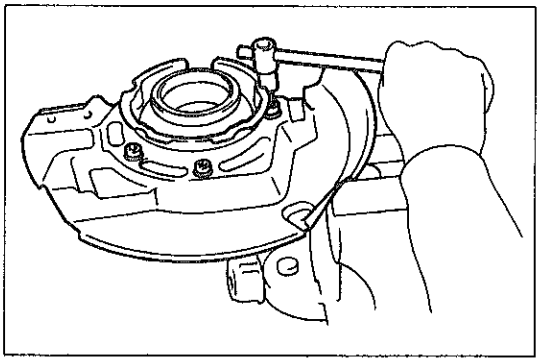
K4659

2　オイルシール（アウター側）取り付け

(1)　新品のオイルシールのリップ部をSSTの溝の中に入れ，ステアリングナックル端面まで打ち込む。

ＳＳＴ　09608-05010　09608-32010

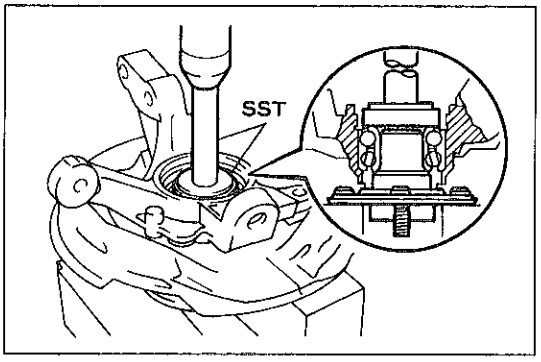
(2)　オイルシールリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。


X0092

3　ディスクブレーキダストカバー取り付け

(1)　ボルト4本で，ダストカバーをステアリングナックルに取り付ける。

T＝85kg·cm



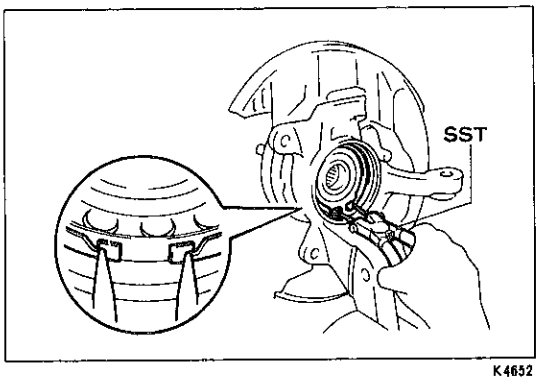
X0685

4　アクスルハブ取り付け

(1)　ステアリングナックルにハブを圧入する。

ＳＳＴ　09550-00050　09608-05010

無断複製禁止

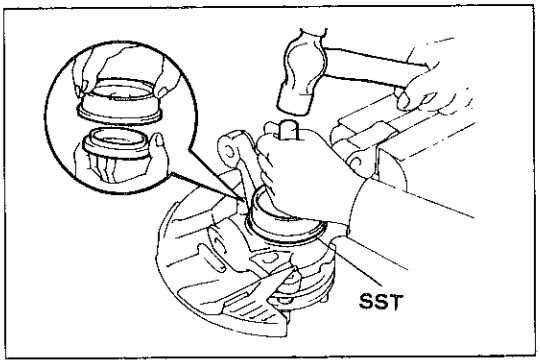


K4652

5　ホールスナップリング取り付け

(1)　新品のホールスナップリングをステアリングナックルに取り付ける。

ＳＳＴ　09905-00013



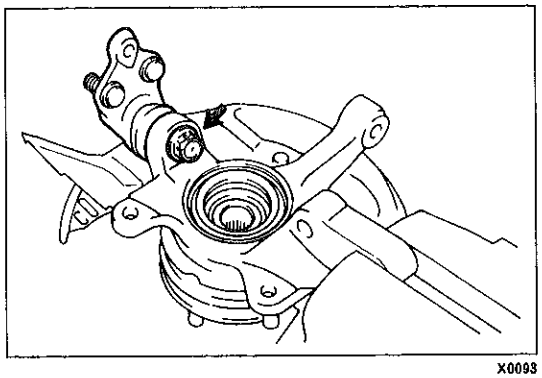
K4662

6　オイルシール（インナー側）取り付け

(1)　オイルシールがナックル端面と面一になるまで打ち込む。

ＳＳＴ　09608-05010　09608-32010

(2)　オイルシールリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。


X0093

7　ボールジョイント取り付け

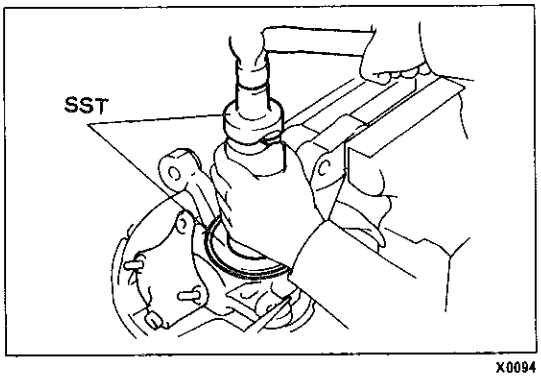
(1)　ボールジョイントをステアリングナックルに取り付け，キャッスルナットを締め付ける。

T＝1050kg·cm

注意　・テーパー部に油脂類を付着させない。

・キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは，120°以内の増し締め方向で合わせる。

(2)　新品のコッターピンを取り付ける。



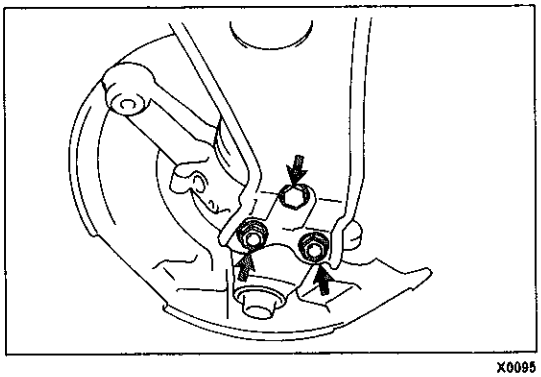
X0094

8　ダストデフレクター取り付け

(1)　ダストデフレクターの切り欠き部をボールジョイント側に向ける。

ＳＳＴ　09316-00010　09316-00040

注意　デフレクターとナックルのスピードセンサー取り付け穴を合わせる。（ABS付き車，４WS車LH側）


X0095

ステアリングナックル　ウイズ　アクスルハブ取り付け

1　ステアリングナックル　ウイズ　アクスルハブ取り付け

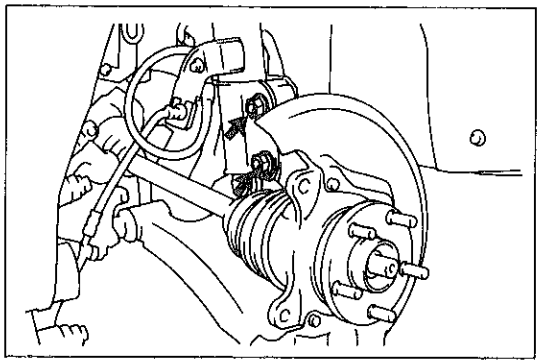
(1)　アクスルハブとドライブシャフトを取り付け，ボールジョイントをロワーアームに仮締めする。

注意　・ドライブシャフトがナックル側オイルシールに当たらないように注意する。

・ボールジョイントダストカバーを損傷させない。

・ドライブシャフトブーツおよびスキッドコントロールローター（ABS付き車，４WS車LH側）を傷つけないようウエスなどで保護する。

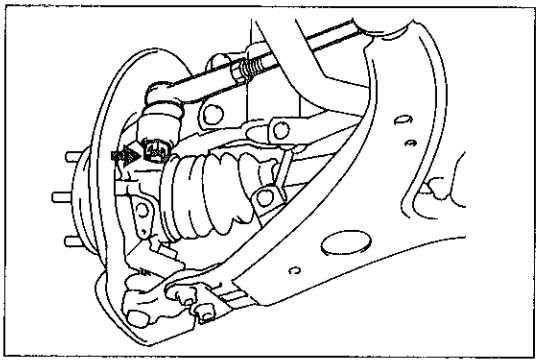
無断複製禁止


X0088

(2) ステアリングナックルをショックアブソーバーロワーブラケットに据え付ける。

(3) ボルト2本を車両後方から差し込み，新品のナット2個で締め付ける。

T＝3100kg·cm


X0096

2 タイロッドエンド取り付け

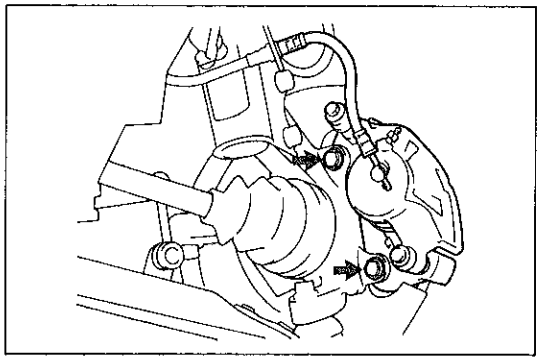
(1) キャッスルナットを規定トルクで締め付け，新品のコッターピンを取り付ける。

T＝500kg·cm

注意 キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは60°以内の増し締め方向で合わせる。

3 ステアリングナックル　&　ロワーアーム取り付けボルトおよびナット本締め

T＝1300kg·cm


X0084

4 フロントディスクおよびブレーキキャリパー取り付け

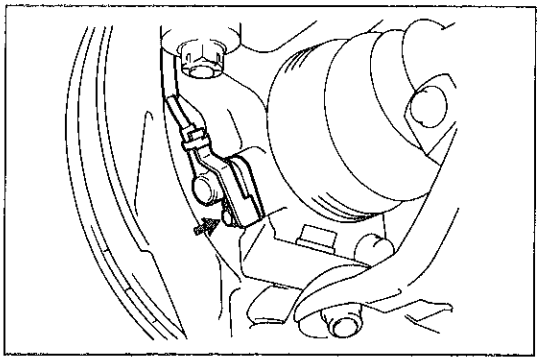
(1) ディスクとアクスルハブの合わせマークを合わせて，フロントディスクを取り付け，ハブナットで固定する。

(2) ステアリングナックルにボルト2本でブレーキキャリパーを取り付ける。

T＝960kg·cm

5 ワッシャー，ロックナット，ロックキャップおよびコッターピン取り付け

T＝1900kg·cm


X0083

6 スピードセンサー取り付け(ABS付き車，4WS車LH側)

(1) ステアリングナックルにボルトでスピードセンサーを取り付ける。

T＝85kg·cm

(2) W/H用クランプを取り付ける。

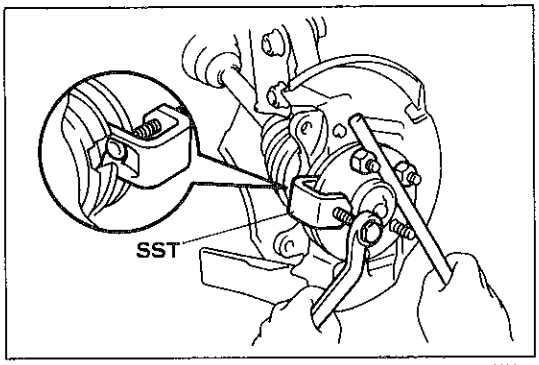
7 フロントホイール取り付け

T＝1050kg·cm

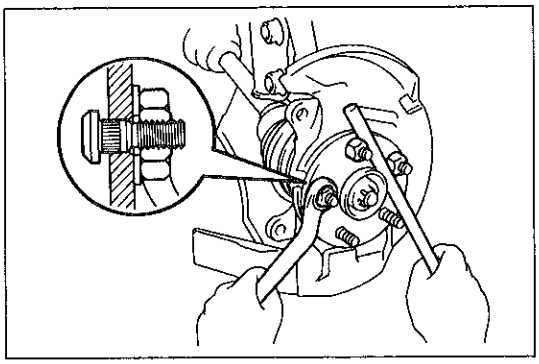
8 フロントホイールアライメント点検および調整

(P6-4参照)

無断複製禁止



X0097


X0098

ハブボルト交換

1　フロントホイール，フロントブレーキキャリパーおよびディスク取りはずし

2　ハブボルト取りはずし

(1)　ダストカバーの切り欠き部からハブボルトを取りはずす。

ＳＳＴ　09628-10011

3　ハブボルト取り付け

(1)　新品のハブボルトに図のようなプレートワッシャーを通し，ナット（呼び径12mm，ピッチ1.5）を締め付けながらハブボルトを取り付ける。

4　フロントディスクおよびフロントブレーキキャリパー取り付け

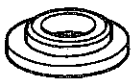
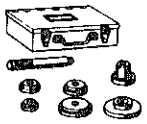
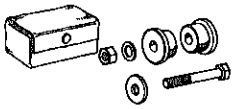
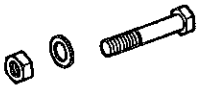
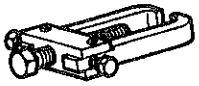
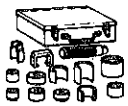
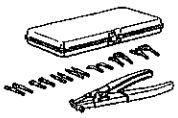
Ｔ＝960kg･cm

5　フロントホイール取り付け

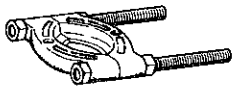
Ｔ＝1050kg･cm

無断複製禁止

フロントドライブシャフト
準 備 品

SST		09506-35010	ディファレンシャルドライブピニオンリヤベアリングリプレーサー	ダストカバー取り付け用
		09608-12010	フロントハブ アンドドライブピニオンベアリングリプレーサーセット	
		09608-00020	リムーバー アンドリプレーサーハンドル	センターベアリング取り付け用
		09608-00060	ドライブピニオンフロントベアリングカップリプレーサー	
		09608-16041	フロントハブベアリングアジャスティングツール	
		09608-02020	ボルト アンド ナット	フロントアクスルベアリング仮固定用
		09608-02040	リテーナー	
		09628-62011	ボールジョイントプラー	タイロッドエンド切り離し用
		09710-30020	サスペンションブシュツールセット	
		09710-03140	ラテラルロッドブシュリムービングベース	センターベアリング取り付け用
		09904-00010	エキスパンダーセット	スナップリング脱着用 (3S-GEエンジン搭載車)
		09904-00040	クロウNo. 3	
		09905-00012	スナップリングNo. 1エキスパンダー	スナップリング脱着用

無断複製禁止

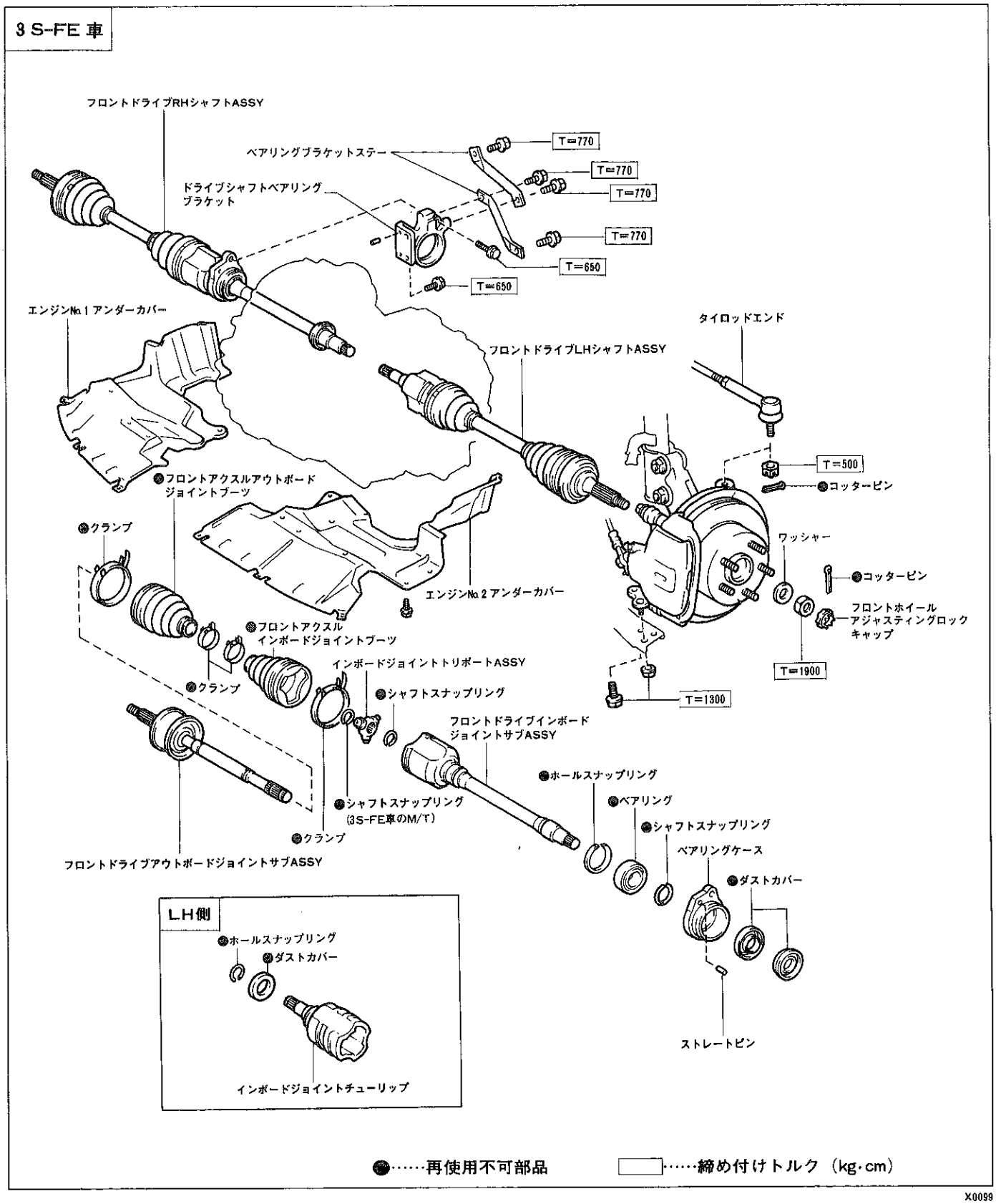
SST	 09950-00020　ベアリングリムーバー	ダストカバー取りはずし用
工　具	ソケットレンチ（30mm）	フロントアクスルハブセットナット脱着用
計　器	トルクレンチ（500～2800kg·cm）	フロントアクスルハブセットナット締め付け用
油　脂 その他	キヤッスル・オートフルードD-Ⅱ	オイル補充用

無断複製禁止

フロントドライブシャフト

注意　ドライブシャフトを取り扱う場合，スキッドコントロールローターを傷つけないように注意する。(ABS付き車，4WS車LH側)

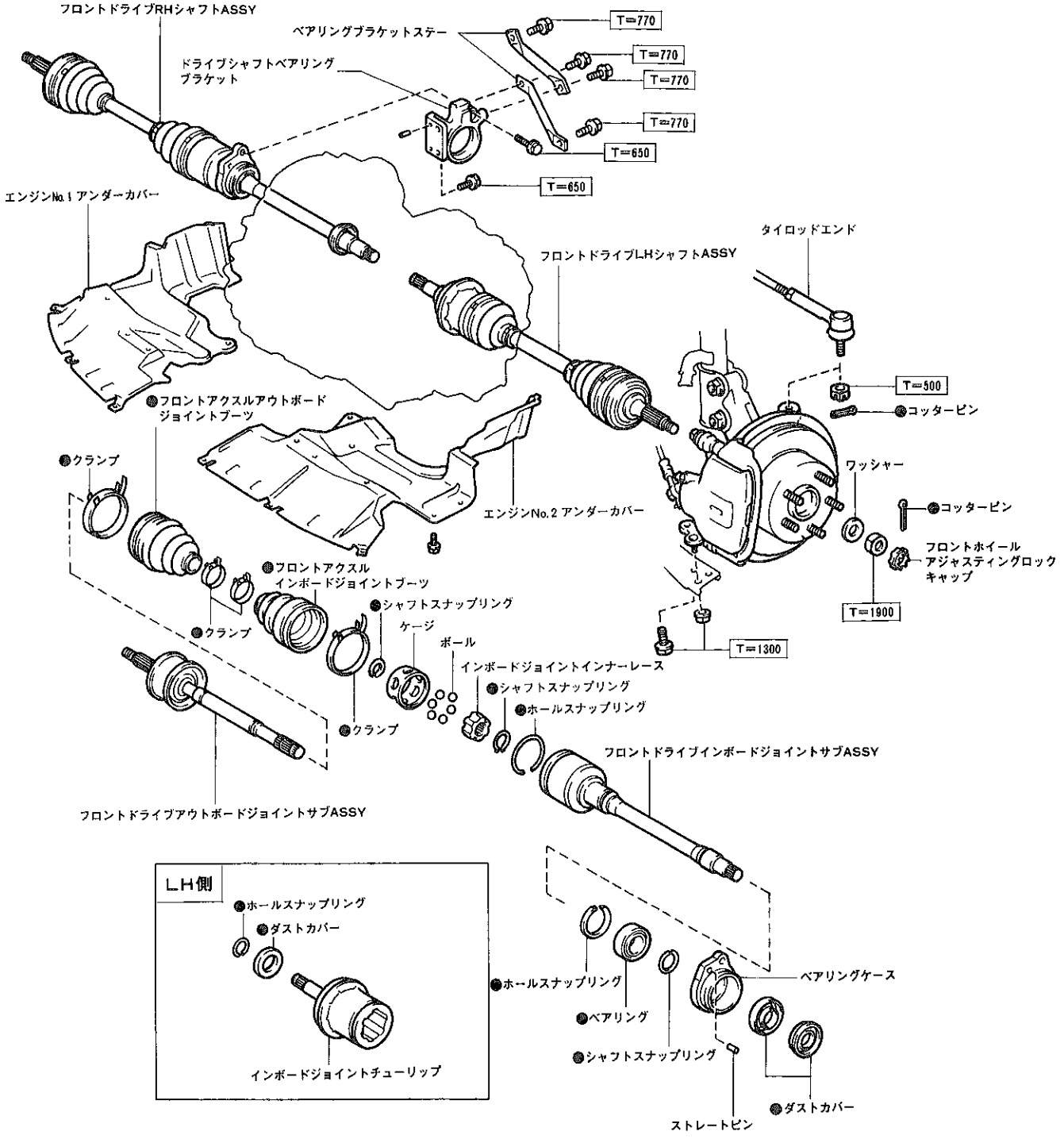
脱着分解構成図



X0099

無断複製禁止

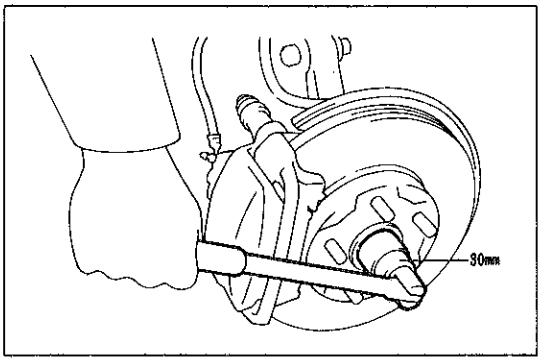
3S-GE車



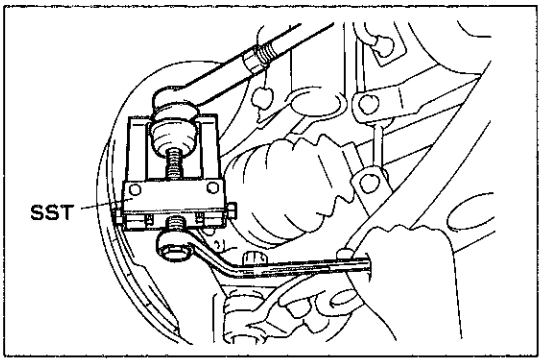
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg·cm）

X0100

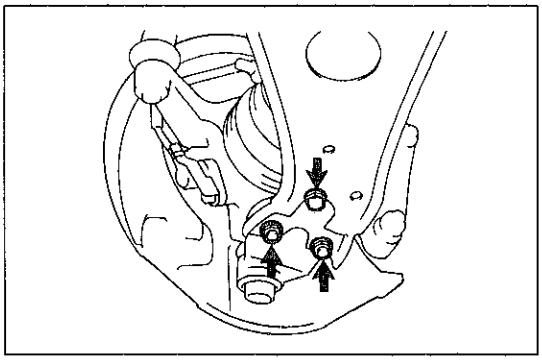
無断複製禁止

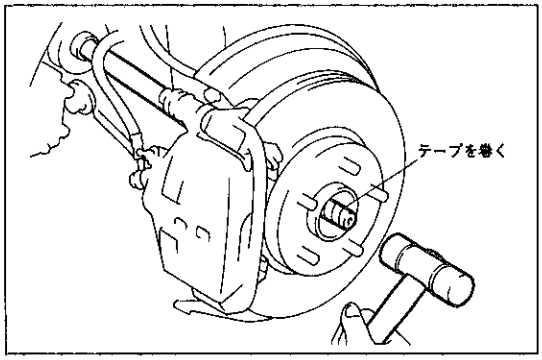


K4641

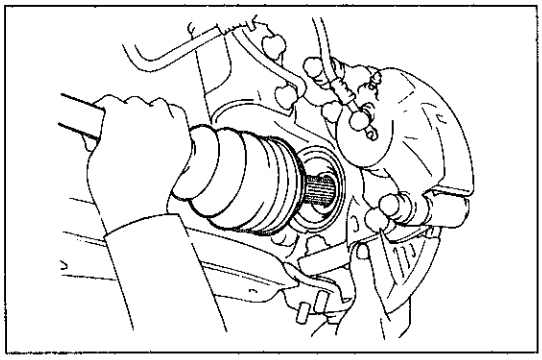


X0101


X0102



X0103


K4666

フロントドライブシャフト取りはずし（全車）

1　フロントホイール取りはずし

2　コッターピン，ロックキャップ，ロックナット，ワッシャー取りはずし

(1)　コッターピンおよびロックキャップを取りはずす。

(2)　ブレーキペダルを踏み，ブレーキが効いた状態でロックナットおよびワッシャーを取りはずす。

3　オイル抜き取り

注意　・A/T車はオイル抜き取り時，オイル量を測定しておく。
・M/T車は約1.5ℓ抜き取る。

4　エンジンアンダーカバーLHおよびRH取りはずし

5　タイロッドエンド切り離し

(1)　コッターピンをはずし，キャッスルナットを取りはずす。

(2)　ナックルアームからタイロッドエンドを切り離す。

SST　09628-62011

6　ロワーボールジョイント切り離し

(1)　ボルト1本およびナット2個を取りはずす。

7　フロントアクスルハブ切り離し

(1)　ドライブシャフトの先端をたたき，シャフトとアクスルハブのかん合をはずす。

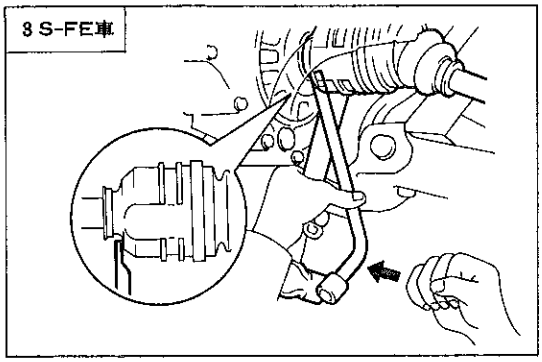
注意　オイルシールおよびドライブシャフトのねじ部を傷つけないようテープなどで保護する。

〈参考〉　かん合が固い場合は，プラスバーおよびハンマーを使用して，ドライブシャフト先端をたたく。

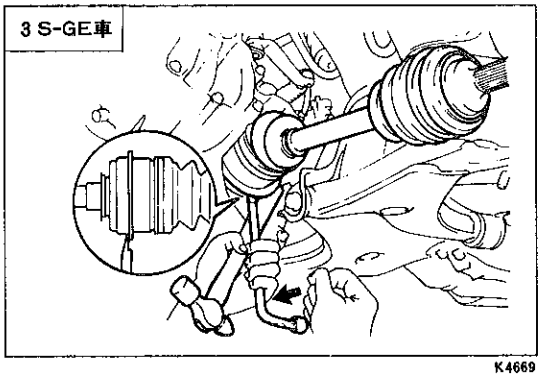
(2)　ロワーアームを押し下げ，ステアリングナックルを車両外側に押して，ドライブシャフトからアクスルハブを抜く。

注意　・必要以上にステアリングナックルを車両外側へ押さない。
・アウトボールジョイントダストカバーおよびブーツを傷つけないようウエスなどで保護する。
・スキッドコントロールローターを傷つけない。
（ABS付き車，4WS車LH側）

無断複製禁止



K1409



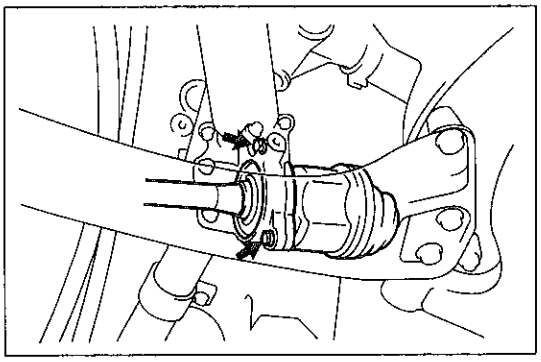
K4669

8　左フロントドライブシャフト取りはずし

(1) ハンマーの柄をトランスアクスルケースに据える。

(2) ハブナットレンチをドライブシャフトのチューリップに当て，ハブナットレンチの図の位置をたたき，左フロントドライブシャフトを取りはずす。

注意 ・シャフトが抜けにくい場合は，シャフトを少し回転させて抜く。
・ハブナットレンチおよびハンマーをすべらさないよう左手で固定する。
・ダストカバーにハブナットレンチを当てない。
・デフ側オイルシールを傷つけない。

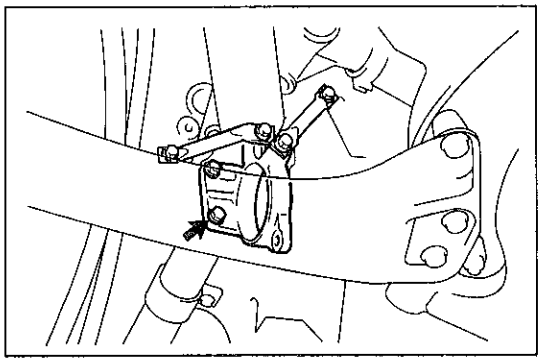

X0104

9　右フロントドライブシャフト取りはずし

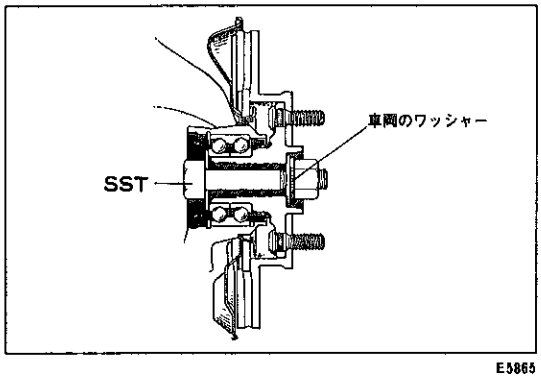
(1) ボルト２本をはずし，ベアリングブラケットから右フロントドライブシャフトを取りはずす。

注意 デフ側オイルシールを傷つけない。

〈参考〉 かん合が固い場合は，ブラスバーおよびハンマーを使用して，ベアリングケースを軽くたたくとよい。


X0105

(2) ボルト６本をはずして，ベアリングブラケットおよびステー２本を取りはずす。

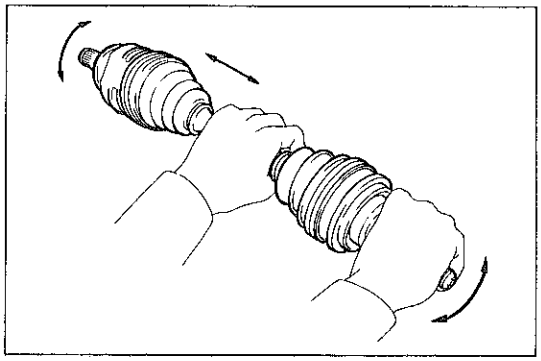


E5865

〈参考〉 ドライブシャフトを取りはずした状態でアクスルベアリングに車両荷重をかけないこと。車両移動などでやむを得ず荷重をかける場合は，図のようにＳＳＴを使用してアクスルベアリングを仮固定する。

ＳＳＴ　09608-02020　09608-02040

無断複製禁止

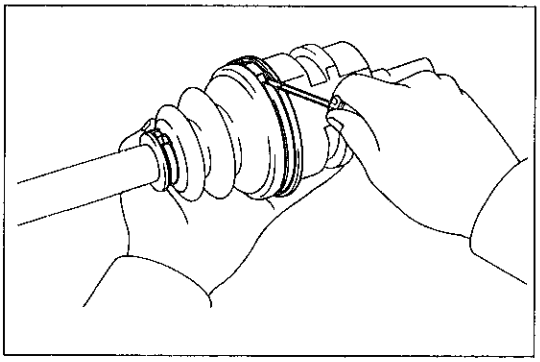

K5268

フロントドライブシャフト分解前点検（全車）

1　ドライブシャフトASSY点検

(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，作動の不円滑や著しいガタがないことを確認する。また，ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れを確認する。

注意　ドライブシャフトは水平にして持ち運ぶ。


K1897

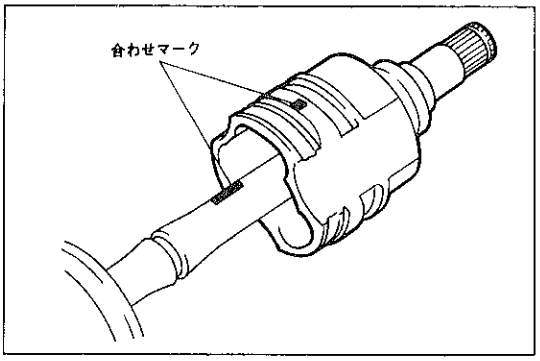
3S-FE車

フロントドライブシャフト分解

1　インボードジョイントブーツ切り離し

(1) ブーツクランプ2個を取りはずす。

(2) インボードジョイントブーツを取りはずす。



K1413

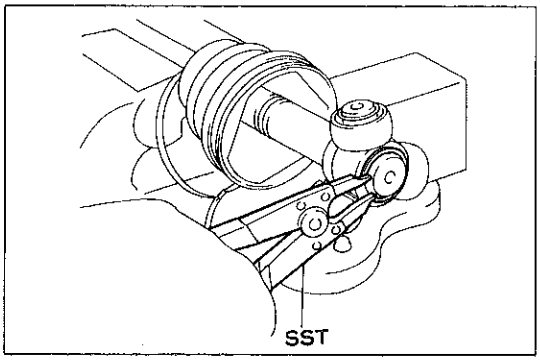
2　インボードジョイントアウターレース取りはずし

(1) インボードジョイント部からグリースを取り除く。

(2) インボードジョイントチューリップとドライブシャフトに合わせマークを付ける。

注意　ポンチを使用して，合わせマークを付けない。

(3) インボードジョイントチューリップをドライブシャフトから取りはずす。



E7844

3　インボードジョイント取りはずし

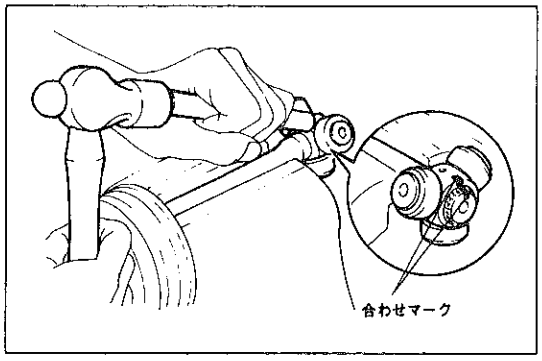
(1) ドライブシャフトをバイスに取り付ける。

(2) シャフトスナップリングを取りはずす。

SST　09905-00012

(3) シャフトスナップリングをアウトボードジョイント側にずらし取りはずす。(M/T車)

SST　09905-00012



K4677

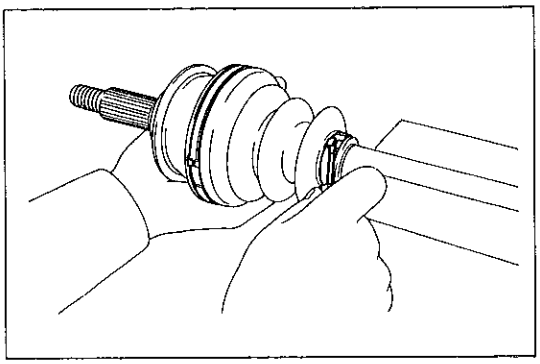
(4) インボードジョイントとドライブシャフトに合わせマークを付ける。

(5) インボードジョイントを取りはずす。

注意　取りはずしの際，ローラー部をたたかない。

(6) インボードジョイントブーツおよびクランプ2個を取りはずす。

無断複製禁止


E7848

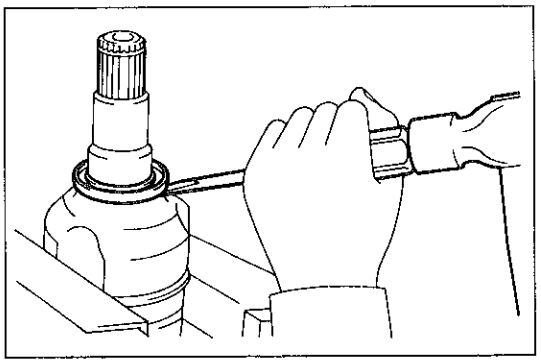
4　アウトボードジョイントブーツおよびクランプ取りはずし

(1)　ブーツクランプ2個を取りはずす。

(2)　アウトボードジョイントブーツをアウトボードジョイントから切り離す。

(3)　アウトボードジョイントブーツおよびクランプ2個をドライブシャフトから取りはずす。

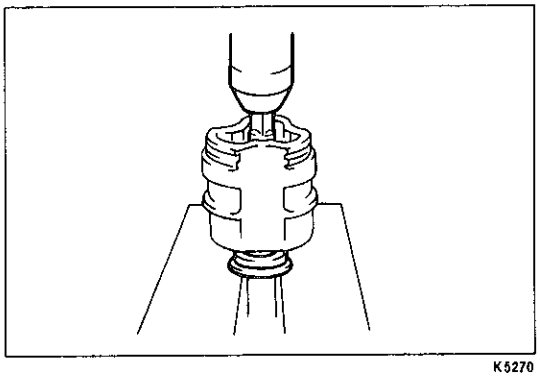
インボードジョイントチューリップダストカバーおよびスナップリング交換


K1416

1　ダストカバー交換

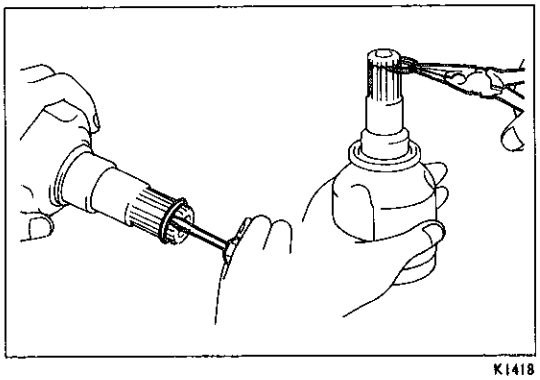
(1)　ダストカバーを取りはずす。

注意　バイスを強く締め付けない。


K5270

(2)　新品のダストカバーを取り付ける。

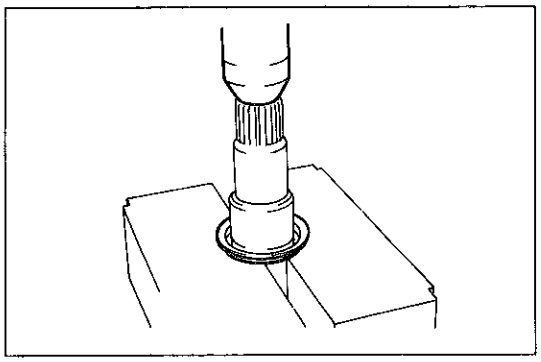
2　スナップリング交換（左側）


K1418

(1)　スナップリングを取りはずす。

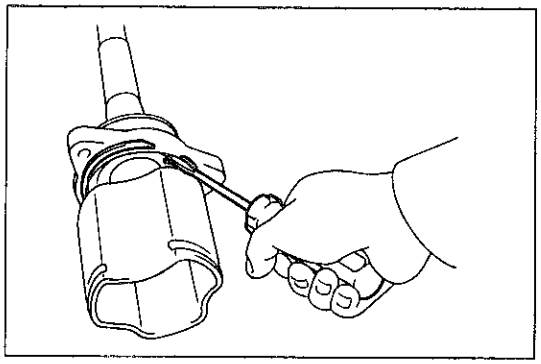
(2)　新品のスナップリングを取り付ける。

ドライブインボードジョイント分解，組み付け


K1452

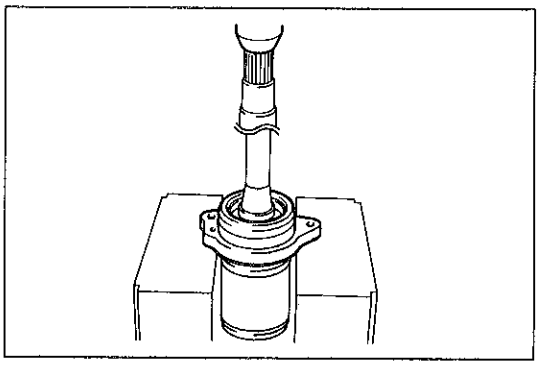
1　ダストカバー取りはずし

無断複製禁止

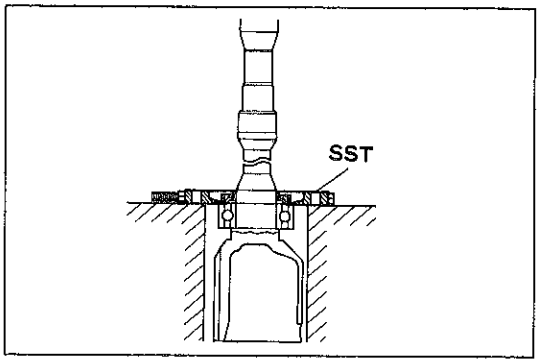

X0106

2　ベアリングケース取りはずし

(1)　⊖ドライバーで，ホールスナップリングを取りはずす。


X0107

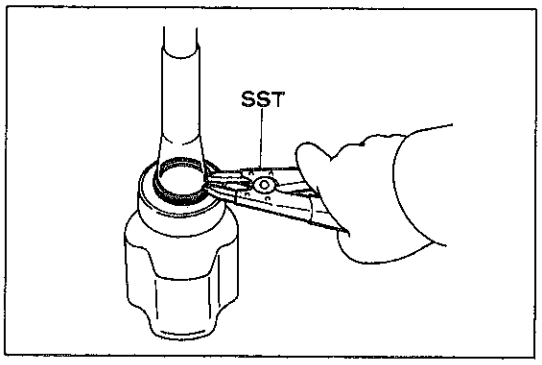
(2)　ベアリングケースを取りはずす。



X0108

3　ダストカバー取りはずし

ＳＳＴ　　09950-00020

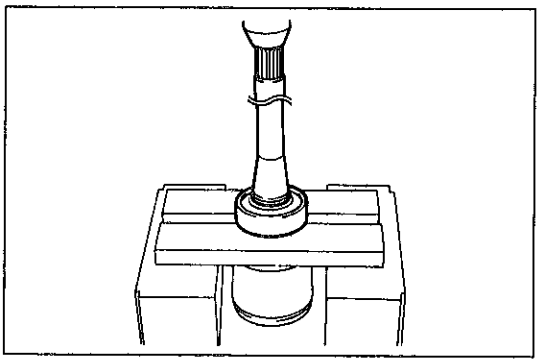


X0109

4　ベアリング取りはずし

(1)　シャフトスナップリングを取りはずす。

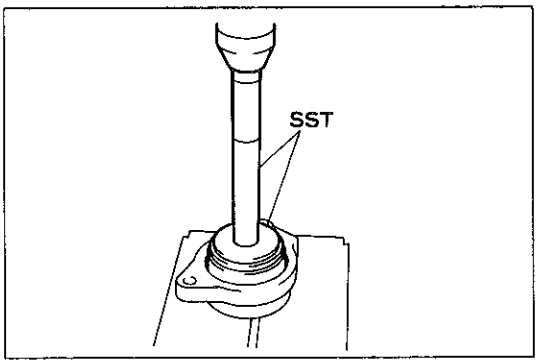
ＳＳＴ　　09905-00012


X0110

(2)　ベアリングをドライブインボードジョイントから取りはずす。

(3)　ホールスナップリングを取りはずす。

無断複製禁止

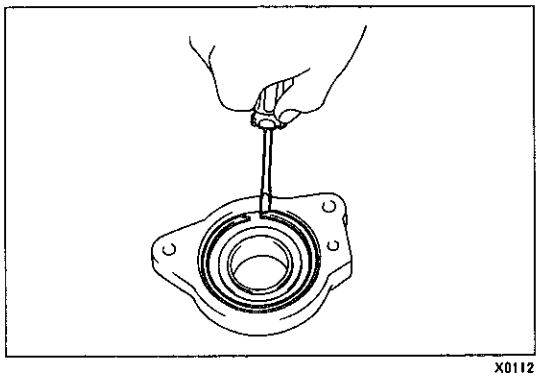


X0111

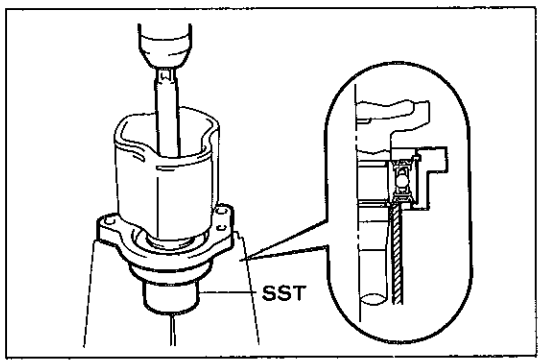
5　ベアリング取り付け

(1)　新品のベアリングをベアリングケースに圧入する。

ＳＳＴ　09608-00020　09608-00060


X0112

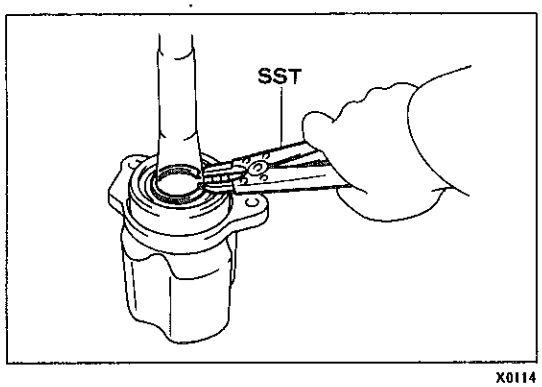
(2)　新品のホールスナップリングを取り付ける。



X0113

(3)　ベアリングケース　ウイズ　ベアリングをドライブインボードジョイントに圧入する。

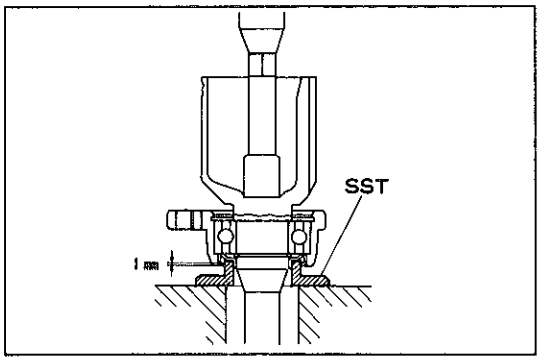
ＳＳＴ　09710-03140



X0114

(4)　新品のシャフトスナップリングを取り付ける。

ＳＳＴ　09905-00012



X0115

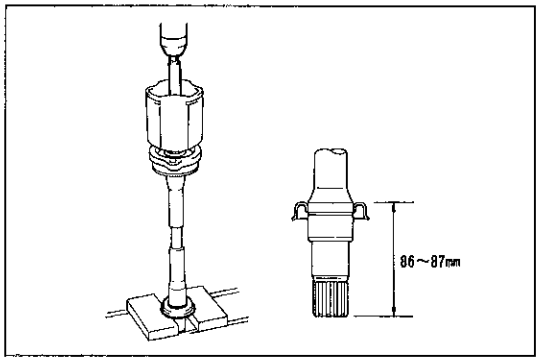
6　ダストカバー取り付け

(1)　新品のダストカバーを図に示す位置まで圧入する。

ＳＳＴ　09506-35010

注意　ダストカバーの向きを間違えない。

無断複製禁止



X0116

(2) 新品のダストカバーをシャフト先端から86～87mmになるように圧入する。

注意　ダストカバーの向きを間違えない。

フロントドライブシャフト組み付け

1 ブーツおよびクランプ組み付け

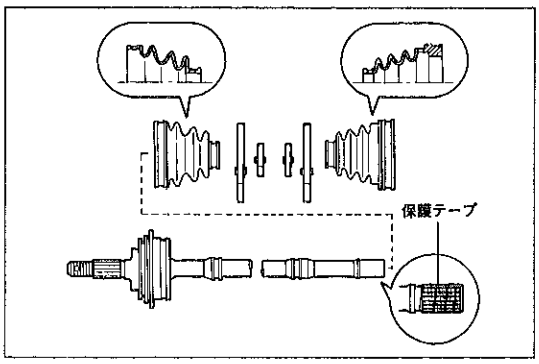
(1) ドライブシャフトのスプライン部でブーツを傷つけるおそれがあるため，保護用のテープを巻く。

(2) ドライブシャフトに次の新品部品を順に組み付ける。

① アウトボードジョイントブーツ

② クランプ4個

③ インボードジョイントブーツ



K1419

2 トリポートジョイント組み付け

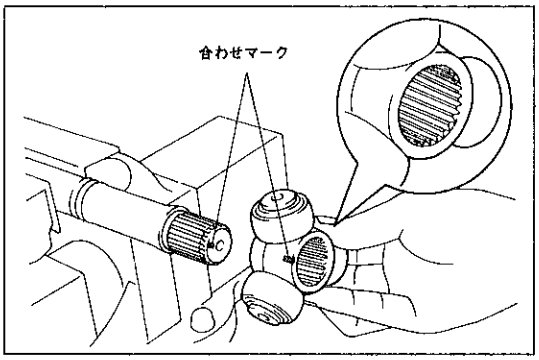
(1) 新品のシャフトスナップリングを組み付ける。(M/T車)

SST　09905-00012

(2) トリポートジョイントとドライブシャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。

(3) トリポートジョイントを打ち込む。

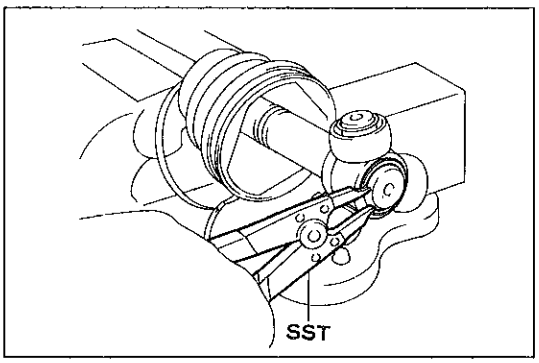
注意　打ち込む際，ローラー部をたたかない。



E7851

(4) 新品のシャフトスナップリングを組み付ける。

SST　09905-00012



E7844

3 インボードジョイントチューリップ組み付け

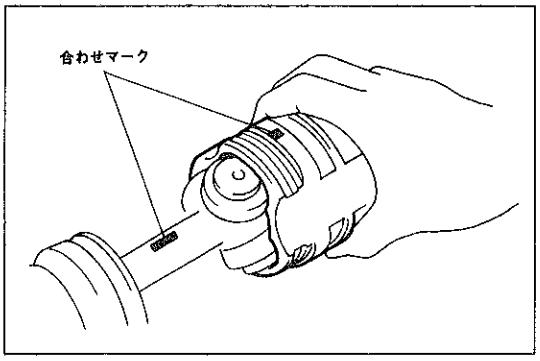
(1) インボードジョイントチューリップにグリースを充てんする。

注意　インボードジョイントとアウトボードジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

〈参考〉　グリース量

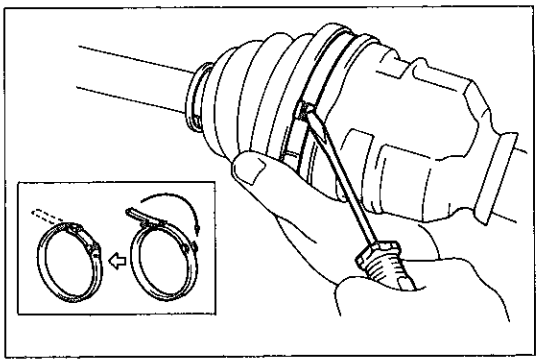
3 S-FE (A/T)	180g
3 S-FE (M/T)	232g

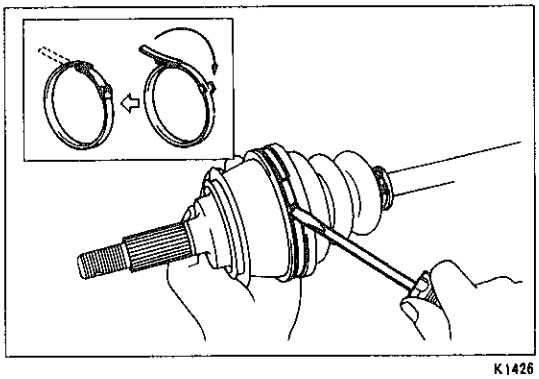
(2) チューリップとドライブシャフトの合わせマークを合わせて組み付ける。



K1422

無断複製禁止


K1424


K1426

4　インボードジョイントブーツ組み付け

(1)　インボードジョイントブーツをアウターレースおよびドライブシャフトの溝に組み付ける。

注意　ブーツのアウターレースかん合溝部に，グリースを付着させない。

(2)　クランプ2個をインボードジョイントブーツに組み付ける。

(3)　クランプを折り曲げ，クランプをかしめる。

注意　ブーツを傷つけない。

5　アウトボードジョイントブーツ組み付け

(1)　ジョイント部にグリースを充てんする。

注意　アウトボードジョイントとインボードジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

〈参考〉　グリース量

3S-FE (A/T)	110g
3S-FE (M/T)	120g

(2)　アウトボードジョイントブーツをジョイント部の溝に組み付ける。

注意　ブーツのジョイントかん合溝部にグリースを付着させない。

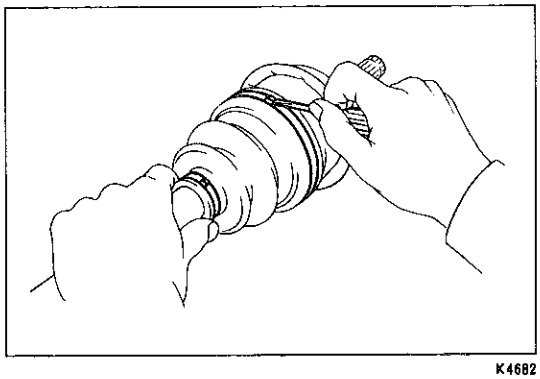
(3)　クランプ2個をアウトボードジョイントブーツに組み付ける。

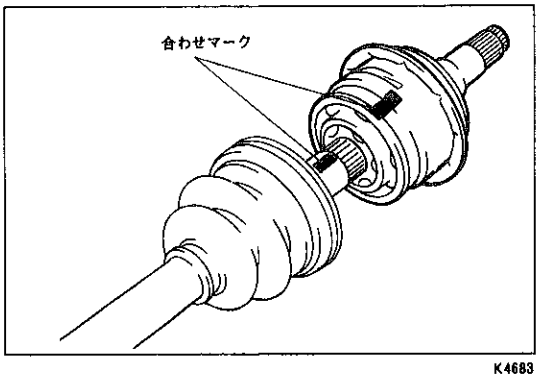
(4)　クランプを折り曲げ，クランプをかしめる。

6　ドライブシャフト点検

(1)　ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，スムースに作動することを確認する。

(2)　ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れがないことを確認する。


K4682



K4683

3S-GE車

フロントドライブシャフト分解

1　インボードジョイントブーツ切り離し

(1)　ブーツクランプ2個を取りはずす。

(2)　インボードジョイントブーツをアウターレースから取りはずす。

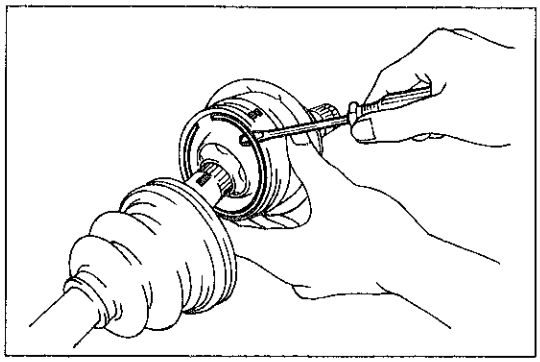
2　インボードジョイントアウターレース取りはずし

(1)　インボードジョイント部からグリースを取り除く。

(2)　インボードジョイントアウターレースとドライブシャフトに合わせマークを付ける。

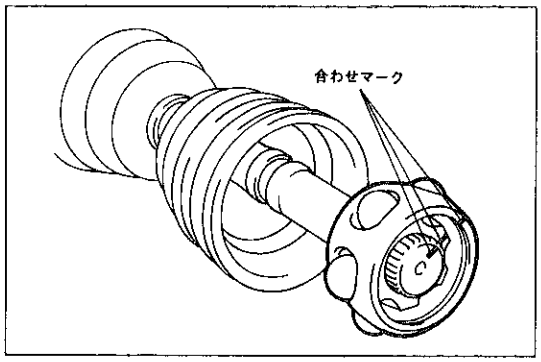
注意　合わせマークを付ける際，ポンチは使用しない。

無断複製禁止


K4684

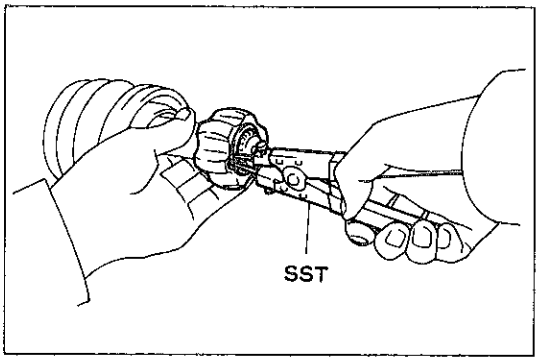
(3) スナップリングを取りはずす。
(4) インボードジョイントアウターレースをドライブシャフトから取りはずす。

注意　ボールを落とさない。



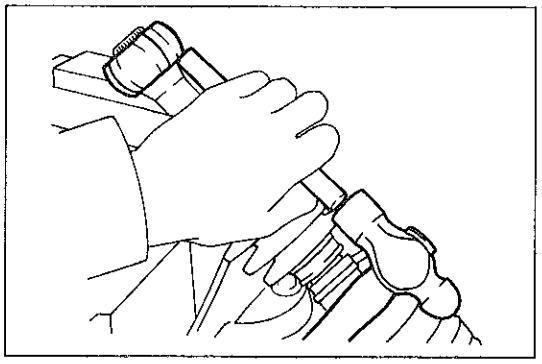
K1441

3　インボードジョイント取りはずし
(1) ケージ，インナーレースおよびドライブシャフトに合わせマークを付ける。
(2) ボール6個を取りはずす。
(3) ケージの穴とインナーレースの凸部を合わせインナーレースとの噛み合いをはずして，ケージをアウトボードジョイント側へはずす。

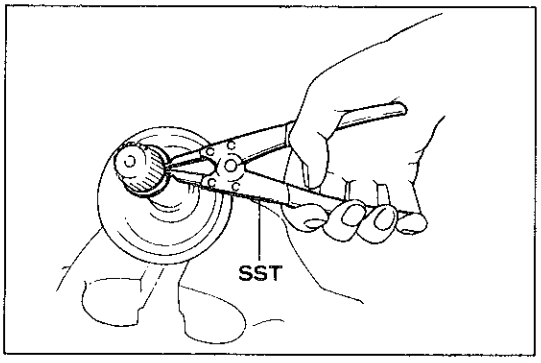


K1444

(4) シャフトスナップリングを取りはずす。
SST　09904-00010


K1445

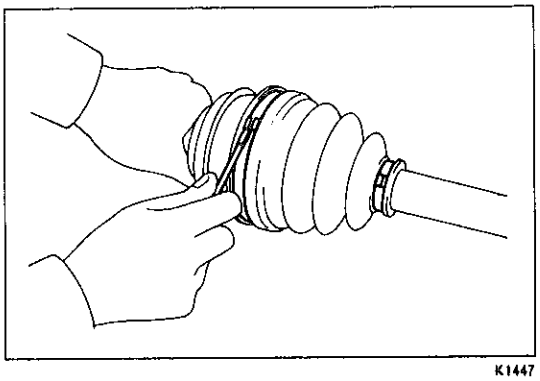
(5) インナーレースを取りはずす。
(6) ケージを取りはずす。



K4685

(7) シャフトスナップリングを取りはずす。
SST　09905-00012
(8) インボードジョイントブーツおよびクランプ2個を取りはずす。

無断複製禁止

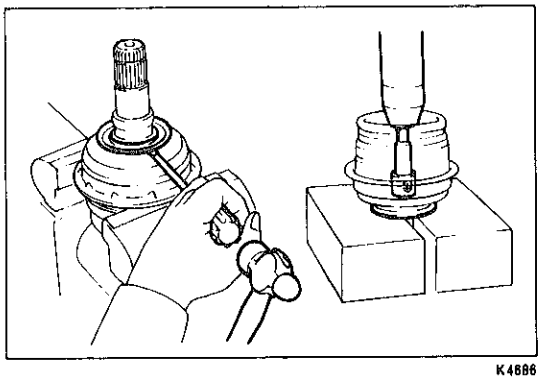

K1447

4　アウトボードジョイントブーツおよびクランプ取りはずし

(1)　ブーツクランプ2個を取りはずす。

(2)　アウトボードジョイントブーツをアウトボードジョイントから切り離す。

(3)　アウトボードジョイントブーツおよびクランプ2個をドライブシャフトから取りはずす。


K4886

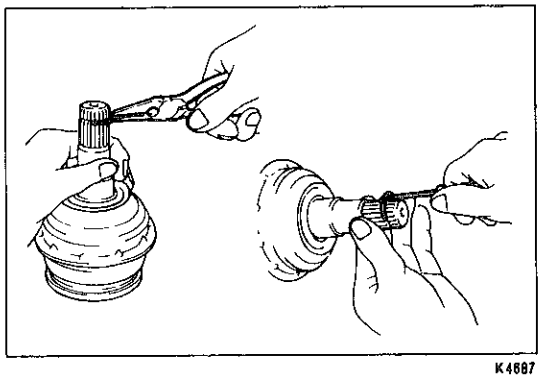
インボードジョイントチューリップダストカバーおよびスナップリング交換

1　ダストカバー交換

(1)　ダストカバーを取りはずす。

注意　バイスを強く締め付けない。

(2)　新品のダストカバーを取り付ける。


K4887

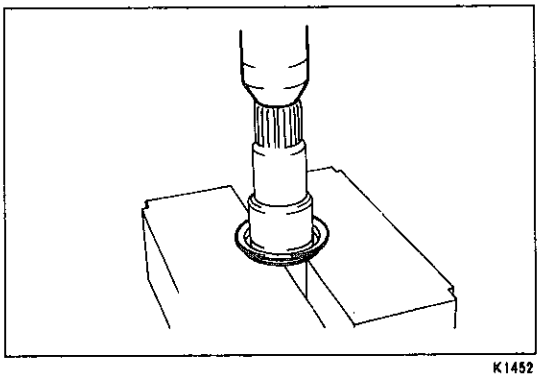
2　スナップリング交換（左側）

(1)　スナップリングを取りはずす。

(2)　新品のスナップリングを取り付ける。

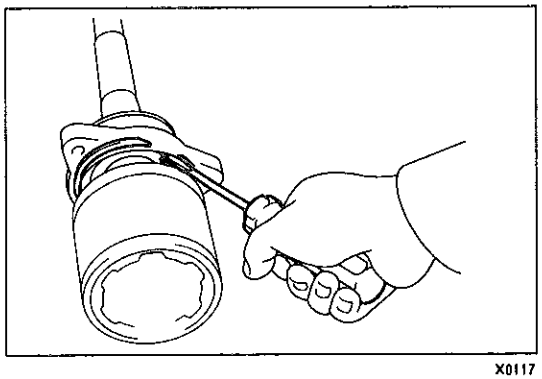
ドライブインボードジョイント分解，組み付け

1　ダストカバー取りはずし

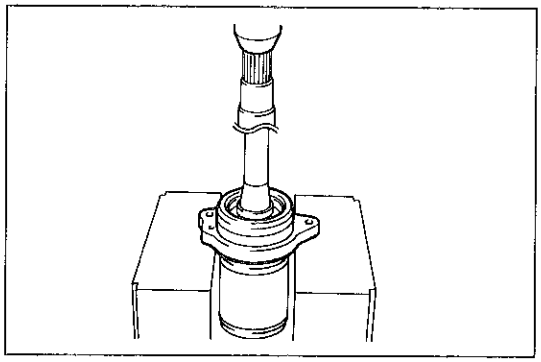

K1452

2　ベアリングケース取りはずし

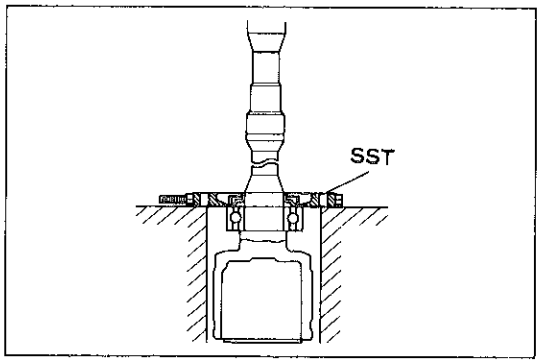
(1)　⊖ドライバーで，ホールスナップリングを取りはずす。


X0117

無断複製禁止


X0107

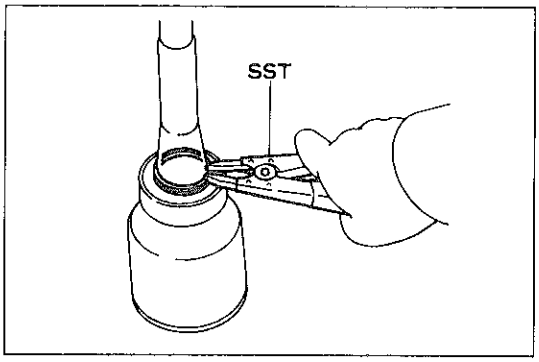
(2)　ベアリングケースを取りはずす。



X0118

3　ダストカバー取りはずし

ＳＳＴ　　09950-00020

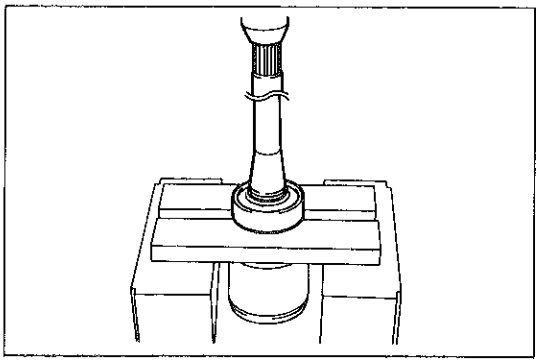


X0119

4　ベアリング取りはずし

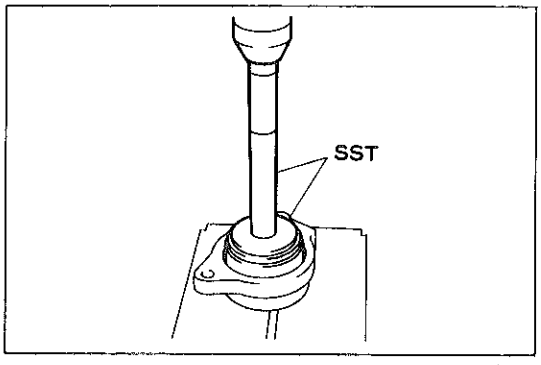
(1)　シャフトスナップリングを取りはずす。

ＳＳＴ　　09905-00012


X0110

(2)　ベアリングをドライブインボードジョイントから取りはずす。

(3)　ホールスナップリングを取りはずす。



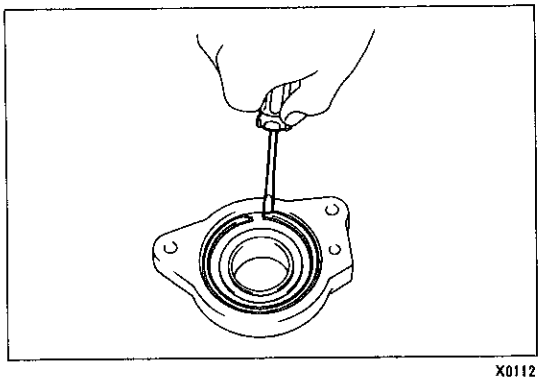
X0111

5　ベアリング取り付け

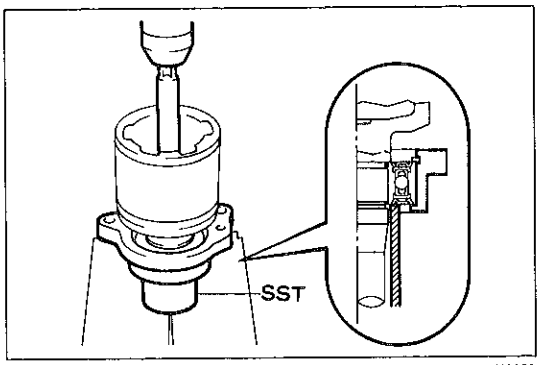
(1)　新品のベアリングをベアリングケースに圧入する。

ＳＳＴ　　09608-00020　　09608-00060

無断複製禁止


X0112

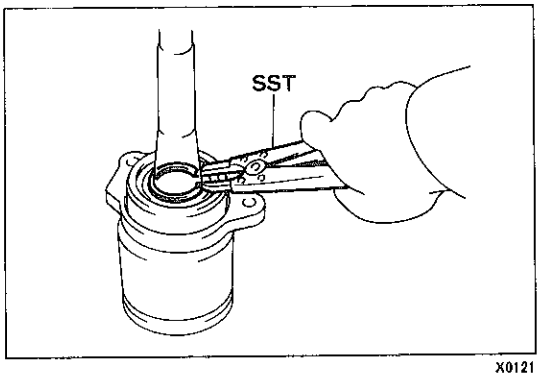
(2) 新品のホールスナップリングを取り付ける。



X0120

(3) ベアリングケース　ウイズ　ベアリングをドライブインボードジョイントに圧入する。

ＳＳＴ　09710-03140



X0121

(4) 新品のシャフトスナップリングを取り付ける。

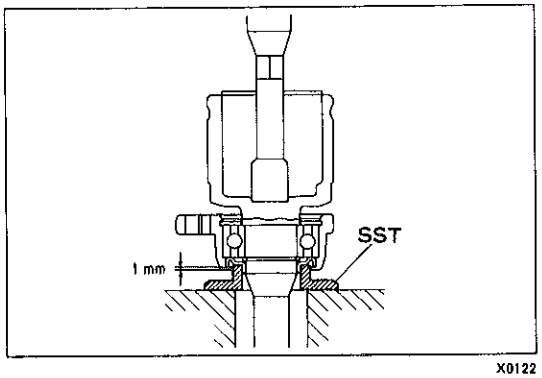
ＳＳＴ　09905-00012

6　ダストカバー取り付け

(1) 新品のダストカバーを図に示す位置まで圧入する。

ＳＳＴ　09506-35010

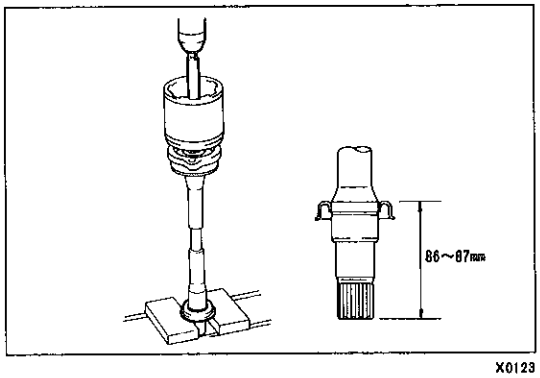
注意　ダストカバーの向きを間違えない。



X0122

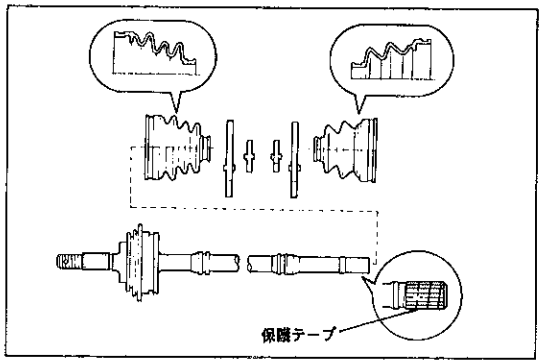
(2) 新品のダストカバーをシャフト先端から86～87mmになるように圧入する。

注意　ダストカバーの向きを間違えない。

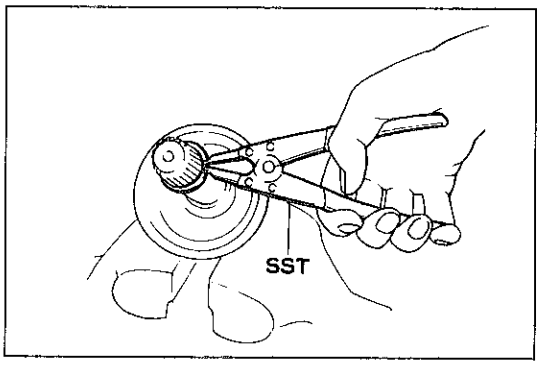


X0123

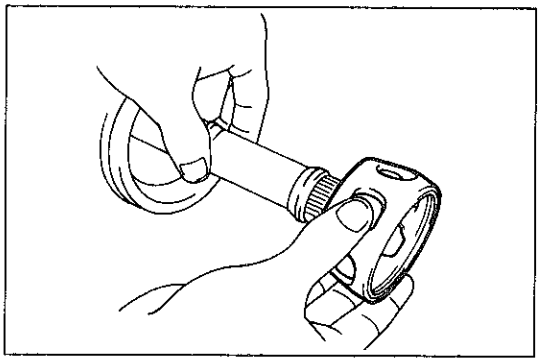
無断複製禁止

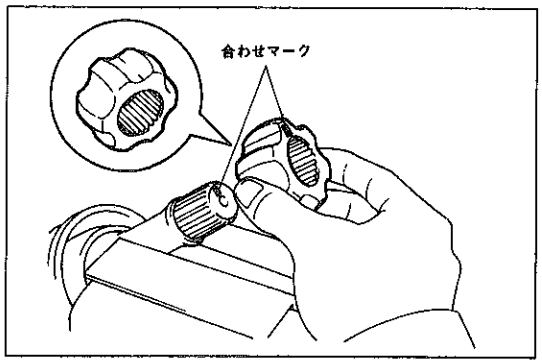


K4688

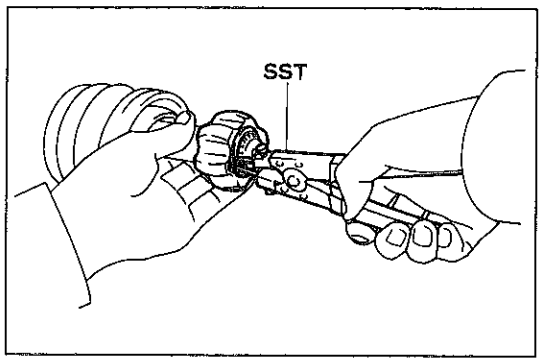


K4685


K1459



K1460



K1444

フロントドライブシャフト組み付け

1　ブーツおよびクランプ組み付け

(1)　ドライブシャフトのスプライン部でブーツを傷つけるおそれがあるため，保護用のテープを巻く。

(2)　ドライブシャフトに次の新品部品を順に組み付ける。

①　アウトボードジョイントブーツ

②　クランプ4個

③　インボードジョイントブーツ

2　インボードジョイント組み付け

(1)　新品のシャフトスナップリングを取り付ける。

SST　　09905-00012

(2)　ケージをドライブシャフトに差し込む。

注意　　内径の小さい方をアウトボード側にする。

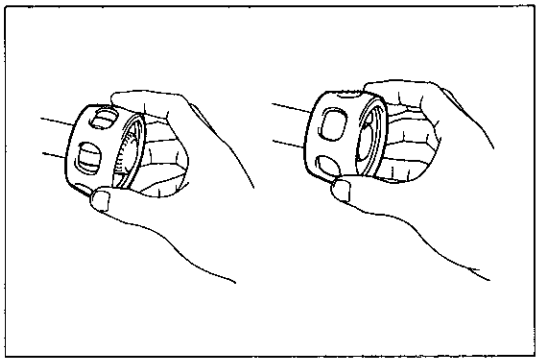
(3)　インナーレースとドライブシャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。

(4)　インナーレースを打ち込む。

(5)　新品のシャフトスナップリングを組み付ける。

SST　　09904-00010

無断複製禁止

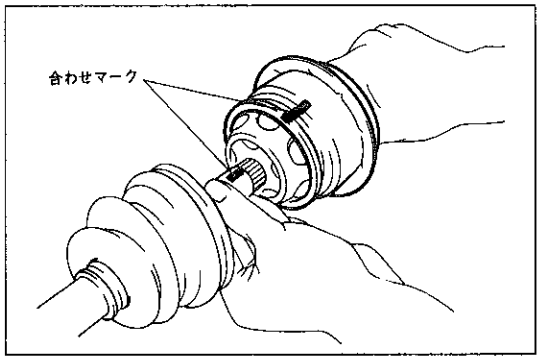


K1443　K1442

(6) ケージとインナーレースの合わせマークを合わせて，ケージとインナーレースを噛み合わせる。

(7) ボール6個を取り付ける。

注意　脱落防止のため，ボールにグリースを塗布する。



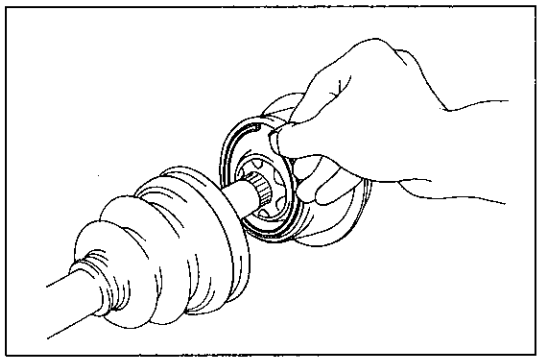
K4689

3 インボードジョイントアウターレース組み付け

(1) インボードジョイントアウターレースにグリースを充てんする。

〈参考〉　グリース量　110g

(2) アウターレースをドライブシャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。



K4690

(3) スナップリングを組み付ける。

4 インボードジョイントブーツ組み付け

(1) インボードジョイントブーツをアウターレースおよびドライブシャフトの溝に組み付ける。

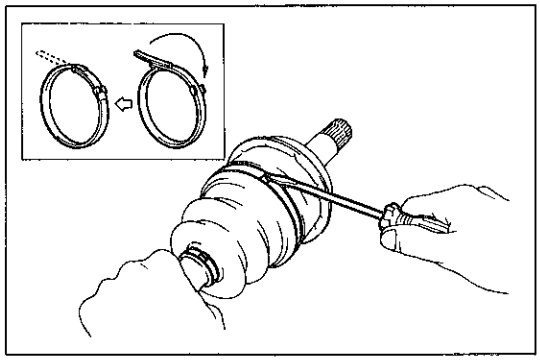
注意　ブーツのアウターレースかん合部に，グリースを付着させない。

(2) クランプ2個をインボードジョイントブーツに組み付ける。

注意　アウターレース部固定のクランプは，アウトボードジョイント部のクランプより小さいものを組み付ける。

(3) クランプを折り曲げ，クランプをかしめる。

注意　ブーツを傷つけない。



K4691

5 アウトボードジョイントブーツ組み付け

(1) ジョイント部にグリースを充てんする。

〈参考〉　グリース量　120g

(2) アウトボードジョイントブーツをアウトボードジョイントおよびドライブシャフトの溝に組み付ける。

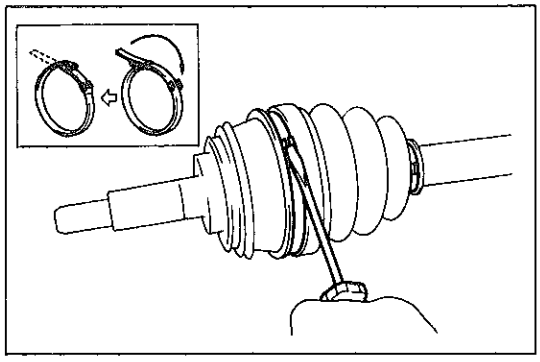
注意　ブーツのジョイントかん合溝部に，グリースを付着させない。

(3) クランプ2個をアウトボードジョイントブーツに組み付ける。

注意　ジョイント部固定のクランプは，インボードジョイント部のクランプより大きいものを組み付ける。

(4) クランプを折り曲げ，クランプをかしめる。

注意　ブーツを傷つけない。



K1468

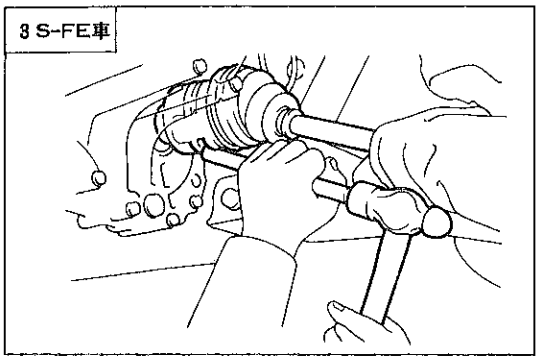
6 ドライブシャフト点検

(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，スムースに作動することを確認する。

(2) ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れがないことを確認する。

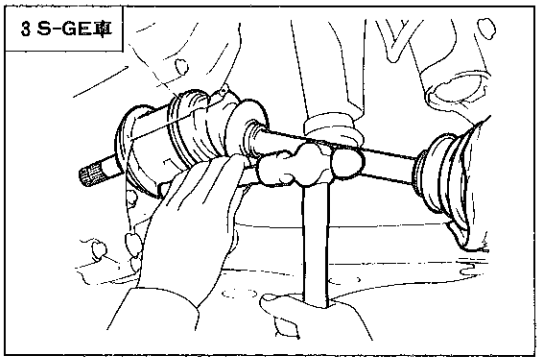
無断複製禁止

3 S-FE車

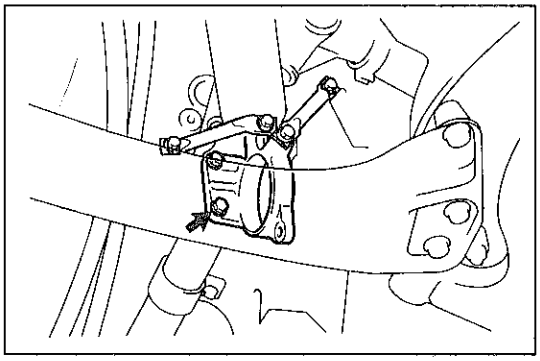


K1431

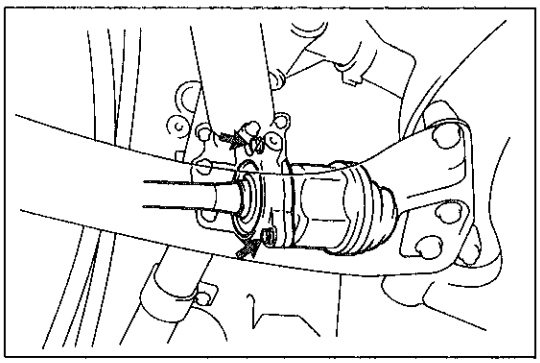
3 S-GE車



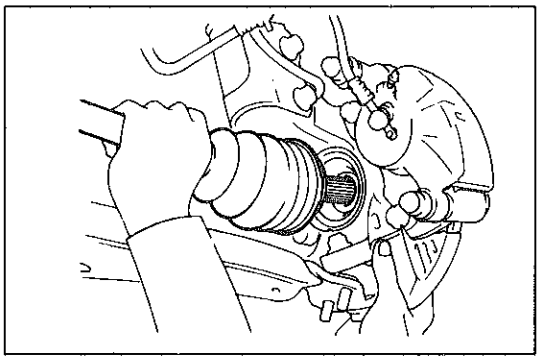
K4693



X0105



X0104



K4666

フロントドライブシャフト取り付け（全車）

1　左フロントドライブシャフト取り付け

(1) インボードジョイントチューリップとディファレンシャルケースとの摺動面にオイルを塗布する。

(2) インボードジョイントシャフトのセレーションをディファレンシャルピニオンのセレーションにかん合する。

(3) インボードジョイントシャフト先端部がディファレンシャルピニオンシャフトに当たるまで確実に打ち込む。

注意　・スナップリングの切り口を下に向ける。
・挿入時，オイルシールを傷つけない。

〈参考〉　打ち込み時，プラスバーの反力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断する。

2　右フロントドライブシャフト取り付け

(1) ボルト６本でベアリングブラケットおよびステー２本を取り付ける。

T＝650kg·cm （ブラケット）

T＝770kg·cm （ステー）

(2) ドライブインボードジョイントとディファレンシャルケースとの摺動面にオイルを塗布する。

(3) 右フロントドライブシャフトを挿入して，ボルト２本で固定する。

T＝650kg·cm

注意　挿入時，オイルシールを傷つけない。

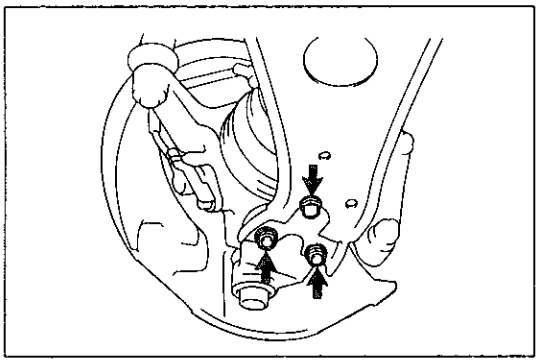
3　フロントアクスルハブ取り付け

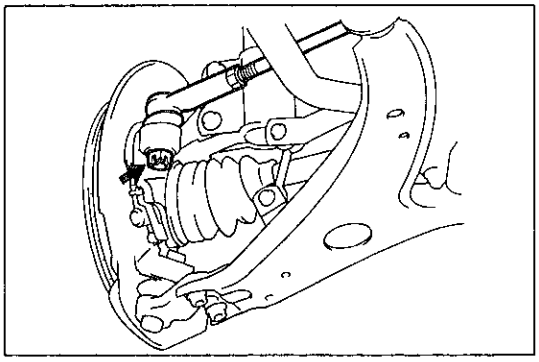
(1) ステアリングナックルを車両外側に押して，ドライブシャフトにアクスルハブを挿入する。

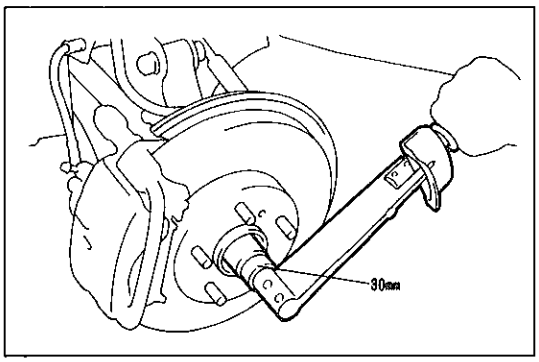
注意　・必要以上にステアリングナックルを車両外側に押さない。
・ロワーボールジョイントがロワーアームの上になるようにする。
・オイルシールを傷つけない。
・スキッドコントロールローターを傷つけない。
（ABS付き車，４WS車LH側）

(2) ロワーアームを押し上げて，ロワーボールジョイントのスタッドボルトをロワーアームにはめる。

無断複製禁止


X0102


X0124



K4611

4　ロワーボールジョイントセットボルトおよびナット取り付け

(1)　ボルト１本およびナット２個を取り付ける。

T＝1300kg·cm

5　タイロッドエンド取り付け

(1)　タイロッドエンドをステアリングナックルに取り付け，キャッスルナットを締め付ける。

T＝500kg·cm

注意　キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは60°以内の増し締めで行う。

(2)　新品のコッターピンを取り付ける。

6　オイル注入およびオイル量点検

7　エンジンアンダーカバーLHおよびRH取り付け

8　ワッシャー，ロックナット，ロックキャップおよびコッターピン取り付け

(1)　ワッシャーおよびロックナットを取り付ける。

(2)　ブレーキペダルを踏み，ブレーキが効いた状態でナットを規定トルクで締め付ける。

T＝1900kg·cm

(3)　ドライブシャフトのコッターピン取り付け穴にナットキャップの切り口を合わせ，新品のコッターピンを取り付ける。

9　フロントホイール取り付け

T＝1050kg·cm

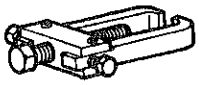
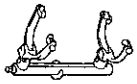
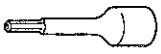
10　フロントホイールアライメント点検および調整

(P6-4参照)

無断複製禁止

リヤサスペンション

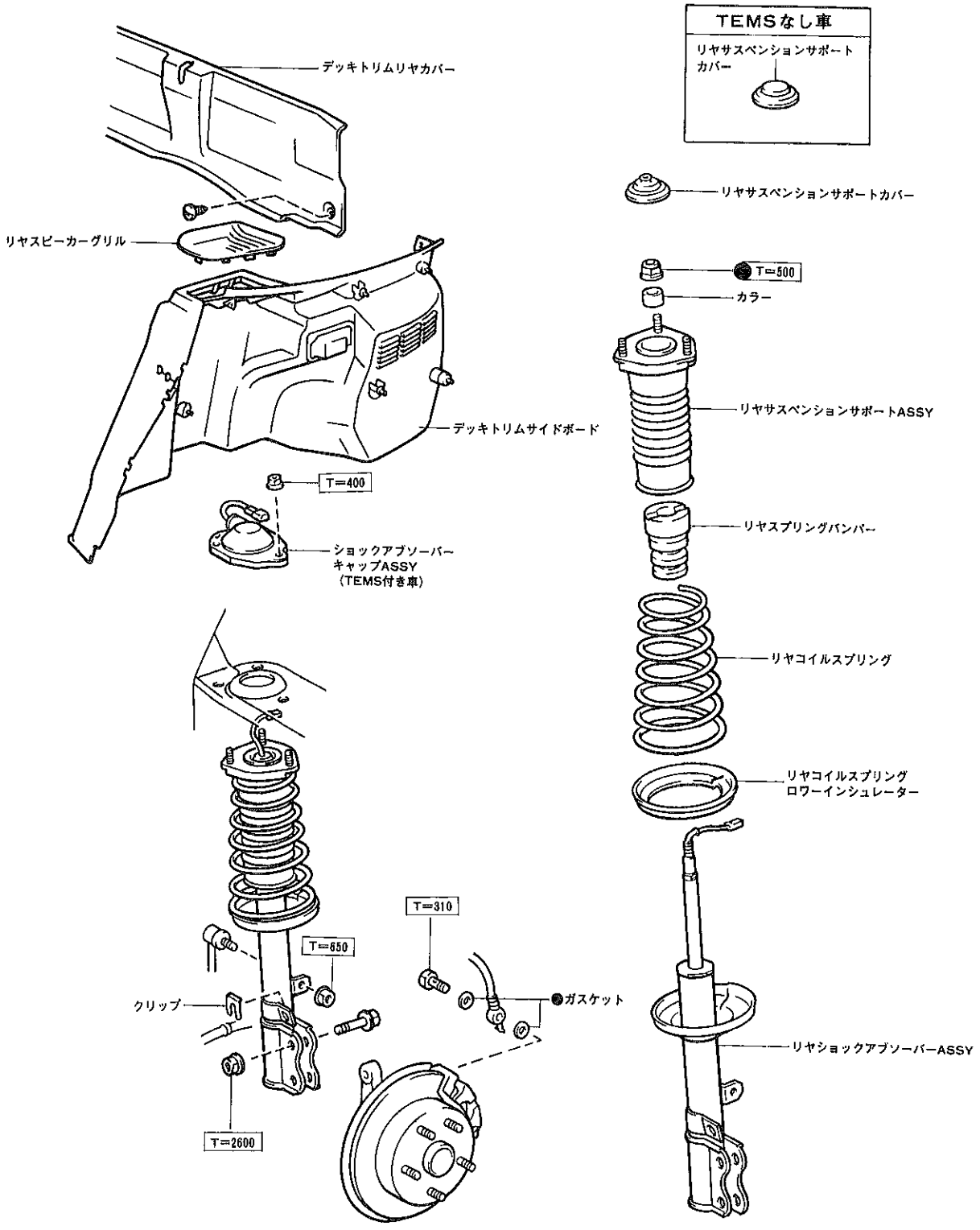
準　備　品

SST		09268-64010	インジェクションノズル レンチセット	
		09268-64030	インジェクションノズル ホルダーレンチ	サスペンションサポートナット脱着用 (TEMS付き車)
		09628-62011	ボールジョイント プラー	ボールジョイント部切り離し用 (4WS車)
		09727-30020	コイルスプリング コンプレッサー	コイルスプリング圧縮用
工　具		㈱バンザイ 扱い 3X-75-5	ヘキサゴン レンチ5	スタビライザーリンク脱着用
計　器	トルクレンチ（500～2800kg·cm）			各部締め付け用
	トルクレンチ（0～15kg·cm）			スタビライザーリンク回転具合点検用
油　脂 その他	トヨタブレーキフルード2500H			ブレーキエア抜き用

無断複製禁止

リヤショックアブソーバー

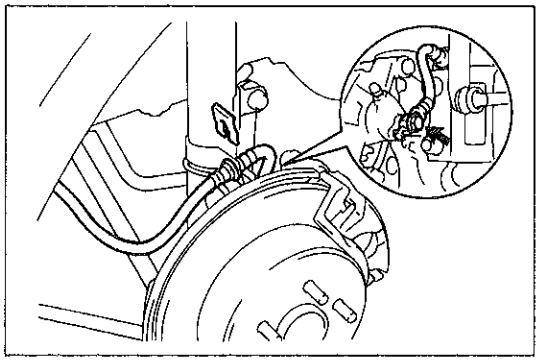
脱着構成図

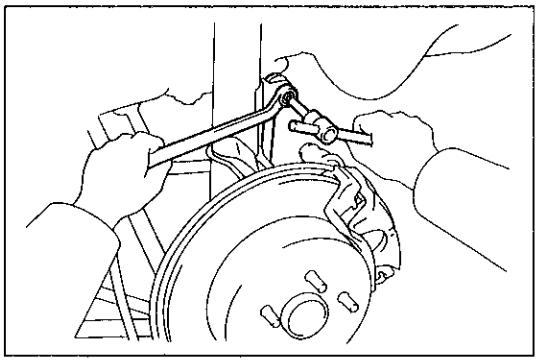


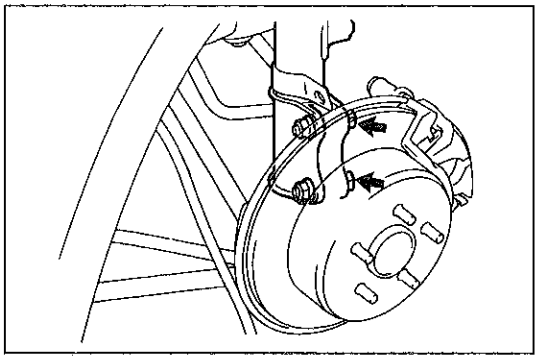
●……再使用不可部品　□……締め付けトルク（kg·cm）

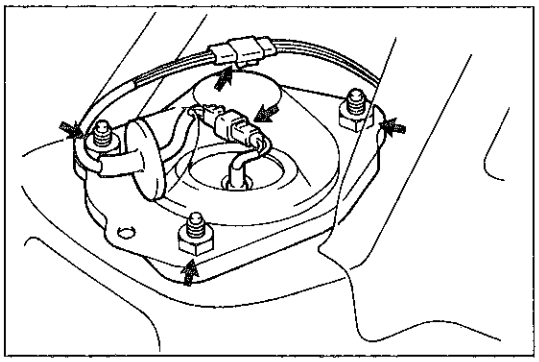
X0189

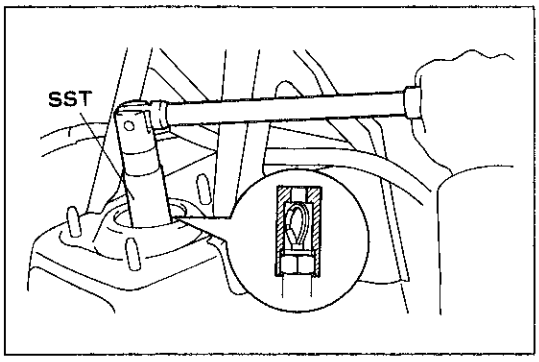
無断複製禁止


X0126


X0128


X0129


X0190



X0191

リヤショックアブソーバASSY取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　ブレーキチューブ切り離し

(1)　ブレーキチューブを切り離す。

(2)　クリップをはずし，フレキシブルホースをショックアブソーバーのブラケットから切り離す。

3　スピードセンサー用ワイヤハーネス切り離し（ABS付き車）

4　スタビライザーリンク切り離し

(1)　ヘキサゴンレンチ（5 mm）でスタッドを固定して，ナットをはずし，スタビライザーリンクをショックアブソーバーから切り離す。

5　ショックアブソーバーロワーブラケットナット取りはずし

(1)　ナット2個を取りはずし，ボルト2本を差し込んでおく。

6　サスペンションジャッキアップ

(1)　木片を介して，リヤアクスルキャリヤをジャッキで支える。

7　デッキトリムリヤカバー，デッキトリムサイドボードおよびリヤスピーカーグリル取りはずし

8　サスペンションサポート切り離し

(1)　ナット3個およびコネクター2箇所をはずして，ショックアブソーバーキャップを取りはずす。（TEMS付き車）

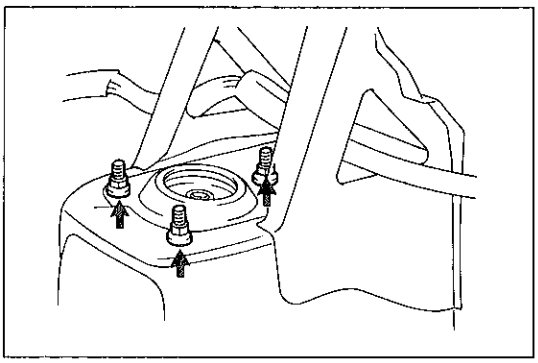
(2)　サスペンションサポートカバーを取りはずす。

(3)　サスペンションサポートナットをゆるめる。

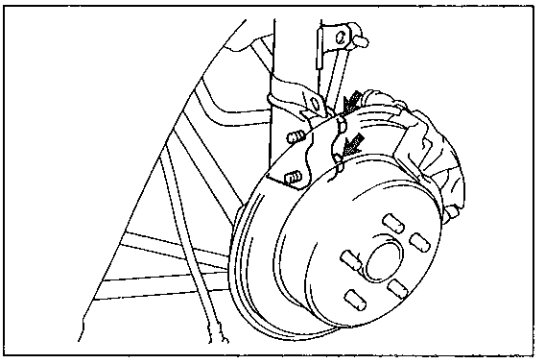
SST　09268-64030（TEMS付き車）

注意　ナットのロックを解くだけで，ナットは取りはずさない。

無断複製禁止

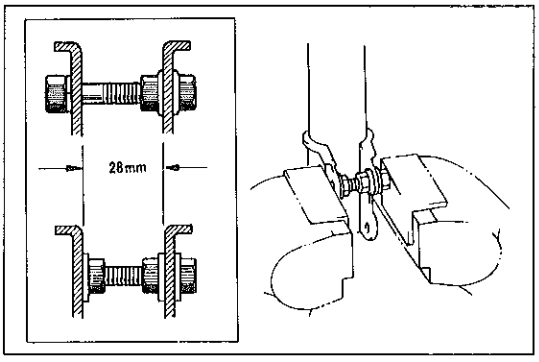

X0192

(4) ナット3個をはずして，サスペンションサポートを切り離す。
(TEMSなし車)


X0133

9 リヤショックアブソーバー　ウイズ　コイルスプリング取りはずし

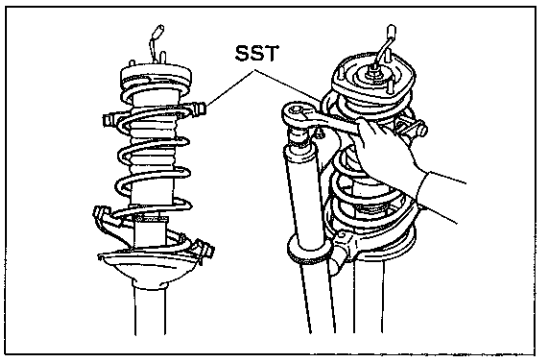
(1) ジャッキをゆっくり下げる。
(2) ボルト2本をはずして，リヤショックアブソーバー　ウイズ　コイルスプリングを取りはずす。
(3) リヤアクスルキャリヤを針金などで吊しておく。



E4336

10 リヤショックアブソーバー　ウイズ　コイルスプリング固定

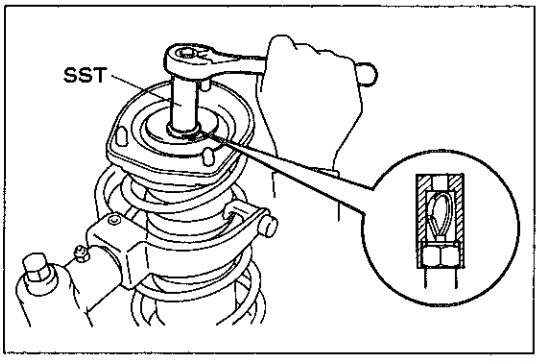
(1) ショックアブソーバーロワーブラケットにボルトおよびナットを図のように組み付け，バイスに固定する。



X0134

11 リヤショックアブソーバー取りはずし

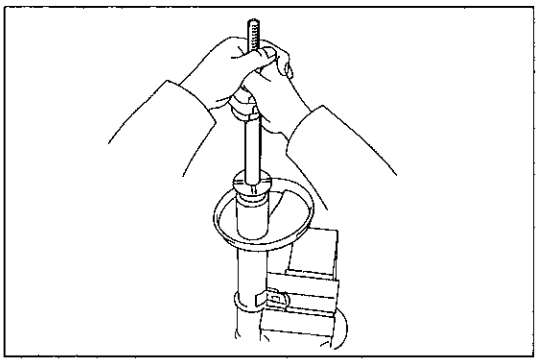
(1) 取り付けられる範囲で上下のフックの距離が最も広くなるようスプリングに取り付ける。
ＳＳＴ　09727-30020
(2) スプリングを自由に動かせるまで圧縮する。
注意　インパクトレンチは使用しない。



X0135

(3) ナットおよびカラーをはずして，サスペンションサポート，コイルスプリング，インシュレーターおよびスプリングバンパーを取りはずす。
ＳＳＴ　09268-64030（TEMS付き車）
注意
・アクチュエーター用W/Hを軽く2つに折り曲げてＳＳＴを差し込む。（TEMS付き車）
・インパクトレンチは使用しない。（TEMS付き車）
・1回転ゆるめるごとにＳＳＴをはずして，W/Hがねじれないようにする。（TEMS付き車）

無断複製禁止

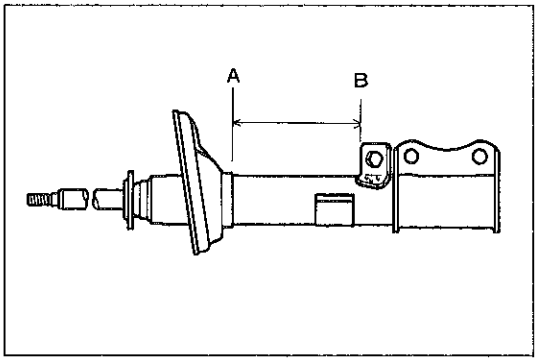

D6486

リヤショックアブソーバーASSY点検

1　ショックアブソーバー点検

(1)　ショックアブソーバーを伸縮させて点検する。

基　準　　全ストロークの重さが一定であり異常な手ごたえ，異音がない



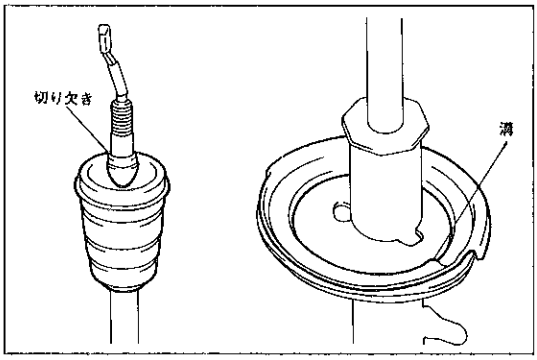
K4705

ガス封入式ショックアブソーバー廃却方法

1　ショックアブソーバー廃却

(1)　ガス封入式のショックアブソーバーを廃却する場合は，ピストンロッドを伸ばした状態で水平に置き，図に示すA－B間にφ2～3mmの穴をあけてガスを抜く。

注意　　抜け出すガスは無色，無臭，無害であるが，ドリルの切り粉などが飛び出すこともある。



K4706

リヤショックアブソーバーASSY取り付け

1　ロワーインシュレーター取り付け

(1)　ロワーインシュレーターの溝とショックアブソーバーの溝を合わせて取り付ける。

2　スプリングバンパー取り付け

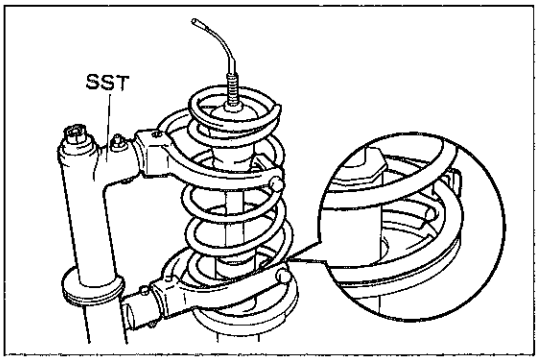
(1)　スプリングバンパーの端面がショックアブソーバーの切り欠きの下になるように取り付ける。

3　コイルスプリング取り付け

(1)　コイルスプリングを圧縮する。

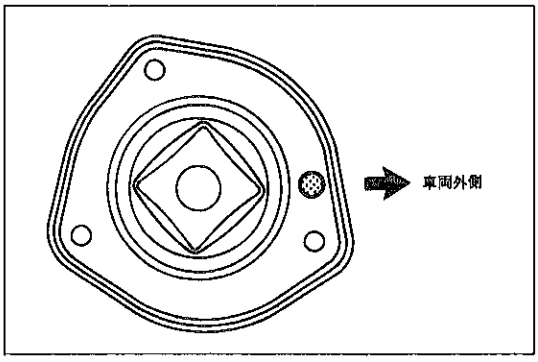
SST　　09727-30020

(2)　コイルスプリングエンドをロワーシートの溝に合わせて取り付ける。



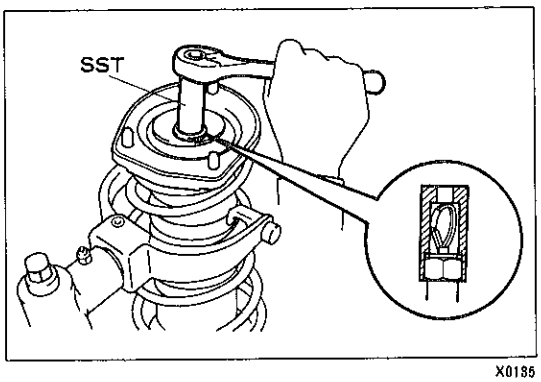
X0136

(3)　サスペンションサポートが，ショックアブソーバーのロワーブラケットに対して図に示す位置になるように組み付ける。



X0137

無断複製禁止



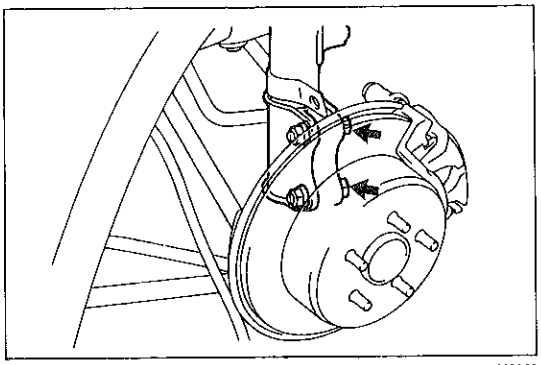
X0135

(4) カラーを取り付け，新品のナットを仮締めする。

ＳＳＴ　09268-64030（TEMS付き車）

(5) コイルスプリング圧縮用のSST（09727-30020）を取りはずす。

注意　インパクトレンチは使用しない。


X0129

4 リヤショックアブソーバーASSY　ウイズ　コイルスプリング取り付け

(1) ショックアブソーバーロワーブラケット部をリヤアクスルキャリヤに取り付ける。

(2) ボルト２本を車両後側から差し込み，ナットを仮付けする。

(3) サスペンションサポートとボデー側の穴を合わせて，リヤアクスルキャリヤに木片を介してジャッキアップする。

(4) ショックアブソーバーロワーブラケットを締め付ける。

T＝2600kg･cm

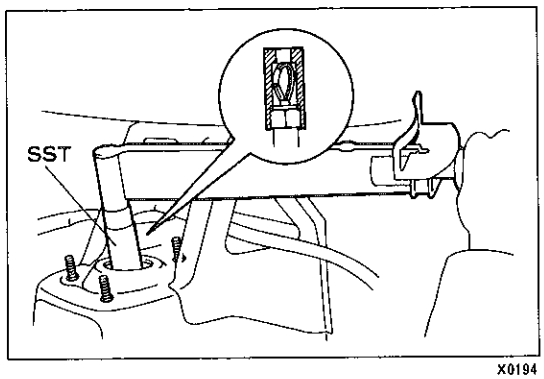
5 サスペンションサポート取り付け

(1) サスペンションサポートナットを締め付ける。

T＝500kg･cm

ＳＳＴ　09268-64030（TEMS付き車）

(2) サスペンションサポートカバーを取り付ける。



X0194

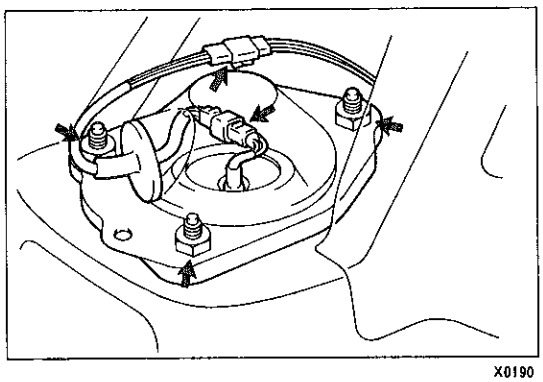
(3) コネクター２箇所を接続し，ナット３個でショックアブソーバーキャップを取り付ける。（TEMS付き車）

T＝400kg･cm

(4) ナット３個でサスペンションサポートを取り付ける。（TEMSなし車）

T＝400kg･cm

(5) ジャッキを取りはずす。


X0190

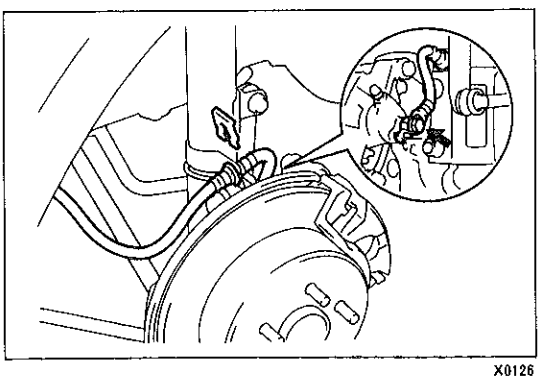
6 ブレーキチューブ取り付け

(1) クリップでフレキシブルホースをショックアブソーバーのブラケットに取り付ける。

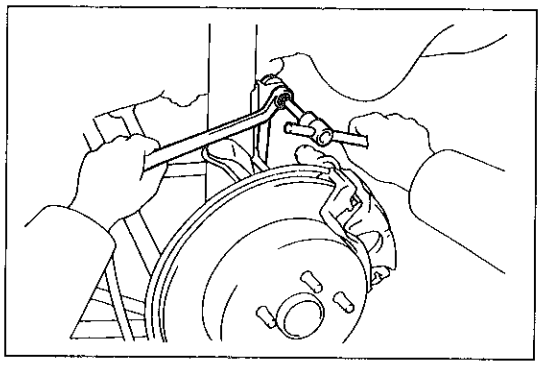
(2) ブレーキチューブを取り付ける。

T＝310kg･cm

7 スピードセンサー用ワイヤハーネス取り付け（ABS付き車）


X0126

無断複製禁止


X0128

8　スタビライザーリンク取り付け

(1)　ヘキサゴンレンチ（5 mm）でスタッドを固定して，ナットを締め付ける。

T＝650kg·cm

9　ブレーキエア抜きおよびフルード漏れ点検

10　リヤホイール取り付け

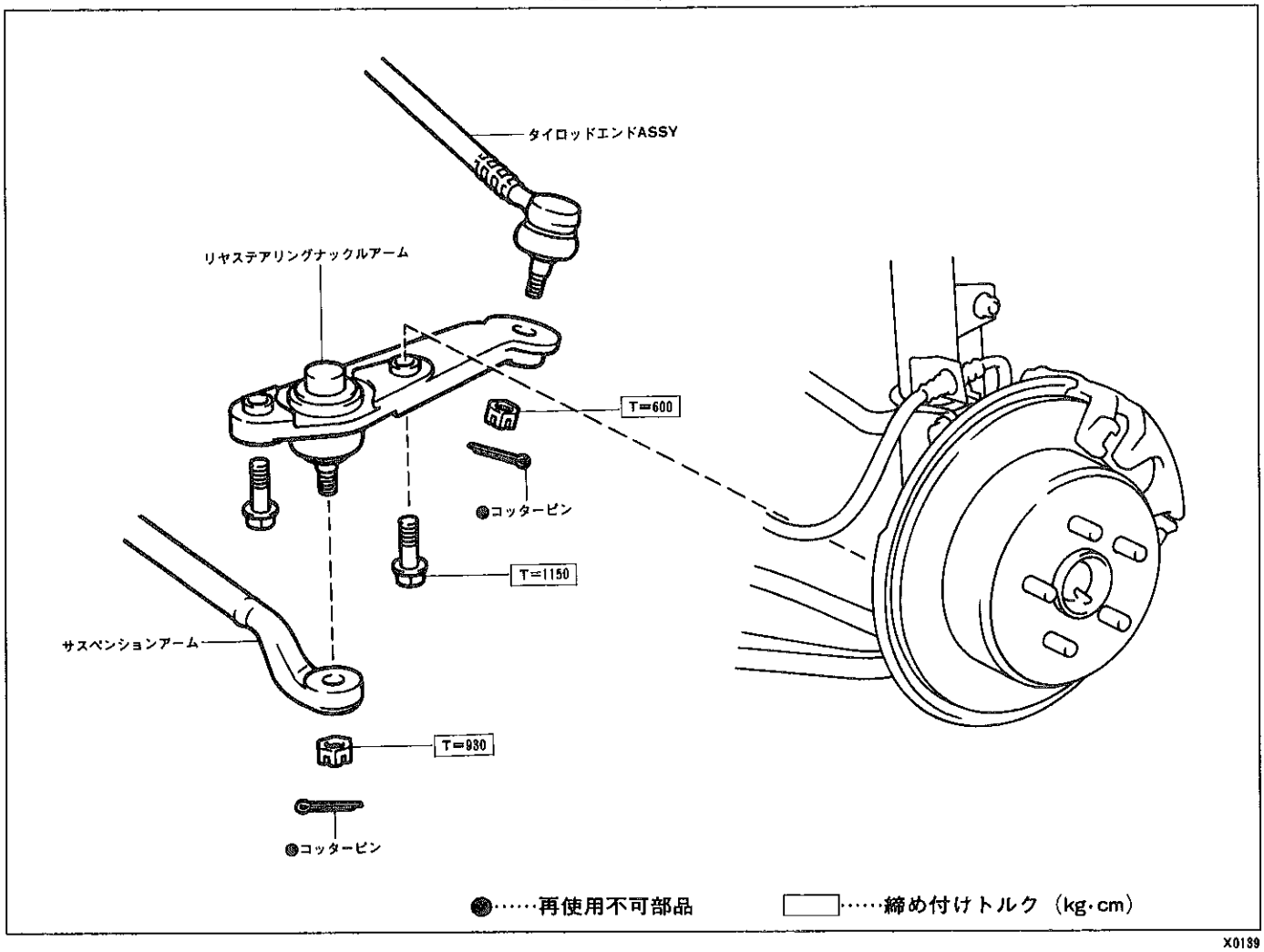
T＝1050kg·cm

11　デッキトリムリヤカバー，デッキトリムサイドボードおよびリヤスピーカーグリル取り付け

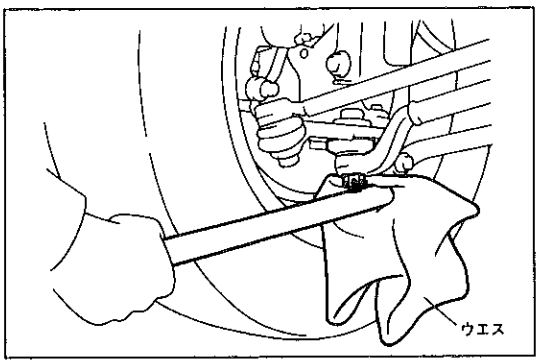
無断複製禁止

ボールジョイント（4WS車）

脱着構成図



X0139



X0140

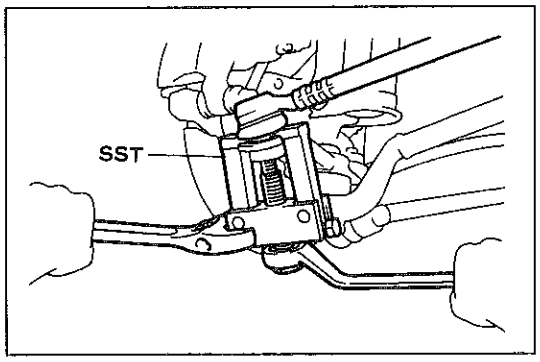
前点検

1　ボールジョイントのガタ点検

(1)　車両のリヤをジャッキアップする。

(2)　ホイールを支点にして，ボールジョイント下部を押し上げ，垂直方向のガタを点検する。

基準値　　0 mm



X0141

リヤステアリングナックルアーム（ボールジョイント）取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

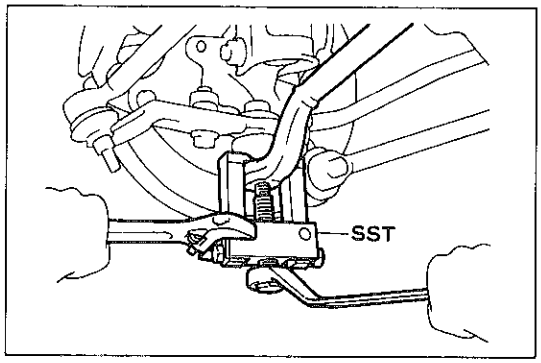
2　タイロッドエンド切り離し

(1)　コッターピンをはずして，キャッスルナットを取りはずす。

(2)　ナックルアームからタイロッドエンドを切り離す。

ＳＳＴ　　09628-62011

無断複製禁止



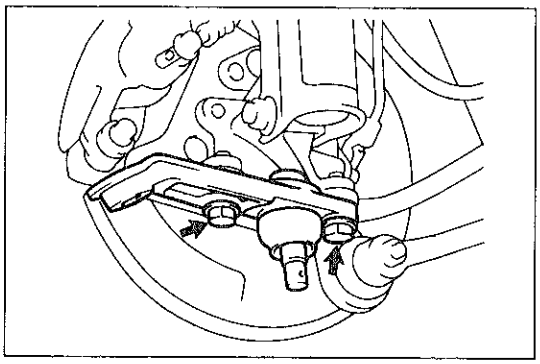
X0142

3　サスペンションアーム取りはずし

(1)　コッターピンをはずして，キャッスルナットを取りはずす。

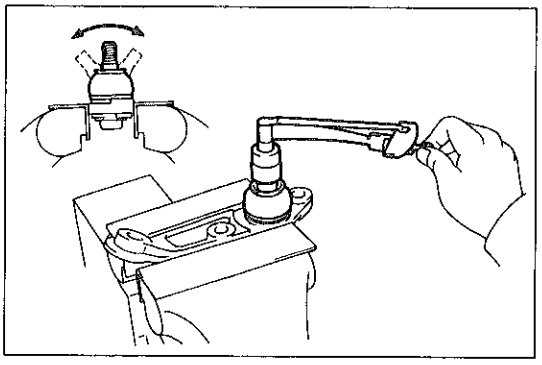
(2)　ボールジョイントからサスペンションアームを切り離す。

ＳＳＴ　　09628-62011


X0143

4　ナックルアーム取りはずし

(1)　ボルト２本をはずし，ナックルアームを取り付ける。


X0144

ボールジョイント点検

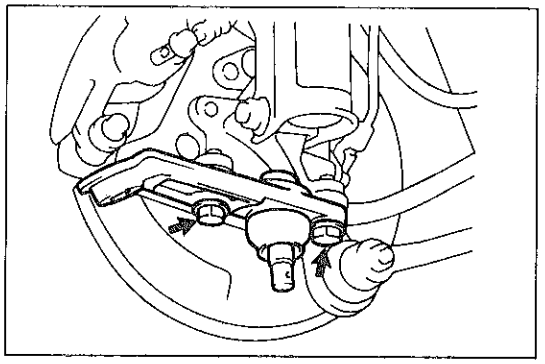
1　ボールジョイント回転具合点検

(1)　スタッドを摺動方向に５往復させた後，２～４秒/回転の速度で連続して回転させ，５回目に測定する。

基準値　　10～30kg･cm

2　ブーツ点検

(1)　ブーツに亀裂がないことを点検する。


X0143

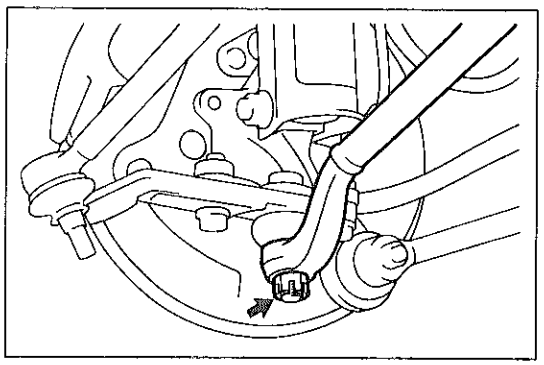
ボールジョイント取り付け

1　ボールジョイント取り付け

(1)　ボールジョイントをボルト２本で取り付ける。

T＝1150kg･cm

注意　ナックルアームに取り付けている位置決めピンを落とさない。


X0145

2　サスペンションアーム取り付け

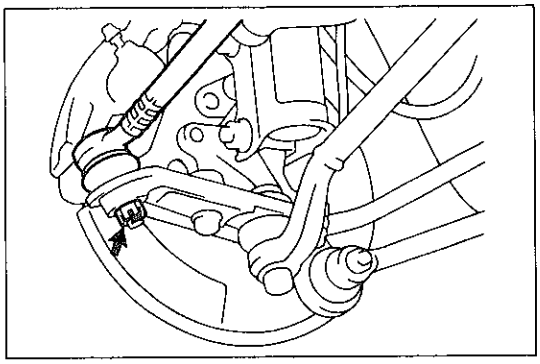
(1)　サスペンションアームをロワーボールジョイントに取り付け，キャッスルナットを規定トルクで締め付ける。

T＝930kg･cm

注意　キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは，ナット締め付けトルク1300kg･cm以下で行う。

(2)　新品のコッターピンを取り付ける。

無断複製禁止



X0146

3　タイロッドエンド取り付け

(1)　タイロッドエンドをナックルアームに取り付け，キャッスルナットを規定トルクで締め付ける。

T＝600kg·cm

注意　キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは，60°以内の増し締め方向に回す。

(2)　新品のコッターピンを取り付ける。

4　リヤホイール取り付け

T＝1050kg·cm

5　リヤホイールアライメント点検および調整

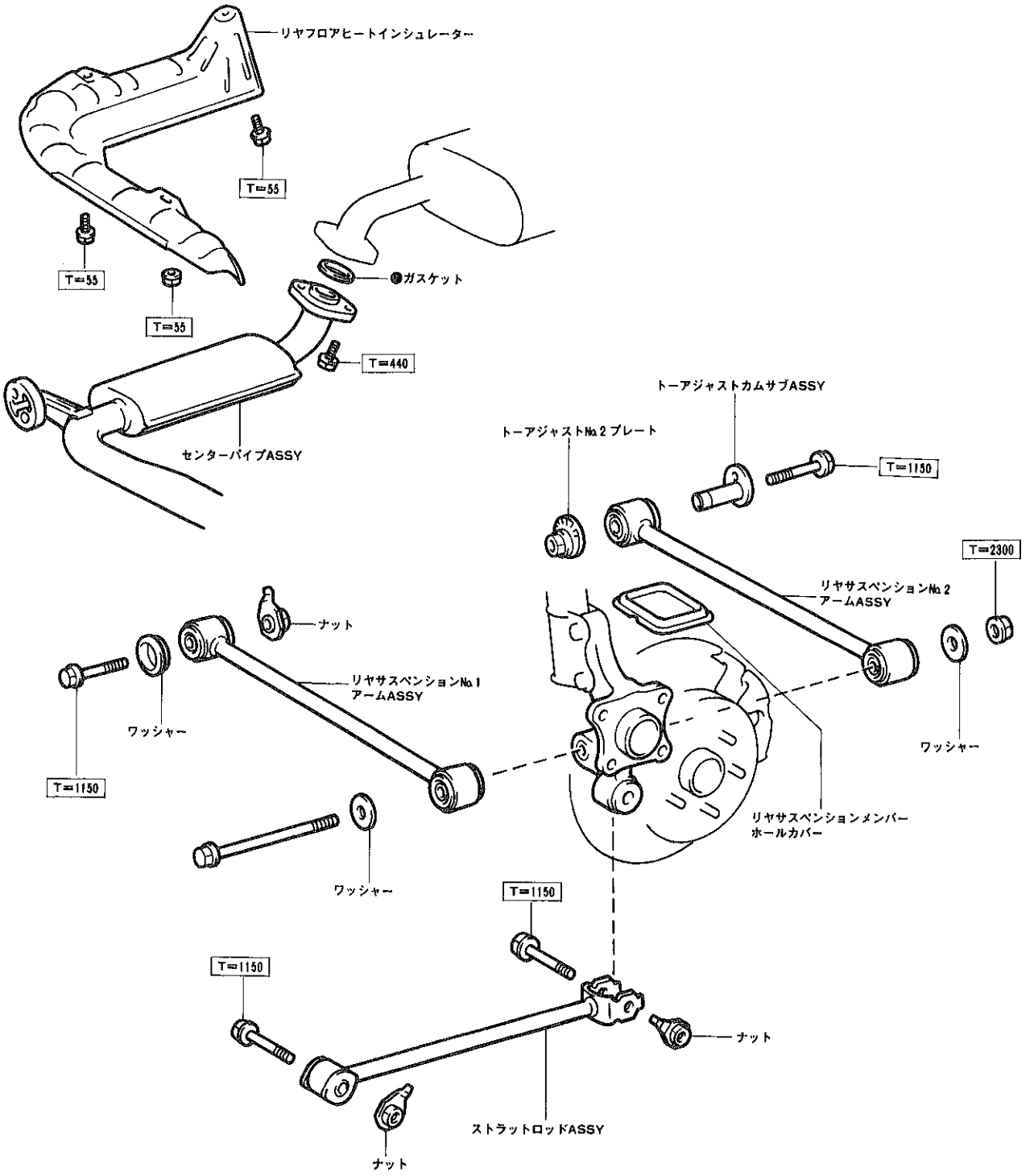
(P6-8参照)

無断複製禁止

ストラットロッド　&
サスペンションアーム

2WS車

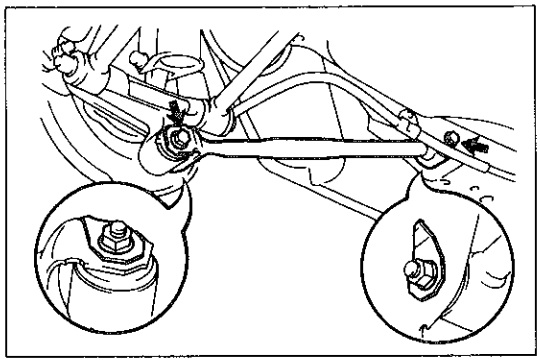
脱着構成図

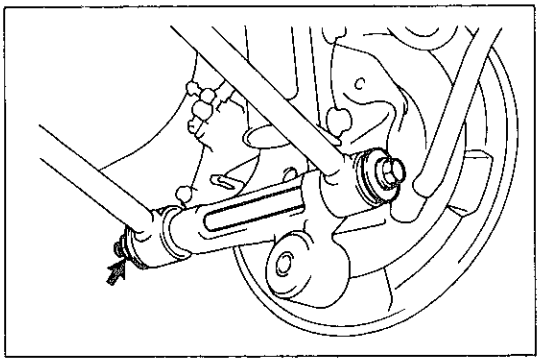


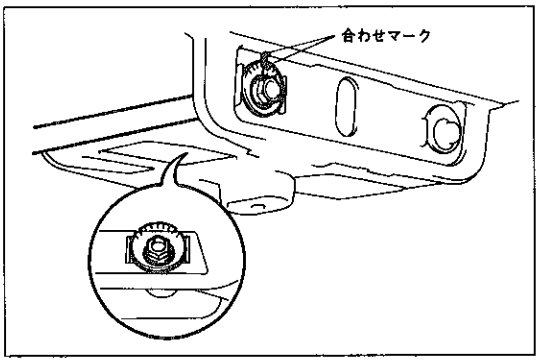
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg·cm）

X0147

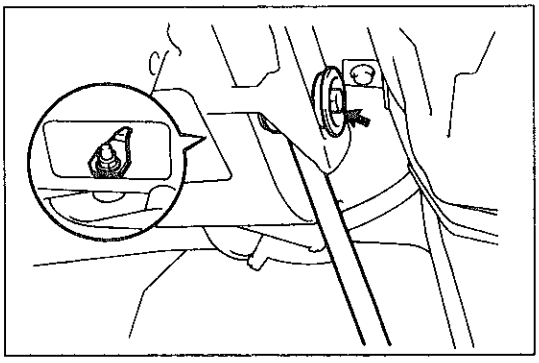
無断複製禁止

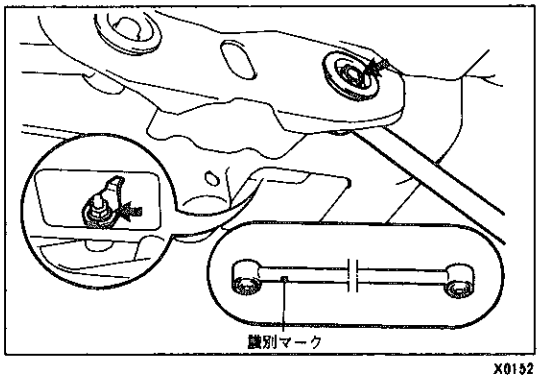

X0148


X0149



X0150


X0151



X0152

ストラットロッドおよびサスペンションアーム取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　エキゾーストセンターパイプおよびインシュレーター取りはずし（右側）

3　ストラットロッド取りはずし

(1)　リヤアクスルキャリヤ側のボルトおよびナットを取りはずす。

(2)　ボデー側のボルトおよびナットをはずし，ストラットロッドを取りはずす。

4　リヤサスペンションアームNo. 1 およびNo. 2 取りはずし

(1)　サスペンションアームのキャリヤ側のナットを取りはずす。

(2)　トーアジャストカムとサスペンションメンバーに合わせマークを付ける。

(3)　サービスカバーを取りはずす。

(4)　ボルトをゆるめ，トーアジャストプレートNo. 2 を取りはずす。

(5)　ボルトとトーアジャストカムを同時に抜き取り，サスペンションアームNo. 2 をサスペンションメンバーから切り離す。

(6)　サスペンションアームNo. 2 を取りはずす。

(7)　ボルト，ワッシャーおよびナットをはずし，サスペンションアームNo. 1 をクロスメンバーから切り離す。

(8)　リヤアクスルキャリヤからボルトをはずし，サスペンションアームNo. 1 を取りはずす。

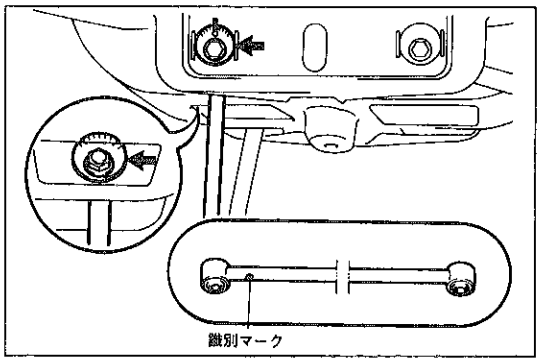
サスペンションアームおよびストラットロッド取り付け

1　リヤサスペンションアームNo. 1 およびNo. 2 仮付け

(1)　サスペンションアームNo. 1 をサスペンションメンバーに取り付け，ナットをサスペンションメンバーに当て，ボルトを車両前方から差し込み，仮付けする。

注意　識別マークを車両後方，リヤアクスルキャリヤ側に向ける。

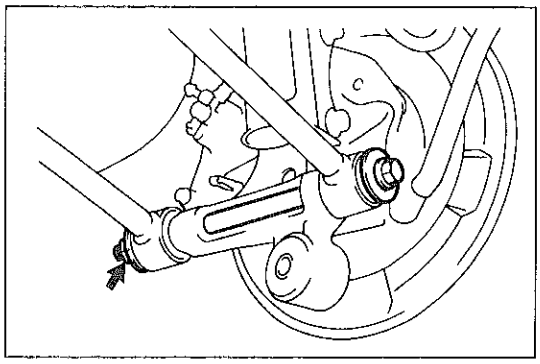
無断複製禁止



X0153

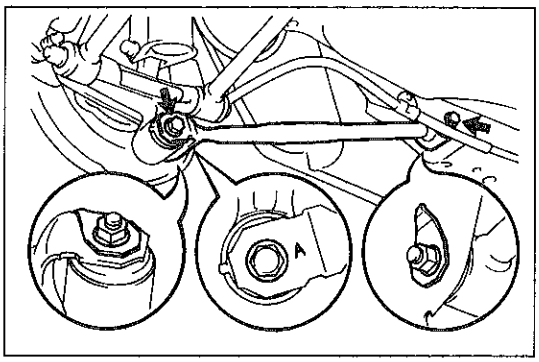
(2) サスペンションアームNo.2をサスペンションメンバーに取り付け，トーアジャストプレートNo.2をサスペンションメンバーに当て，ボルトおよびトーアジャストカムを車両後方から差し込み，仮付けする。

注意 識別マークを車両後方，リヤアクスルキャリヤ側に向ける。



X0149

(3) ボルトをサスペンションアームNo.1，リヤアクスルキャリヤ，サスペンションアームNo.2の順に差し込み，ナットを仮付けする。



X0154

2 ストラットロッド仮付け

(1) ストラットロッドをボデーに取り付け，ナットをボデーに当てボルトを車両内側から差し込み，仮締めする。

(2) ストラットロッドをリヤアクスルキャリヤに取り付け，ナットの回り止めプレートをストラットロッドの切り欠きに当て，ボルトを車両内側から差し込み，仮締めする。

3 リヤホイール取り付け

T＝1050kg·cm

4 車両落ち着かせ

(1) 車両をジャッキダウンして，数回上下にゆすり，リヤサスペンションを落ち着かせる。

5 リヤホイール取りはずし

6 リヤサスペンションアームおよびストラットロッド本締め

(1) 木片を介して，アクスルキャリヤをジャッキアップし，サスペンションに荷重をかける。

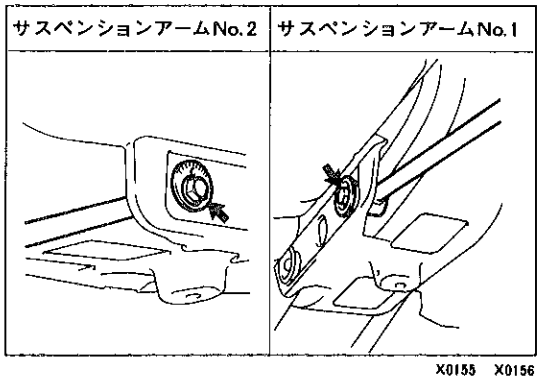
(2) サスペンションアームNo.1，No.2およびストラットロッドのボルトを本締めする。

T＝1150kg·cm（サスペンションアーム×メンバー）

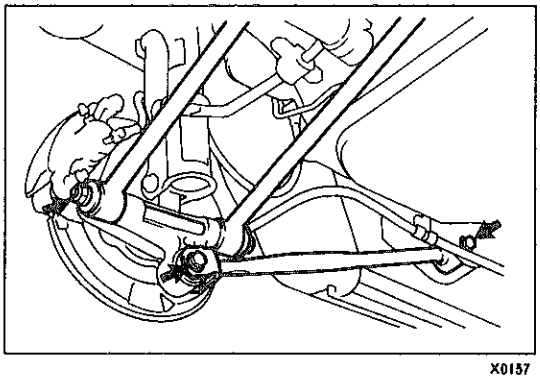
T＝2300kg·cm（サスペンションアーム×キャリヤ）

T＝1150kg·cm（ストラットロッド）

(3) ジャッキをはずす。



X0155 X0156



X0157

無断複製禁止

7　エキゾーストセンターパイプおよびインシュレーター取り付け
（右側）

8　リヤホイール取り付け

T＝1050kg·cm

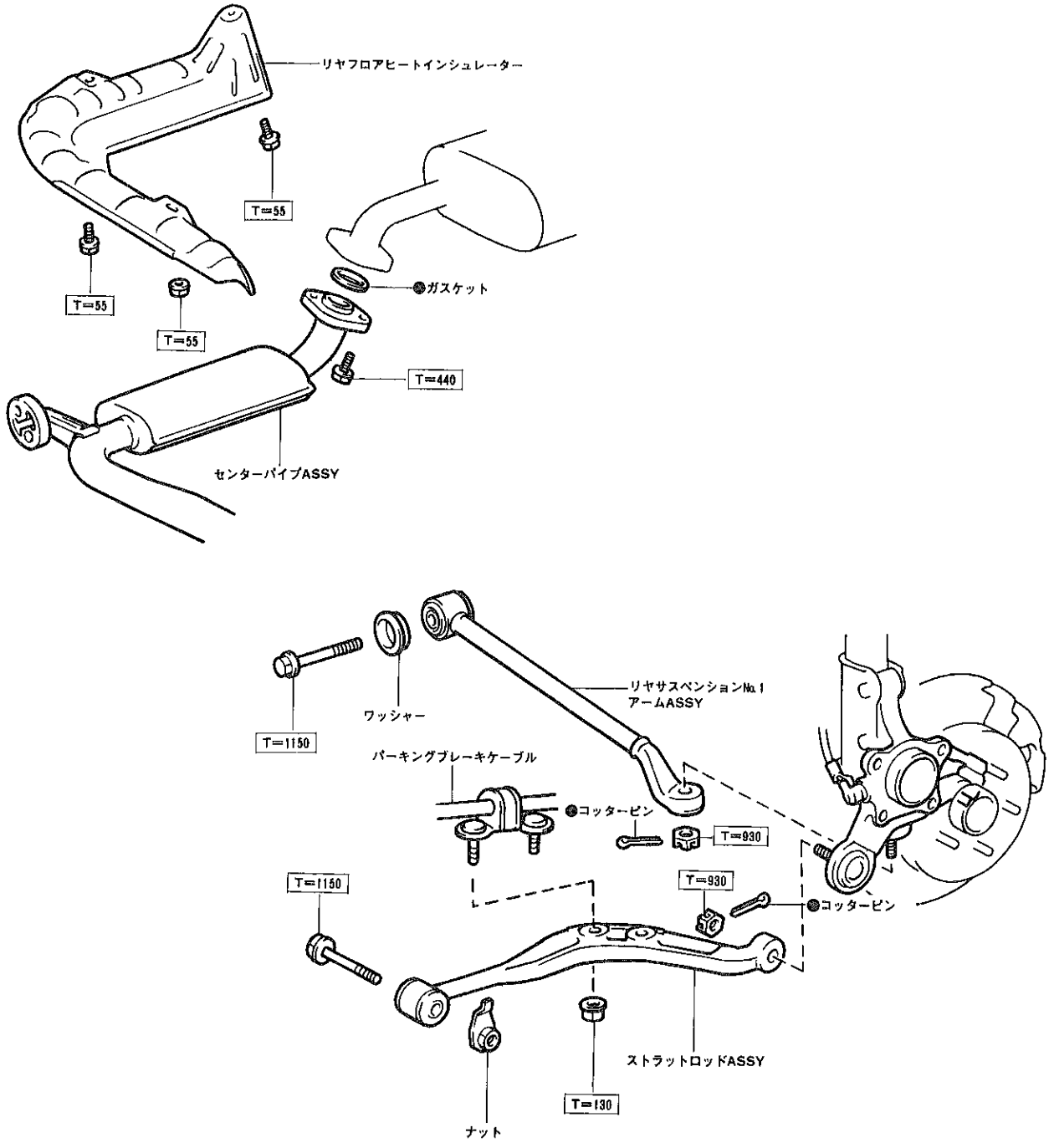
9　リヤホイールアライメント点検および調整

（P6-7参照）

無断複製禁止

4WS車

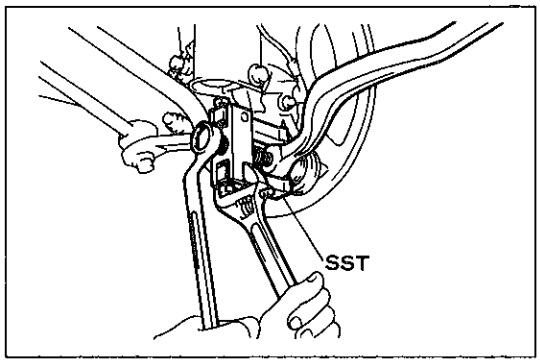
脱着構成図



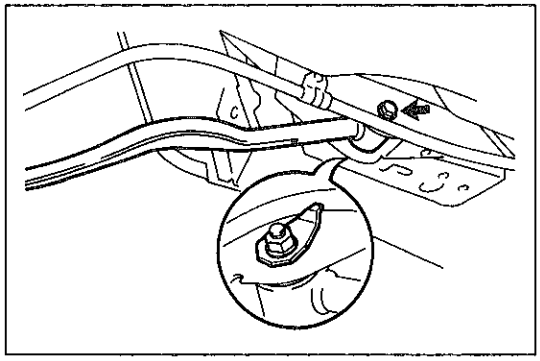
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg·cm）

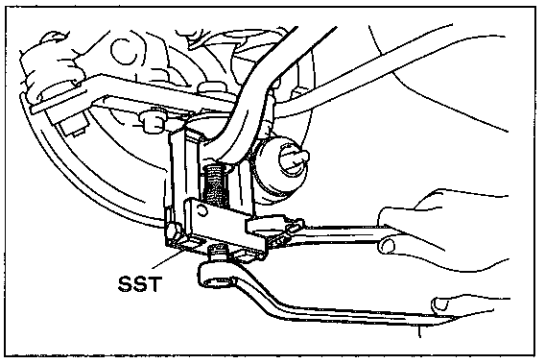
X0158

無断複製禁止

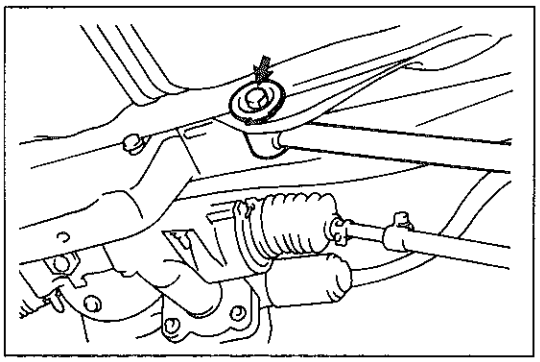


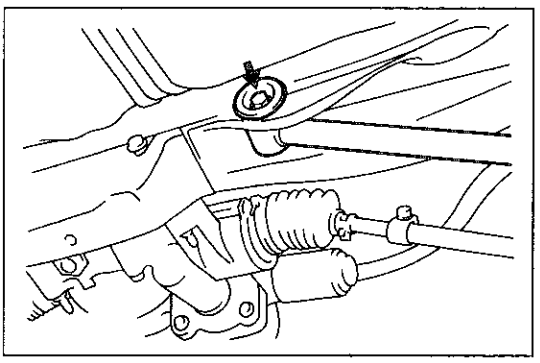
X0159


X0160



X0161


X0162


X0163

ストラットロッドおよびサスペンションアーム取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　エキゾーストセンターパイプおよびインシュレーター取りはずし（右側）

3　パーキングブレーキケーブル切り離し

(1)　ナット２個をはずし，パーキングブレーキケーブルを切り離す。

4　ストラットロッド取りはずし

(1)　コッターピンをはずし，キャッスルナットを取りはずす。

(2)　ナックルアームからストラットロッドを切り離す。

ＳＳＴ　09628-62011

(3)　ボデー側のボルトおよびナットをはずし，ストラットロッドを取りはずす。

5　リヤサスペンションアーム取りはずし

(1)　コッターピンをはずして，キャッスルナットを取りはずす。

(2)　ロワーボールジョイントからサスペンションアームを切り離す。

ＳＳＴ　09628-62011

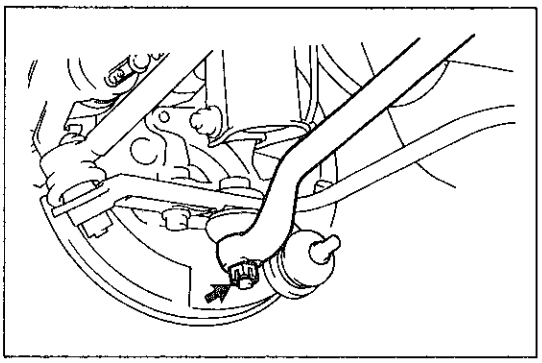
(3)　ボルトおよびワッシャーをはずし，サスペンションアームをサスペンションメンバーから取りはずす。

サスペンションアームおよびストラットロッド取り付け

1　リヤサスペンションアーム取り付け

(1)　サスペンションアームをサスペンションメンバーに取り付け，ワッシャーを介して，ボルトを仮付けする。

無断複製禁止

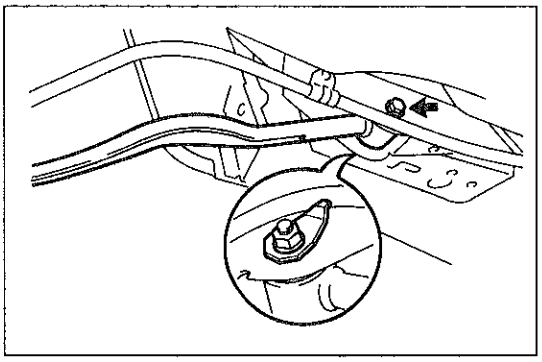

X0164

(2) サスペンションアームをロワーボールジョイントに取り付け，キャッスルナットを規定トルクで締め付ける。

T＝930kg·cm

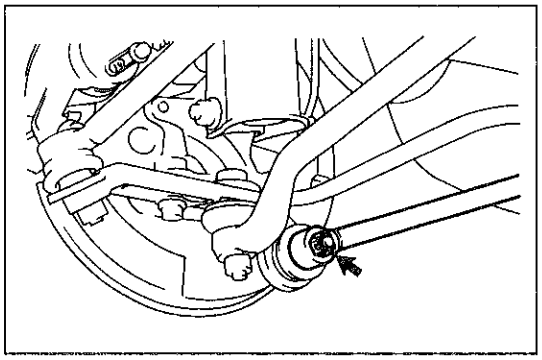
注意　キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは，ナット締め付けトルク1300kg·cm以下で行う。

(3) 新品のコッターピンを取り付ける。


X0160

2　ストラットロッド取り付け

(1) ストラットロッドをボデーに取り付け，ナットをボデーに当てボルトを車両内側から差し込み，仮付けする。


X0165

(2) ストラットロッドをナックルアームに取り付け，キャッスルナットを規定トルクで締め付ける。

T＝930kg·cm

注意　キャッスルナット締め付け後のコッターピン穴合わせは，ナット締め付けトルク1300kg·cm以下で行う。

(3) 新品のコッターピンを取り付ける。

3　リヤホイール取り付け

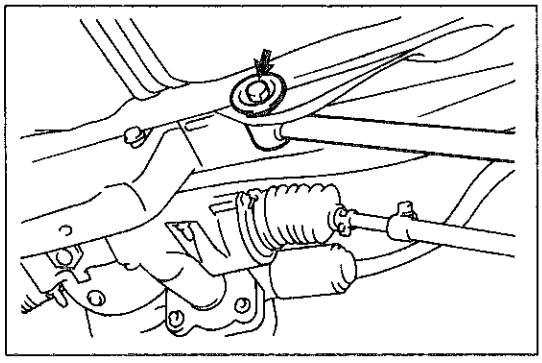
T＝1050kg·cm

4　車両落ち着かせ

(1) 車両をジャッキダウンして，数回上下にゆすり，リヤサスペンションを落ち着かせる。

5　リヤホイール取りはずし

6　リヤサスペンションアームおよびストラットロッド本締め


X0162

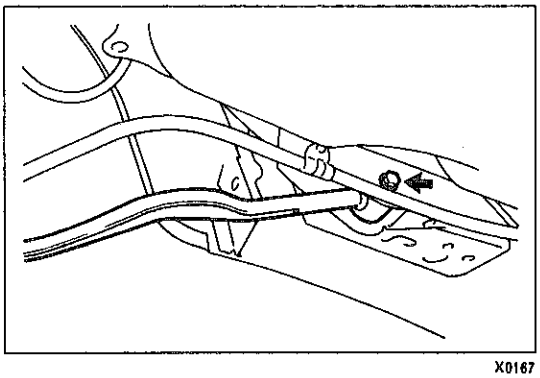
(1) 木片を介して，アクスルキャリヤをジャッキアップし，サスペンションに荷重をかける。

(2) サスペンションアームのボルトを本締めする。

T＝1150kg·cm

(3) ストラットロッドのボルトを本締めする。

T＝1150kg·cm


X0167

(4) ジャッキをはずす。

(5) ナット2個で，パーキングブレーキケーブルをストラットロッドに取り付ける。

T＝130kg·cm

無断複製禁止

7　エキゾーストセンターパイプおよびインシュレーター取り付け
（右側）

8　リヤホイール取り付け

T＝1050kg·cm

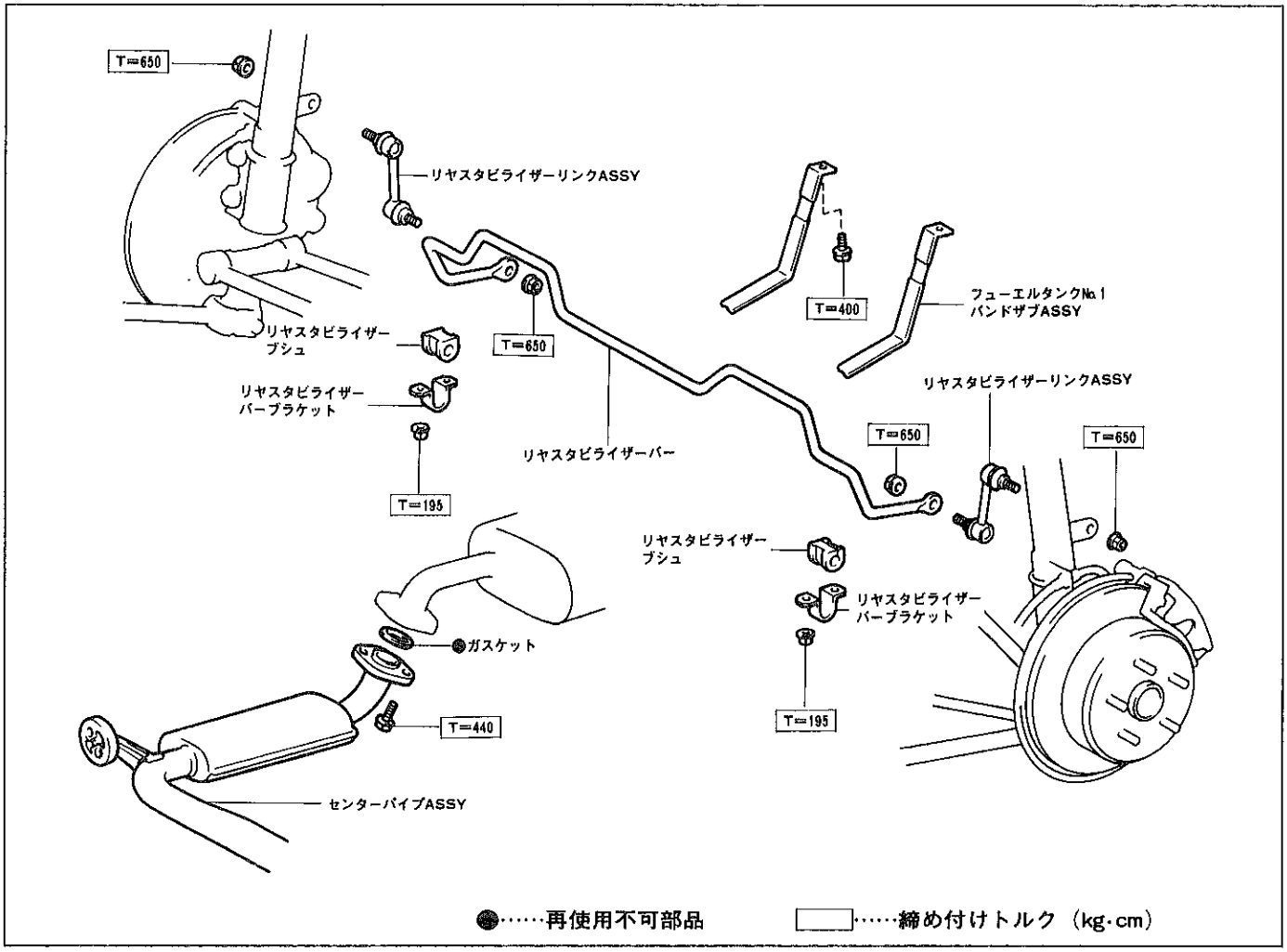
9　リヤホイールアライメント点検および調整

（P6-8参照）

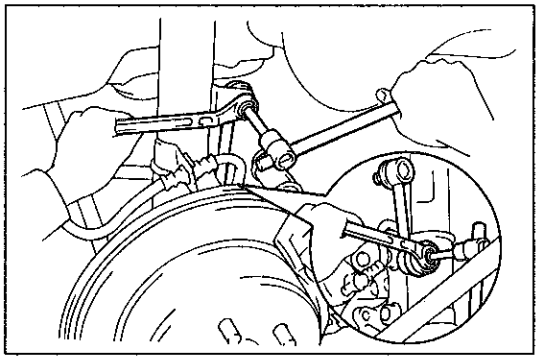
無断複製禁止

スタビライザー

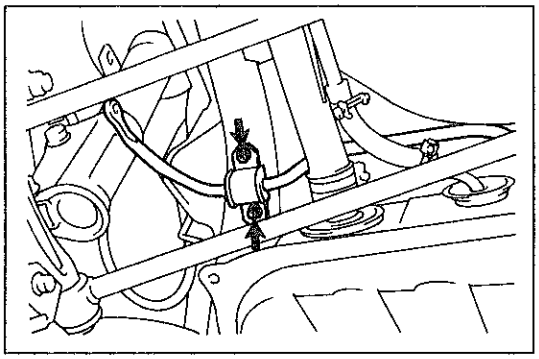
脱着構成図



X0168



X0169



X0170

スタビライザー取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　エキゾーストパイプ切り離し

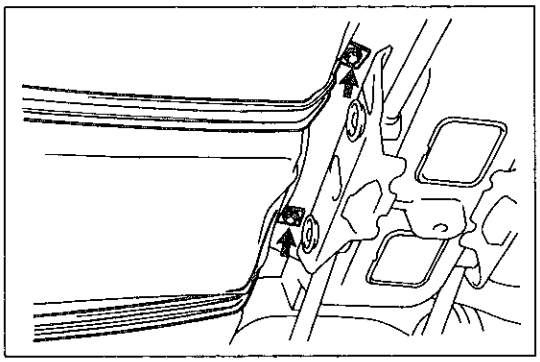
3　スタビライザーリンク取りはずし

(1)　ヘキサゴンレンチ（5 mm）を使用して，ナット 4 個をはずし，左右のスタビライザーリンクを取りはずす。

4　スタビライザーブラケットおよびブシュ取りはずし

(1)　ナット 4 個をはずし，スタビライザーブラケット 2 個およびブシュ 2 個を取りはずす。

無断複製禁止


X0171

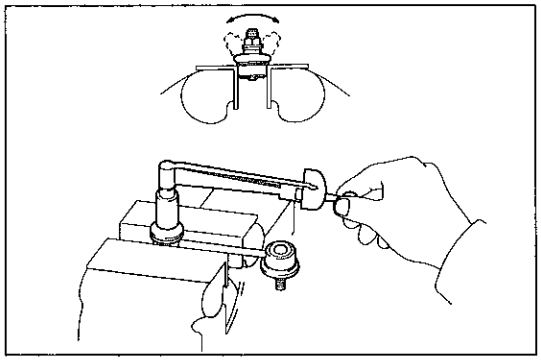
5 フューエルタンクバンド切り離し

(1) 木片を介して，フューエルタンク中央付近をジャッキなどで支える。

(2) ボルト2本をはずし，フューエルタンクバンドを切り離す。

(3) フューエルインレットホースに無理な力が加わらない程度までフューエルタンクを下げる。

6 スタビライザーバー取りはずし


D6516

スタビライザーリンク点検

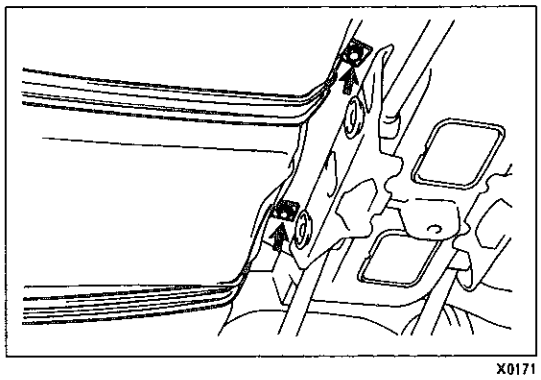
1 ボールジョイント回転具合点検

(1) スタッドを摺動方向に5往復させた後，2～4秒/回転の速度で連続して回転させ，5回目に測定する。

基準値 0.5～10kg·cm

2 ブーツ点検

(1) ブーツに亀裂がないことを点検する。

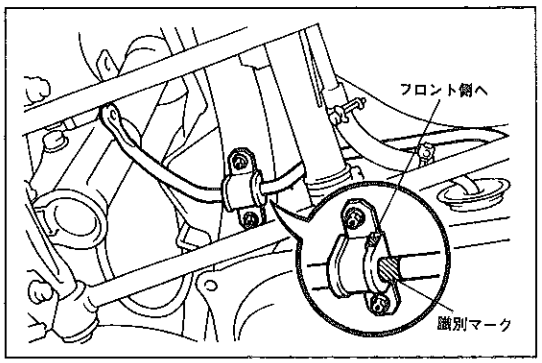

X0171

スタビライザー取り付け

1 スタビライザーバー取り付け

2 フューエルタンクバンド取り付け

T＝400kg·cm



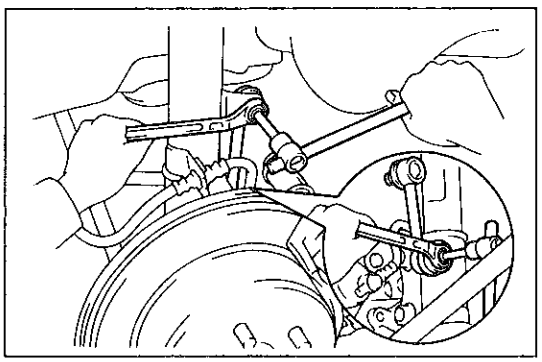
X0172

3 スタビライザーブシュおよびブラケット取り付け

(1) ブシュを識別マークに合わせて取り付ける。

(2) ナット4個でスタビライザーブラケット2個を取り付ける。

T＝195kg·cm


X0169

4 スタビライザーリンク取り付け

(1) ヘキサゴンレンチ（5mm）でスタッドを固定して，ナット4個で左右のスタビライザーリンクを取り付ける。

T＝650kg·cm

5 エキゾーストパイプ取り付け

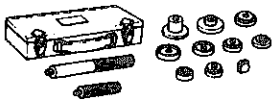
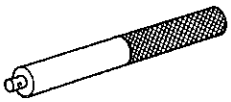
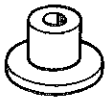
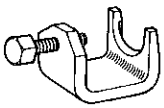
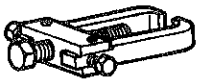
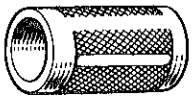
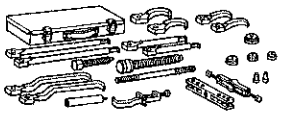
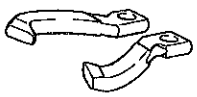
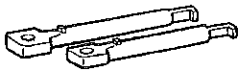
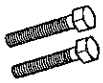
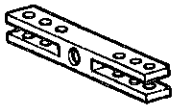
6 リヤホイール取り付け

T＝1050kg·cm

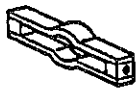
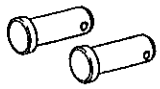
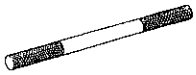
無断複製禁止

リヤアクスルハブ

準 備 品

SST		09550-10012 "B"リプレーサーセット	
		09552-10010 リプレーサーハンドルNo.2	ベアリングアウターレース脱着用
		09554-10010 ディファレンシャルドライブ ピニオンオイルシール リプレーサー	オイルシール取り付け用
		09555-10010 ディファレンシャルドライブ ピニオンリヤベアリング リプレーサー	ベアリングアウターレース取り付け用
		09558-10010 リヤアクスルシャフト オイルシール リプレーサー	ベアリングアウターレース取りはずし用
		09628-10011 ボールジョイント プラー	ハブボルト取りはずし用
		09628-62011 ボールジョイント プラー	ボールジョイント部切り離し用 (4WS車)
		09636-20010 アッパーボールジョイント ダストカバーリプレーサー	リヤアクスルシャフト取り付け用
		09950-20017 ユニバーサルプラー	
		09952-20010 スクリュー	アクスルシャフト取りはずし用 インナーレース（アウター側）取りはずし用
		09953-55010 クロウA	アクスルシャフト取りはずし用
		09953-35011 クロウD	インナーレース（アウター側）取りはずし用
		09954-20011 アジャストスクリュー	リヤアクスルシャフト脱着用
		09955-20012 プロパ	

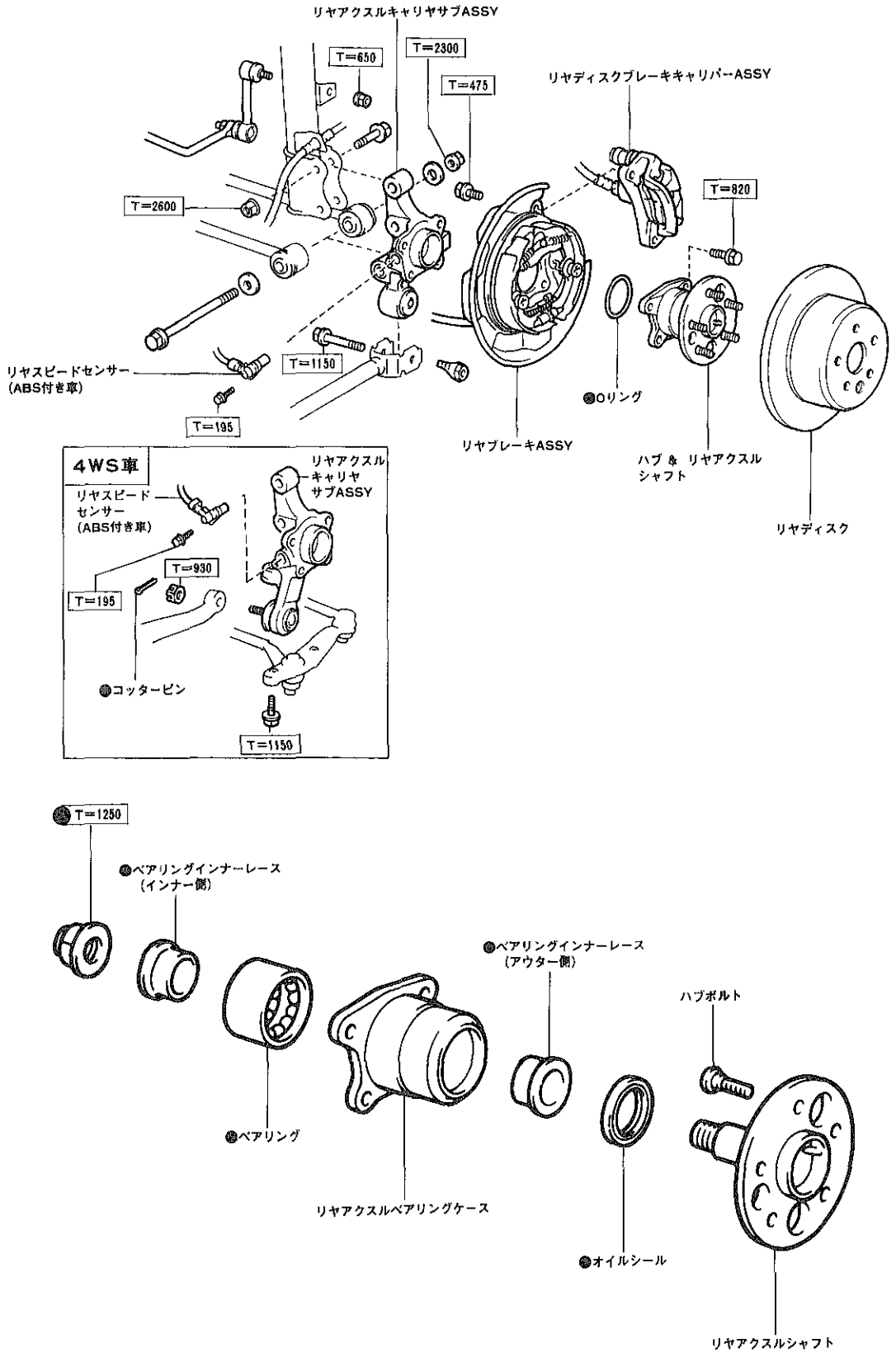
無断複製禁止

SST		09956-20011　タイティングピース	リヤアクスルシャフト脱着用
		09957-20010　ピン	
		09959-20010　ハンドル	
工　具		㈱バンザイ 扱い　　ヘキサゴンレンチ 5 3 X-75-5	スタビライザーリンク脱着用
	ソケットレンチ（27mm）		リヤアクスルシャフト脱着用
計　器	ダイヤルゲージ		リヤアクスルシャフト振れ点検用
	トルクレンチ（500～2800kg･cm）		各部締め付け用
油　脂 その他	キヤッスル・MPグリースNo. 2		各部塗布用
	トヨタブレーキフルード2500H		エア抜き用

無断複製禁止

リヤアクスルハブ

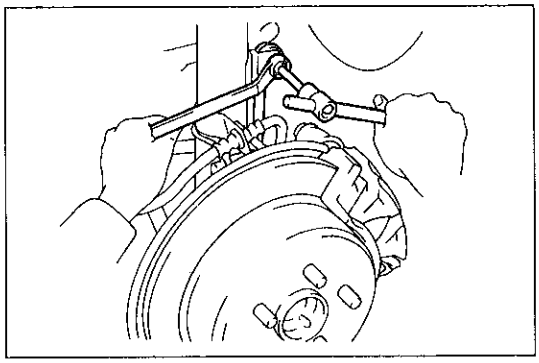
脱着分解構成図

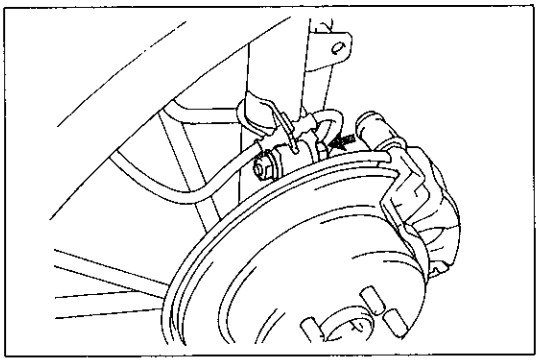


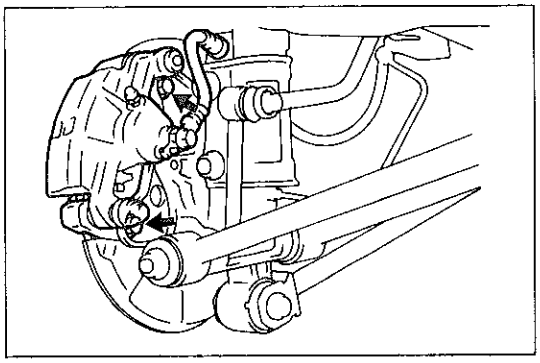
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg·cm）

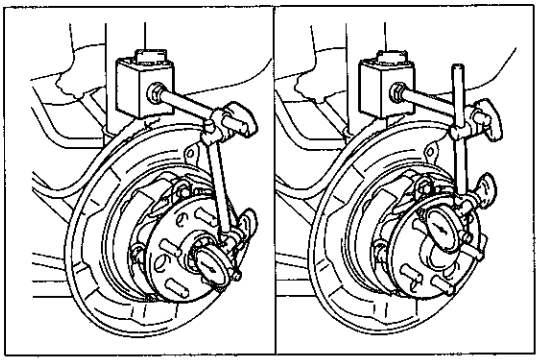
X0193　X0174

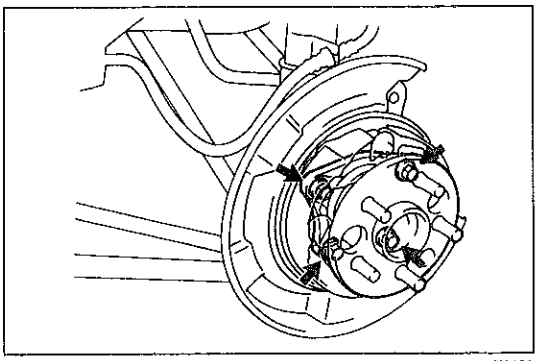
無断複製禁止


X0175


X0176


X0177


X0178


X0179

リヤアクスルハブ取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　リヤブレーキキャリパーおよびディスク取りはずし

(1)　ヘキサゴンレンチ（5 mm）でスタッドを固定し，ナットをはずして，リヤスタビライザーリンクをショックアブソーバーから切り離す。

(2)　ショックアブソーバーロワーブラケットの上側のボルトおよびナットを取りはずす。

(3)　ボルト 2 本をはずし，ブレーキキャリパーをアクスルキャリヤから取りはずす。

(4)　キャリパーを針金などで吊しておく。

注意　ブレーキパッド間に厚さ10mm程度の木片などを入れる。

(5)　リヤディスクを取りはずす。

注意　ディスク面に油脂を付着させない。

(6)　ショックアブソーバーロワーブラケットの上側に，車両後方からボルトを差し込み，ナットで仮締めする。

3　ベアリング軸方向のガタおよびアクスルハブ振れ点検

(1)　ダイヤルゲージをアクスルハブ先端にセットし，ベアリング軸方向のガタを点検する。

限　度　0.05mm

(2)　ダイヤルゲージをアクスルハブの外周にセットし，アクスルハブの振れを点検する。

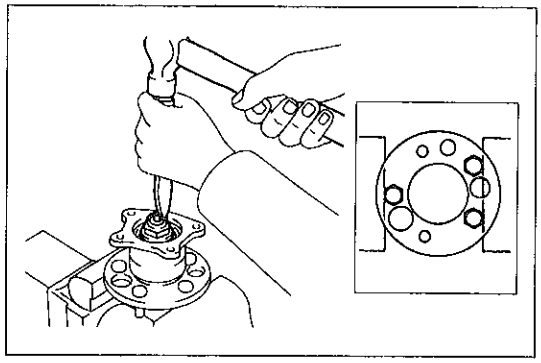
限　度　0.07mm

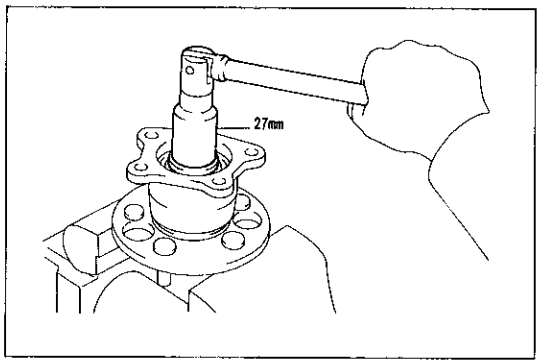
4　リヤアクスルハブ取りはずし

(1)　アクスルシャフトのサービスホールからボルト 4 本をはずし，リヤアクスルハブを取りはずす。

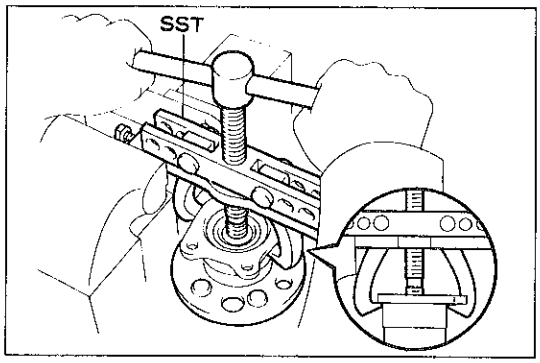
(2)　Oリングを取りはずす。

無断複製禁止

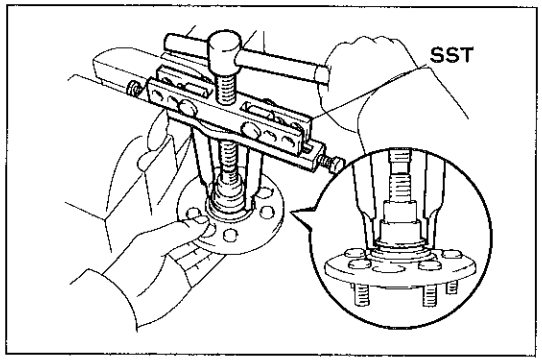

X0195



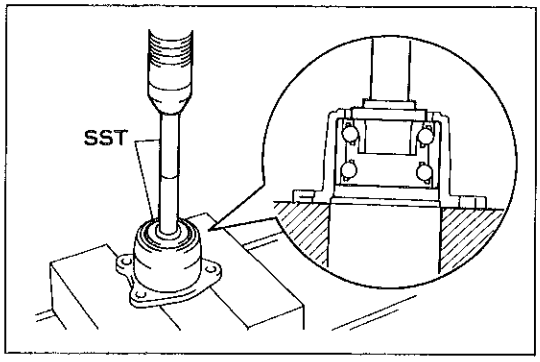
K4746



E5582



E5583



K4747

リヤアクスルハブ分解

注意　ABS付き車（センサーローター）は分解しない。

1　ナット取りはずし

(1)　ナット３個を図の位置のフランジ付近まで取り付け，バイスに固定する。

注意　バイスは強く締め付けない。

〈参考〉　ナットは呼び径12mm，ピッチ1.5を使用する。

(2)　ナットのかしめを解く。

(3)　ナットを取りはずす。

2　リヤアクスルシャフト取りはずし

(1)　リヤアクスルシャフトを取りはずす。

ＳＳＴ	09952-20010	09953-55011	09954-20011	
	09955-20012	09956-20011	09957-20010	
	09959-20010			

(2)　オイルシールをフランジ側へ押し下げる。

(3)　インナーレース（アウター側）をアクスルシャフトから取りはずす。

ＳＳＴ	09952-20010	09953-35011	09954-20011
	09955-20012	09956-20011	09957-20010
	09959-20010		

(4)　オイルシールを取りはずす。

3　ベアリング取りはずし

(1)　インナレース（インナー側）を取りはずす。

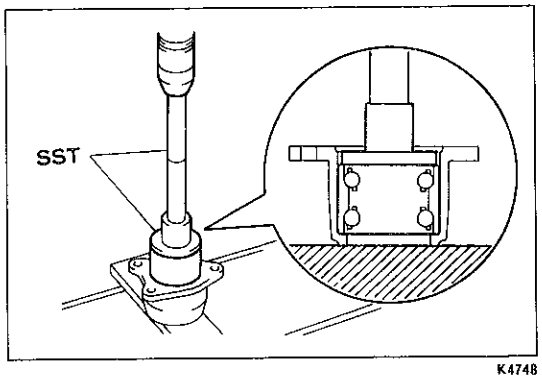
(2)　インナーレースをベアリングのアウター側に取り付ける。

(3)　ベアリングを抜き取る。

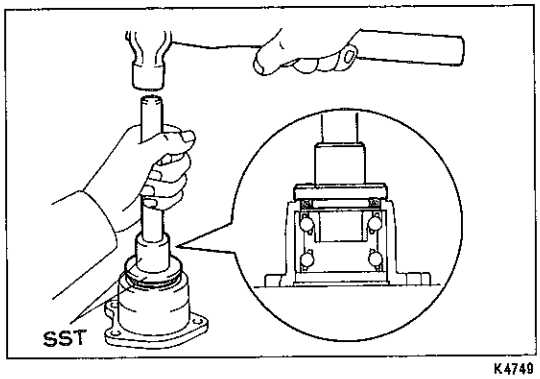
ＳＳＴ　09552-10010　09558-10010

注意　ベアリングは交換時以外取りはずさない。

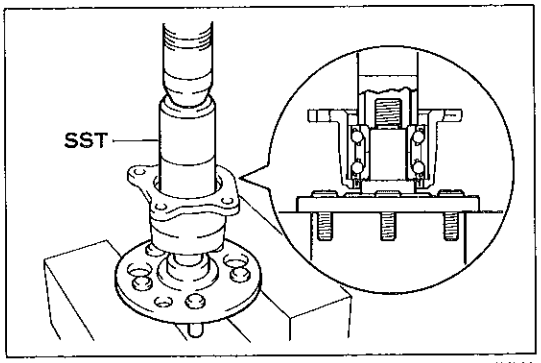
無断複製禁止



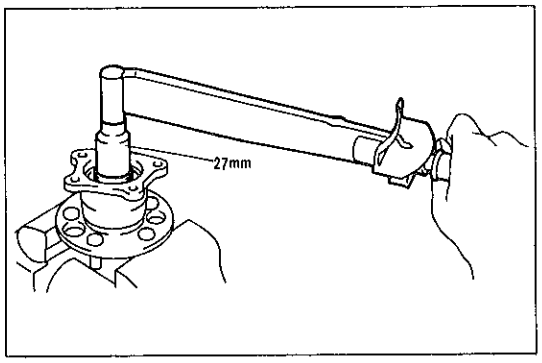
K4748



K4749



K4750



K4751

リヤアクスルハブ組み付け

1　ベアリング取り付け

(1)　新品のベアリングからインナーレースを取りはずす。

注意　インナーレースの組み付け方向を覚えておく。

(2)　ベアリングをアクスルベアリングケース端面まで圧入する。

ＳＳＴ　09552-10010　09555-10010

(3)　インナーレースを取り付ける。

注意
- ボールおよびインナーレースを分解した場合は，必ず組み付いていた側に組み付ける。
- 新品のベアリングに付いているグリースは拭き取らない。
- ボールおよびインナーレースに異物を付着させない。

2　オイルシール取り付け

(1)　新品のオイルシールをアクスルベアリングケース端面まで打ち込む。

ＳＳＴ　09552-10010　09554-10010

(2)　オイルシールのリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

3　リヤアクスルシャフト取り付け

(1)　アクスルベアリングケースにアクスルシャフトを圧入する。

ＳＳＴ　09636-20010

4　ナット取り付け

(1)　ナット3個をフランジ付近まで取り付け，バイスに固定する。

注意　バイスは強く締め付けない。

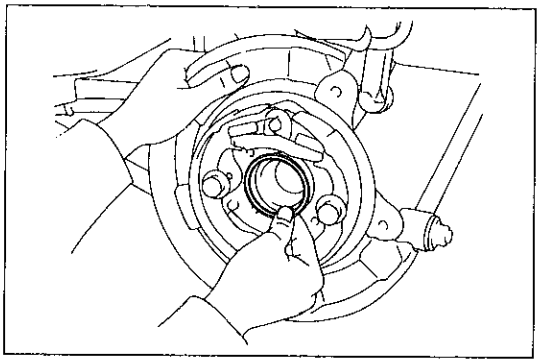
〈参考〉　ナットは呼び径12mm，ピッチ1.5を使用する。

(2)　ナットを取り付ける。

T＝1250kg·cm

(3)　ナットをかしめる。

無断複製禁止

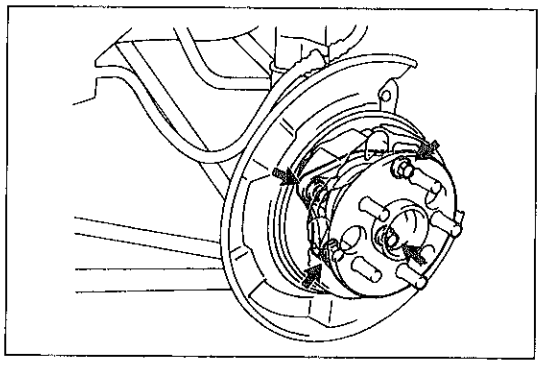

E5592

リヤアクスルハブ取り付け

1　リヤアクスルハブ取り付け

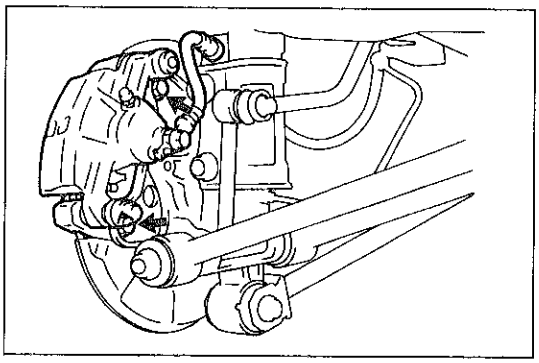
(1)　リヤブレーキASSYをアクスルキャリヤに取り付け，保持する。

(2)　新品のOリングにキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布し，リヤアクスルキャリヤに取り付ける。


X0179

(3)　リヤアクスルシャフトのサービスホールからリヤアクスルハブをボルト4本で取り付ける。

T＝820kg·cm


X0177

2　リヤディスクおよびブレーキキャリパー取り付け

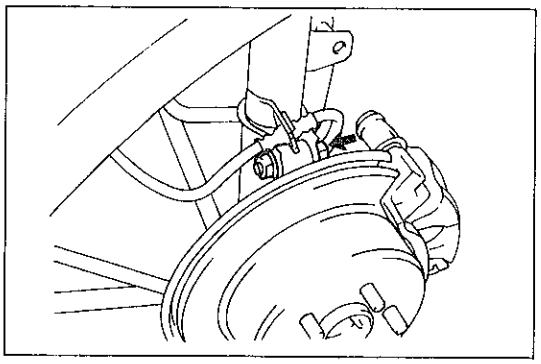
(1)　リヤアクスルシャフトの一番大きい穴に，ディスクのシューアジャスティングプラグを合わせて取り付ける。

〈参考〉　リヤディスクは，ハブナットを使用して仮付けする。

(2)　仮締めしてあったショックアブソーバーロワーブラケットの上側のボルトおよびナットを取りはずす。

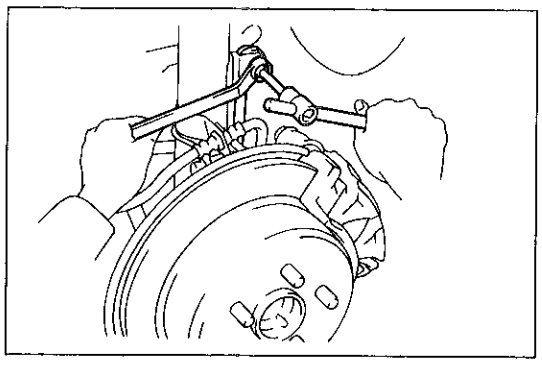
(3)　ボルト2本でキャリパーを締め付ける。

T＝475kg·cm


X0176

(4)　ショックアブソーバーロワーブラケットの上側に，車両後方からボルトを差し込み，ナットを締め付ける。

T＝2600kg·cm


X0175

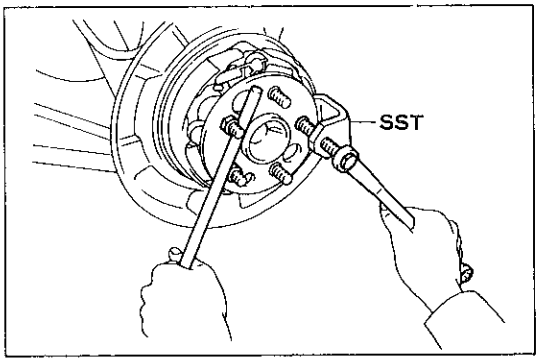
(5)　ヘキサゴンレンチ（5mm）でスタッドを固定して，ナットでスタビライザーリンクを取り付ける。

T＝650kg·cm

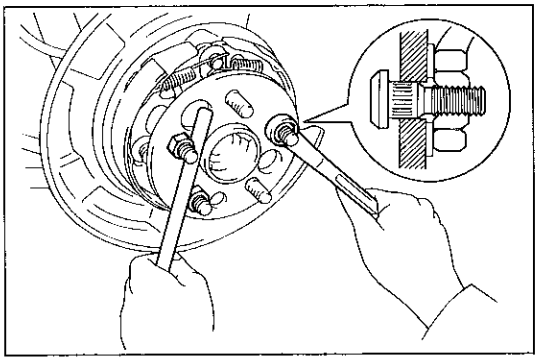
3　リヤホイール取り付け

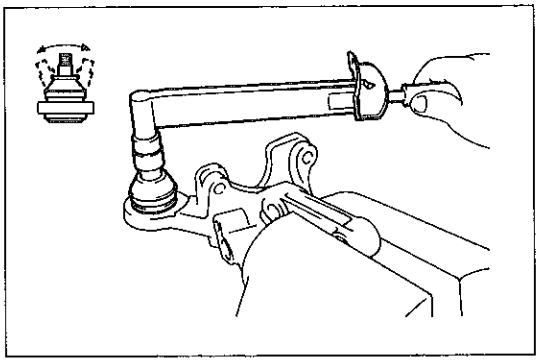
T＝1050kg·cm

無断複製禁止



K4753


K4754


X0182

ハブボルト交換

1　リヤホイール取りはずし
2　リヤブレーキキャリパーおよびディスク取りはずし
3　ハブボルト取りはずし
　(1)　ハブボルトを取りはずす。
　　ＳＳＴ　　09628-10010

4　ハブボルト取り付け
　(1)　新品のハブボルトに図のようなプレートワッシャーを通し，ナット（呼び径12mm，ピッチ1.5）を締め付けながらハブボルトを取り付ける。
5　リヤブレーキディスクおよびブレーキキャリパー取り付け
6　リヤホイール取り付け
　　T＝1050kg･cm

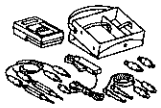
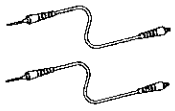
リヤアクスルキャリヤリヤボールジョイント交換（４WS車）

1　リヤアクスルハブ取りはずし
(P6-77参照)
2　ストラットロッド切り離し
　　ＳＳＴ　　09628-62011
3　ショックアブソーバーロワーブラケットボルト取りはずし
4　リヤアクスルキャリヤ取りはずし
5　ボールジョイント点検
　(1)　スタッドを摺動方向に５往復させた後，２～４秒/回転の速度で連続して回転させ，５回目に測定する。
　　基準値　　８～25kg･cm
　(2)　ブーツに亀裂がないことを点検する。
6　リヤアクスルキャリヤ取り付け
　　T＝1150kg･cm
7　ショックアブソーバーロワーブラケットボルト取り付け
　　T＝2600kg･cm
8　ストラットロッド取り付け
　　T＝930kg･cm
9　リヤアクスルハブ取り付け
(P6-80参照)
10　リヤホイールアライメント点検および調整
(P6-8参照)

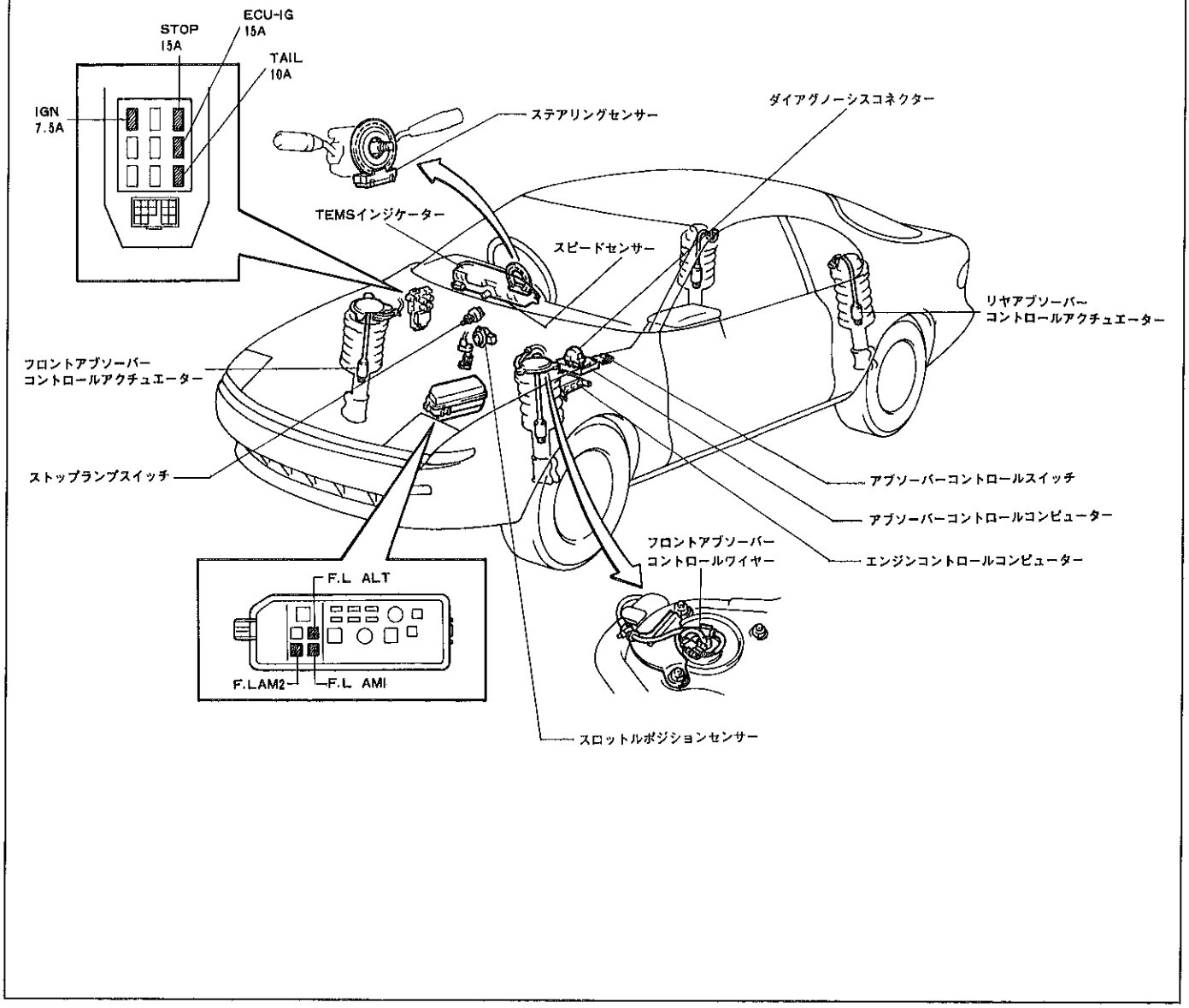
無断複製禁止

TEMS

準 備 品

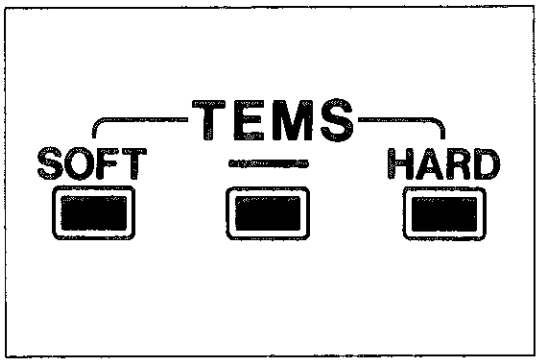
計 器		09082-00012	トヨタエレクトリカルテスター	各部点検用
		09083-00060	ミニテストリード	コンピューター点検用
		09843-18020	ダイアグノーシスチェックワイヤー	機能点検用

部品配置図



X0196

無断複製禁止



X0184

機能点検

減衰力制御状態表示点検

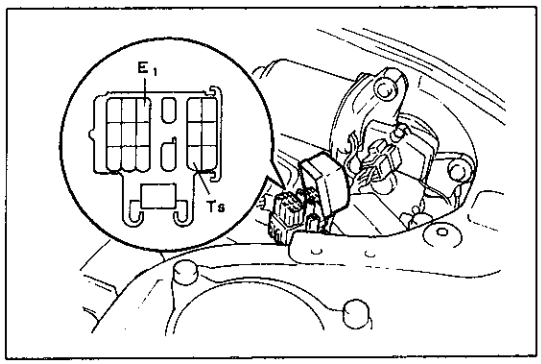
1　TEMSインジケーター点検

(1) イグニッションスイッチON後，約2秒間TEMSインジケーターがすべて点灯することを確認する。

(2) アブソーバーコントロールスイッチを各モードに切り替えたとき下表のようにTEMSインジケーターが点灯することを点検する。

基　準

アブソーバーコントロールスイッチ	TEMSインジケーター		
	SOFT	中　間	HARD
NORM	点　灯	消　灯	消　灯
SPORT	点　灯	点　灯	消　灯



K4760

2　減衰力点検

(1) イグニッションスイッチをONする。

(2) 車両の各コーナーを上下に大きくゆすりながら，アブソーバーコントロールスイッチを切り替え，減衰力に変化のあることを点検する。

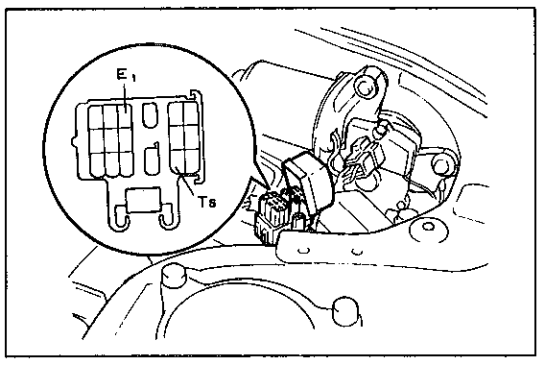
(3) アブソーバーコントロールスイッチをSPORTにする。

(4) ダイアグノーシスコネクターTs—E_1端子を短絡し，減衰力がハードになることを点検する。

基　準

アブソーバーコントロールスイッチ	Ts—E_1短絡	TEMSインジケーター			減衰力
		SOFT	中　間	HARD	
NORM	不　要	点　灯	消　灯	消　灯	ソフト
SPORT	不　要	点　灯	点　灯	消　灯	中間（スポーツ）
SPORT	要	点　滅	点　灯	点　灯	ハード

(5) ダイアグノーシスコネクターTs—E_1を開放する。



K4760

制御機能点検

1　アンチロール点検（ステアリングセンサー機能点検）

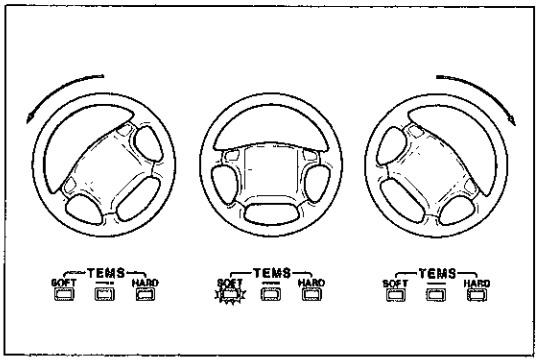
(1) ホイールを直進状態にする。

(2) ダイアグノーシスコネクターTs—E_1端子を短絡する。

(3) イグニッションスイッチをONにする。

(4) アブソーバーコントロールスイッチをNORMにする。

無断複製禁止



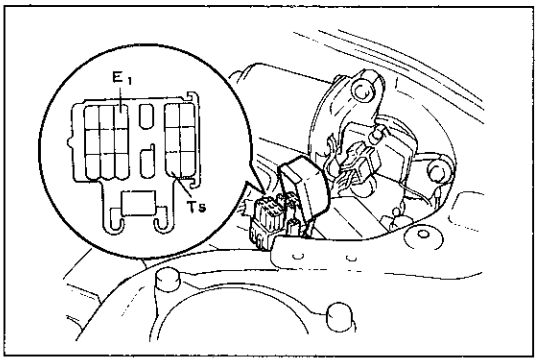
X0185

(5) ステアリングホイールを直進状態から左および右に45°以上回転させ，TEMSインジケーターの点灯状態を点検する。

基　準

ステアリングホイールの状態	アブソーバーコントロールスイッチ	TEMSインジケーター		
		SOFT	中　間	HARD
直進状態	NORM	点　滅	消　灯	消　灯
左右45°以上回転		消　灯	消　灯	消　灯

(6) ダイアグノーシスコネクターTs－E$_1$端子を開放する。



K4760

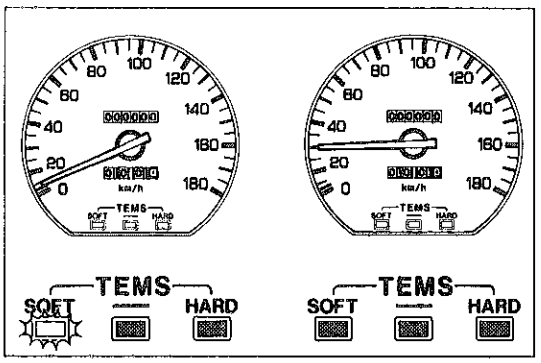
2　スピードセンサー機能点検

(1) 前輪をスピードメーターテスターに乗せ，エンジンを停止する。

(2) ダイアグノーシスコネクターTs－E$_1$端子を短絡する。

(3) イグニッションスイッチをONにする。

(4) アブソーバーコントロールスイッチをSPORTにする。



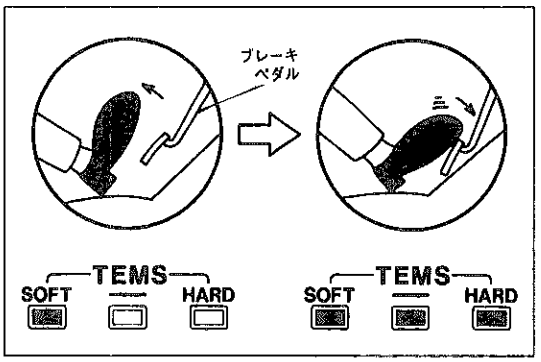
X0186

(5) エンジンを始動し，車速20km/h以上にして，TEMSインジケーターの点灯状態を点検する。

基　準

車　　速	アブソーバーコントロールスイッチ	TEMSインジケーター		
		SOFT	中　間	HARD
20km/h未満	SPORT	点　滅	点　灯	点　灯
20km/h以上		点　灯	点　灯	点　灯

(6) ダイアグノーシスコネクターTs－E$_1$端子を開放する。



X0187

3　アンチダイブ点検

(1) 前輪をスピードメーターテスターに乗せる。

(2) エンジンを始動する。

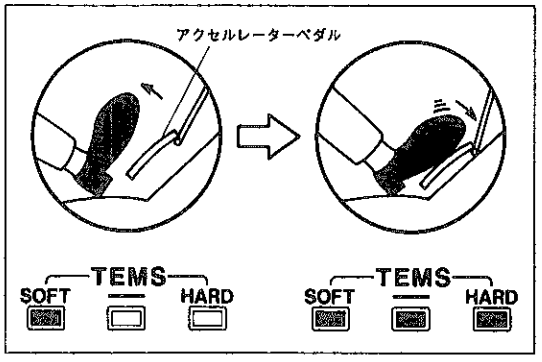
〈参考〉　アブソーバーコントロールスイッチはNORM，SPORTどちらでも良い。

(3) 車速を60km/h以上にしてブレーキペダルを踏む。

基　準　TEMSインジケーターがすべて点灯する

(4) インジケーターがすべて点灯したら，直ちにペダルを離す。

基　準　約2秒後にインジケーターが元の状態に戻る



X0188

4　アンチスクォウト点検

(1) イグニッションスイッチをONにする。

〈参考〉　アブソーバーコントロールスイッチはNORM，SPORTどちらでも良い。

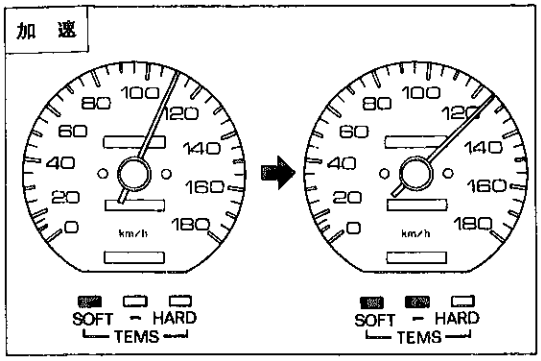
(2) アクセルレーターペダルを離した状態からいっぱいまですばやく踏む。

基　準　TEMSインジケーターがすべて点灯する

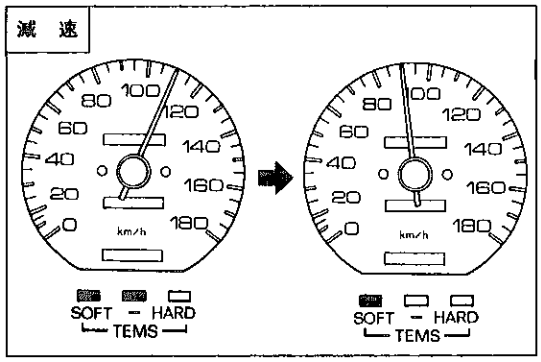
(3) インジケーターがすべて点灯したら，直ちにペダルを離す。

基　準　約2秒後にインジケーターが元の状態に戻る

無断複製禁止



K2448



K2449

5　高速感応点検

(1)　前輪をスピードメーターテスターに乗せる。

(2)　エンジンを始動し，アブソーバーコントロールスイッチNORMにする。

(3)　車速が120km/h以上の場合と，車速が120km/h以上から100km/h未満に減速した場合のTEMSインジケーターの点灯状態を点検する。

基　準

車　速　(km/h)	アブソーバーコントロールスイッチ	TEMSインジケーター		
		SOFT	中　間	HARD
0～119　(加速)	NORM	点　灯	消　灯	消　灯
120以上　(加速)		点　灯	点　灯	消　灯
100以上　(減速)		点　灯	点　灯	消　灯
100未満　(減速)		点　灯	消　灯	消　灯

注意　減速時，ブレーキペダルは踏まない。

無断複製禁止

トラブルシューティング

トラブルシューティングの進め方

1　バッテリー電圧点検

基準値　10～14V（エンジン停止時）

2　フェイルセーフ機能

(1) アクチュエーターの短絡検出時（端子間短絡およびアース短絡）は，TEMSインジケーターの中間およびHARDを消灯し，SOFTのみを30秒間点滅させた後に消灯する。また，TEMSインジケーターのウォーニング開始よりアクチュエーターの駆動をイグニッションスイッチ　OFFまで停止する。

(2) アブソーバーコントロールコンピューターの信号で，アクチュエーターがなんらかの要因により駆動されない場合，一定時間経過後（約2～4秒）TEMSインジケーターをすべて消灯し，アクチュエーターの駆動をイグニッションスイッチ　OFFまで停止する。

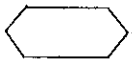
(3) 異常が解消すれば，イグニッションスイッチをOFFにして再度ONにすると正常機能に復帰する。

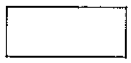
3　機能点検

(1) 機能点検を行い，不具合現象を確認する。（P6-83参照）

(2) (1)の結果をもとに，チャート指示に従って点検する。

4　フローチャートの見方

……作業する項目

……点検する項目

- 条件の記入のない項目はイグニッションスイッチ　ONで行う。
- コンピューターなどの端子記号は総配線図による。

……不具合要因

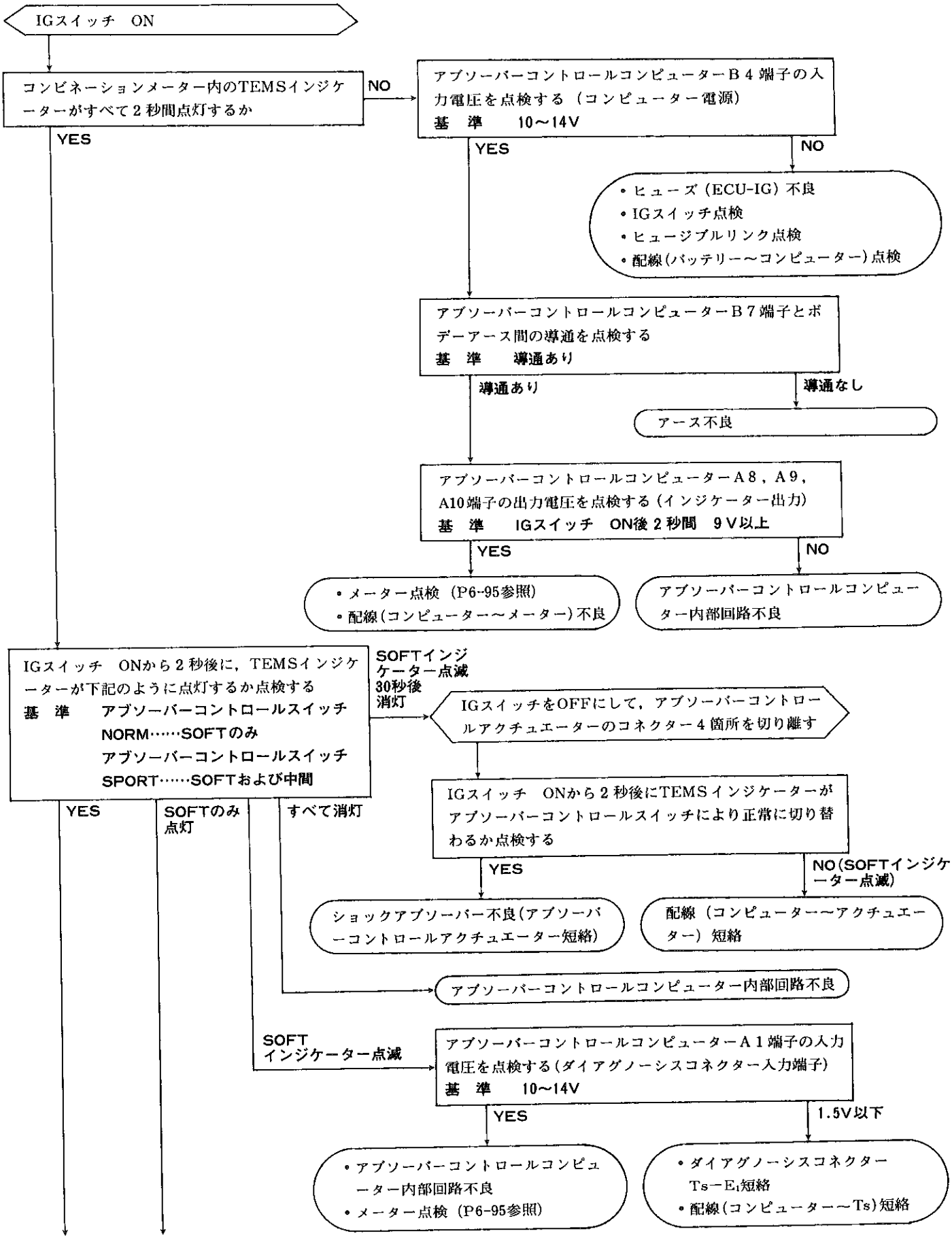
- ワイヤハーネス系も含む。

トラブル現象	チャートNo.	ページ
モード切り替え機能が働かない	0	6-87
アンチスクォウト機能が働かない	0，1	6-90
アンチダイブ機能が働かない	0，2	6-91
アンチロール機能が働かない	0，3	6-92
高速感応機能が働かない	0，4	6-93

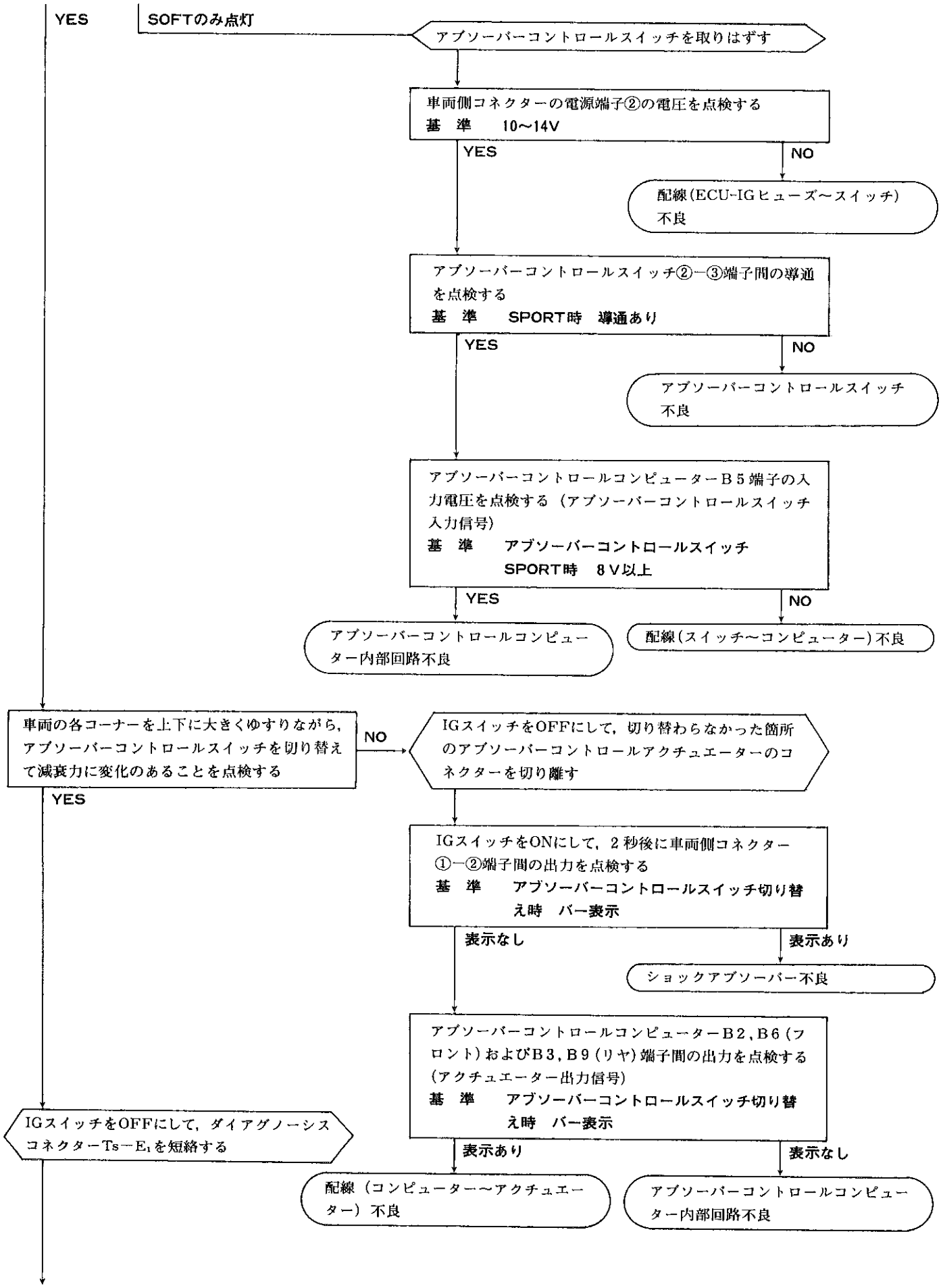
注意　アブソーバーコントロールコンピューターからアブソーバーコントロールアクチュエーターへの出力信号の点検はHzレンジを使用する。

無断複製禁止

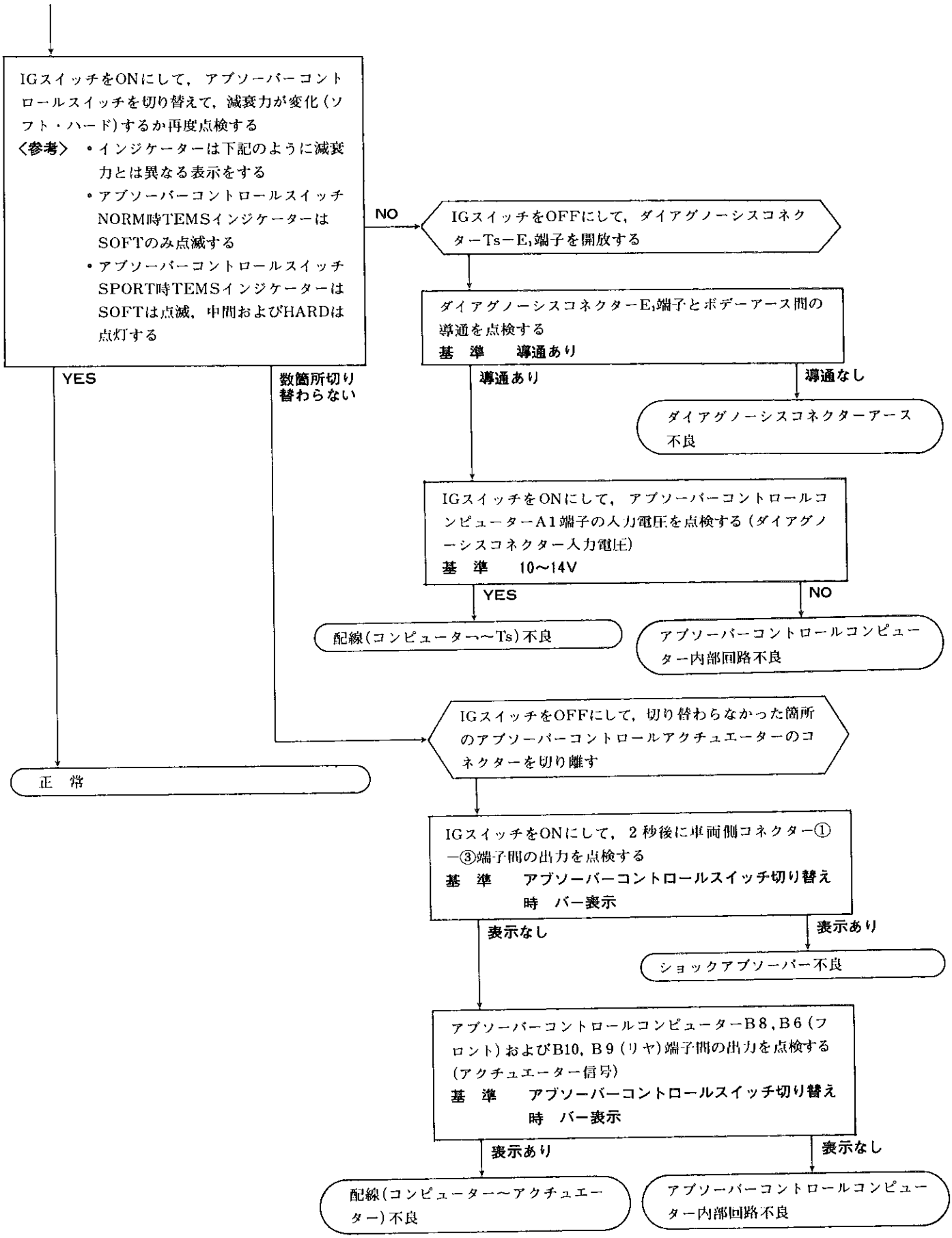
O　モード切り替え機能が働かない（手動でNORM，SPORTに切り替わらない）



無断複製禁止


YES
SOFTのみ点灯
アブソーバーコントロールスイッチを取りはずす
車両側コネクターの電源端子②の電圧を点検する
基 準 10～14V
YES
NO
配線(ECU-IGヒューズ～スイッチ)不良
アブソーバーコントロールスイッチ②—③端子間の導通を点検する
基 準 SPORT時 導通あり
YES
NO
アブソーバーコントロールスイッチ不良
アブソーバーコントロールコンピューターB5端子の入力電圧を点検する（アブソーバーコントロールスイッチ入力信号）
基 準 アブソーバーコントロールスイッチ SPORT時 8V以上
YES
NO
アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
配線(スイッチ～コンピューター)不良
車両の各コーナーを上下に大きくゆすりながら，アブソーバーコントロールスイッチを切り替えて減衰力に変化のあることを点検する
NO
IGスイッチをOFFにして，切り替わらなかった箇所のアブソーバーコントロールアクチュエーターのコネクターを切り離す
YES
IGスイッチをONにして，2秒後に車両側コネクター①—②端子間の出力を点検する
基 準 アブソーバーコントロールスイッチ切り替え時 バー表示
表示なし
表示あり
ショックアブソーバー不良
アブソーバーコントロールコンピューターB2，B6（フロント）およびB3，B9（リヤ）端子間の出力を点検する（アクチュエーター出力信号）
基 準 アブソーバーコントロールスイッチ切り替え時 バー表示
IGスイッチをOFFにして，ダイアグノーシスコネクターTs—E1を短絡する
表示あり
表示なし
配線（コンピューター～アクチュエーター）不良
アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

無断複製禁止


IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールスイッチを切り替えて，減衰力が変化（ソフト・ハード）するか再度点検する
〈参考〉 • インジケーターは下記のように減衰力とは異なる表示をする
• アブソーバーコントロールスイッチNORM時TEMSインジケーターはSOFTのみ点滅する
• アブソーバーコントロールスイッチSPORT時TEMSインジケーターはSOFTは点滅，中間およびHARDは点灯する
NO
IGスイッチをOFFにして，ダイアグノーシスコネクターTs－E1端子を開放する
ダイアグノーシスコネクターE1端子とボデーアース間の導通を点検する
基　準　導通あり
導通あり
導通なし
ダイアグノーシスコネクターアース不良
YES
数箇所切り替わらない
IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールコンピューターA1端子の入力電圧を点検する（ダイアグノーシスコネクター入力電圧）
基　準　10～14V
YES
NO
配線（コンピューター～Ts）不良
アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
IGスイッチをOFFにして，切り替わらなかった箇所のアブソーバーコントロールアクチュエーターのコネクターを切り離す
正　常
IGスイッチをONにして，2秒後に車両側コネクター①－③端子間の出力を点検する
基　準　アブソーバーコントロールスイッチ切り替え時　バー表示
表示なし
表示あり
ショックアブソーバー不良
アブソーバーコントロールコンピューターB8，B6（フロント）およびB10，B9（リヤ）端子間の出力を点検する（アクチュエーター信号）
基　準　アブソーバーコントロールスイッチ切り替え時　バー表示
表示あり
表示なし
配線（コンピューター～アクチュエーター）不良
アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

無断複製禁止

1 アンチスクォウト機能が働かない

チャートNo.0を点検する

ダイアグノーシスコネクターTs－E_1の開放を確認し，IGスイッチをONにする

アクセルペダルを全閉から全開まですばやく踏み込み，戻したときTEMSインジケーターが2秒間すべて点灯するか点検する

NO → アブソーバーコントロールコンピューターA4，A5，A6端子の入力電圧を点検する（スロットル信号）

基　準　アクセルペダルを全閉から全開へゆっくり操作
A4：4V以上→1V以下→4V以上→1V以下→4V以上
A5：4V以上→1V以下→4V以上
A6：4V以上→1V以下

YES → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

NO →
- エンジンコントロールコンピューター点検
- 配線（アブソーバーコントロールコンピューター～エンジンコントロールコンピューター）不良

YES

車両前輪をスピードメーターテスターにのせる

車速20km/h未満でアクセルペダルをすばやく全開にしたときTEMSインジケーターがすべて点灯するか点検する

NO → スピードセンサー機能点検（P6-95参照）

NO → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

YES → スピードセンサー機能点検（P6-95参照）

YES

車速30km/h以上でアクセルペダルをすばやく全開にしたときTEMSインジケーターに変化がないか点検する

NO → IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールコンピューターB1端子の入力電圧を点検する（スピードセンサー信号）

基　準　片側前輪を上げ，タイヤをゆっくり回す
1V以下～5V以上で変化

YES → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

NO →
- スピードセンサー点検（P6-95参照）
- 配線（スピードセンサー～コンピューター）不良

無断複製禁止

2　アンチダイブ機能が働かない

チャートNo.0を点検する

↓

ダイアグノーシスコネクターTs－E_1の開放を確認し，前輪をスピードメーターテスターにのせる

↓

車速を60km/h以上にして，ブレーキペダルを強く踏み込みTEMSインジケーターがすべて点灯したらペダルを戻す
基　準　約2秒間TEMSインジケーターがすべて点灯する

NO → アブソーバーコントロールコンピューターA12端子の入力電圧を点検する（ストップランプスイッチ信号）
基　準　ストップランプスイッチ　ON　8V以上
ストップランプスイッチ　OFF　1.5V以下

- YES → スピードセンサー機能点検（P6-95参照）
  - YES → IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールコンピューターB1端子の入力電圧を点検する（スピードセンサー信号）
    基　準　片側前輪を上げ，タイヤをゆっくり回す
    1V以下～5V以上で変化
    - YES → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
    - NO → ・スピードセンサー点検（P6-95参照）
      ・配線（スピードセンサー～コンピューター）不良
  - NO → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
- NO → ・ストップランプヒューズ不良
  ・ストップランプスイッチ不良
  ・配線（ストップランプスイッチ～コンピューター）不良

YES → 正　常

無断複製禁止

3 アンチロール機能が働かない

チャートNo.0を点検する

ステアリングセンサー機能点検（P6-94参照）
- NO → アブソーバーコントロールコンピューターA2，A3端子の入力電圧を点検する（ステアリングセンサー信号）
  基　準　ステアリングホイールをゆっくり回す
  1V以下～4V以上で変化
  - YES
  - NO → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
- YES

ステアリングセンサー単体点検（P6-94参照）
- YES
- NO → ステアリングセンサー不良

車両側コネクターの電源端子①の電圧を点検する
基　準　10～14V
- YES
- NO → 配線〔ヒューズ(ECU-IG)～ステアリングセンサー〕不良

車両側コネクターのアース端子⑤とボデーアース間の導通を点検する
基　準　導通あり
- YES → 配線（ステアリングセンサー～コンピューター）不良
- NO → アース不良

スピードセンサー機能点検（P6-95参照）
- NO → IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールコンピューターB1端子の入力電圧を点検する（スピードセンサー信号）
  基　準　片側前輪を上げ，タイヤをゆっくり回す
  1V以下～5V以上で変化
  - YES → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良
  - NO
    - スピードセンサー点検（P6-95参照）
    - 配線(スピードセンサー～コンピューター)不良
- YES → アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

無断複製禁止

4 高速感応機能が働かない

チャートNo. 0 を点検する

車両前輪をスピードメーターテスターにのせる

アブソーバーコントロールスイッチを NORMALにする

車速を120km/h以上にしたときTEMSインジケーターSOFT，中間が点灯するか点検する

NO

YES

アクセルペダルから足を離して，車速100km/h未満にしたときTEMSインジケーターの中間が消灯し，SOFT のみ点灯するか点検する

NO

IGスイッチをOFFにして，ダイアグノーシスコネクターTs－E_1を短絡する

E/Gを始動して，アブソーバーコントロールスイッチをSPORTにする

〈参考〉 TEMSインジケーターSOFTが点滅して中間およびHARDは点灯する

車速を20km/h以上にしたとき，TEMSインジケーターがすべて点灯する

NO

YES

アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

IGスイッチをOFFにして，ダイアグノーシスコネクターTs－E_1を解放する

IGスイッチをONにして，アブソーバーコントロールコンピューターB 1 端子の入力電圧を点検する

基 準 片側前輪を上げ，タイヤをゆっくり回す
1 V以下～5 V以上で変化

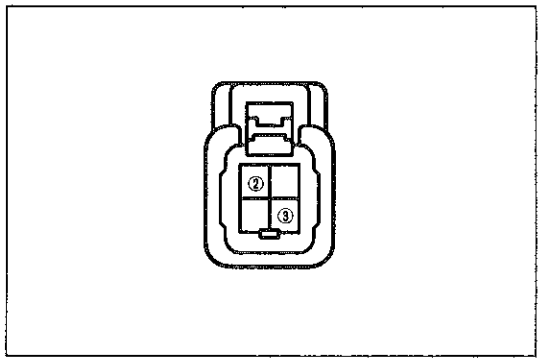
YES

NO

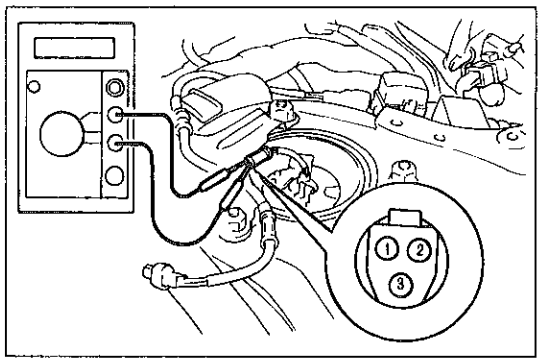
アブソーバーコントロールコンピューター内部回路不良

- スピードセンサー点検 (P6-95参照)
- 配線(スピードセンサー～コンピューター)不良

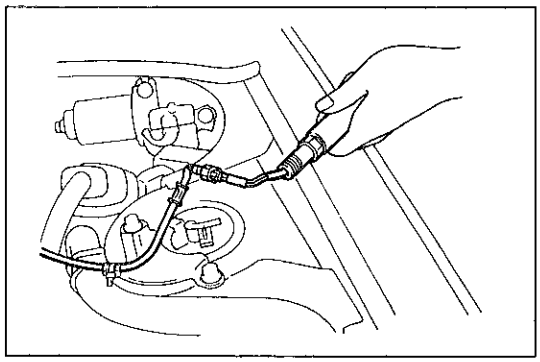
無断複製禁止

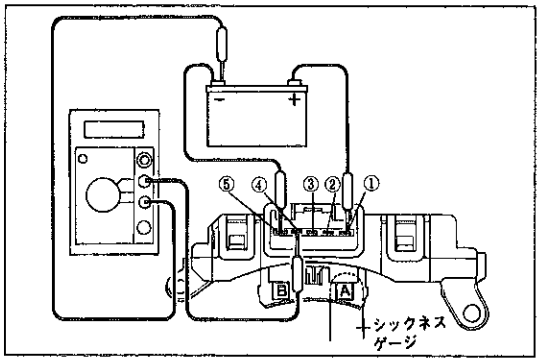


e-4-2



K4767


K4792



K4768

単体点検

アブソーバーコントロールスイッチ点検

1　アブソーバーコントロールスイッチ点検

(1)　アブソーバーコントロールスイッチを取りはずす。

(2)　各端子間の導通を点検する。

基　準

アブソーバーコントロールスイッチ	点　検　端　子
NORM	②－③端子間導通なし
SPORT	②－③端子間導通あり

フロントおよびリヤアクチュエーター

1　フロントおよびリヤアクチュエーター点検

(1)　コネクターを切り離し，各端子間の導通を点検する。

基　準　①－②端子間導通あり

①－③端子間導通あり（①－②端子間と同抵抗値）

②－③端子間導通あり（①－②端子間の抵抗値の約2倍）

〈参考〉　機能点検(減衰力点検)で異常があり，(1)の点検が正常な場合またはショックアブソーバーASSY交換時の減衰力点検は下記の要領で行う。

(2)　ショックアブソーバーを取りはずす。

(3)　イグニッションスイッチをONにする。

(4)　車両側コネクターとアブソーバー側コネクターを接続する。

注意　アブソーバーをボデーに当てない。

(5)　機能点検（減衰力点検）と同じ方法でアブソーバーの減衰力が3段階に切り替わるか点検する。(P6-83参照)

注意　アブソーバーコネクターにバッテリー電圧を加えない。

ステアリングセンサー

1　ステアリングセンサー点検

(1)　ターンシグナルスイッチASSYをはずし，スイッチASSYからステアリングセンサーを取りはずす。

注意　ステアリングホイールパッドは平坦な安定した場所に保管する。またパッド面を上にして置き，絶対に物を上に積まない。（詳細はP9-2参照）

(2)　①端子にバッテリー⊕，⑤端子にバッテリー⊖およびテスターを左図のように接続する。

(3)　左図のⒶおよびⒷの部分にシックネスゲージを入れたとき，②および④端子とアース間の抵抗を点検する。

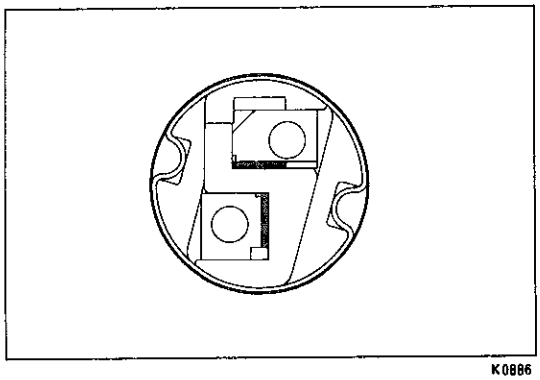
基準値

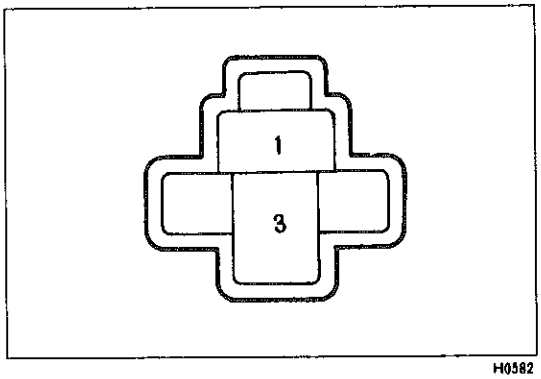
遮　光　位　置	②　端　子	④　端　子
ⒶおよびⒷとも開放	約100Ω	約100Ω
ⒶおよびⒷとも遮光	∞	∞
Ⓐのみ遮光	∞	約100Ω
Ⓑのみ遮光	約100Ω	∞

注意　・ステアリングセンサー交換時はスリップリングとセットで交換する。

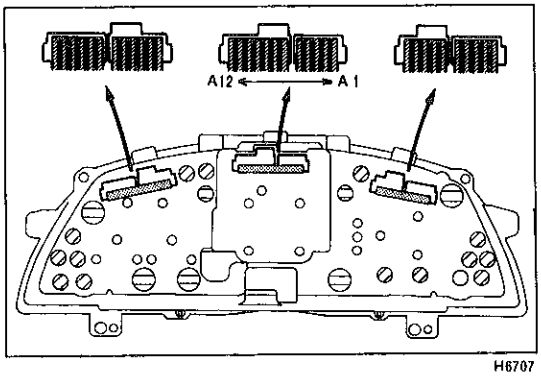
・フォトインタラプター部を汚さない。

無断複製禁止


K0886



H0582



H6707

ストップランプスイッチ

1　ストップランプスイッチ点検

A/Dなし車

(1)　ブレーキペダルを操作したときスイッチ端子間の導通の有無を点検する。

基　準　　ペダルを踏み込んだ時……導通あり
　　ペダルを踏まない時……導通なし

A/D付き車

(1)　ブレーキペダルを操作したときスイッチ端子1↔3端子間の導通の有無を点検する。

基　準　　ペダルを踏み込んだ時……導通あり
　　ペダルを踏まない時……導通なし

メーター

1　TEMSインジケーター点検

(1)　コンビネーションメーターコネクター端子間にバッテリー電圧を加えたとき，インジケーターが点灯することを点検する。

基　準

バッテリー⊕を接続する端子	バッテリー⊖を接続する端子	点灯するインジケーター
A4	A7	SOFT
A5		中　間
A6		HARD

2　スピードメーターセンサー点検

(P11-45参照)

コンピューター

1　コンピューター点検

(1)　バッテリー電圧を点検する。

基準値　　10～14V（エンジン停止時）

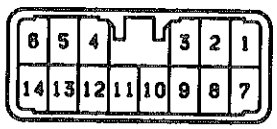
(2)　テスターにミニテストリードを接続し，イグニッションスイッチ　ONの状態で，各端子とボデーアース間の電圧および導通を点検する。

注意　・コネクターをコンピューターに接続しておき，コネクター裏側から点検する。
・コネクター出力信号測定値が基準値外の場合の不具合箇所は，コンピューター本体および出力信号の行先を示す。

無断複製禁止

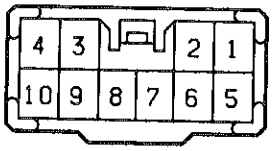
アブソーバーコントロールコンピューター

コネクターA



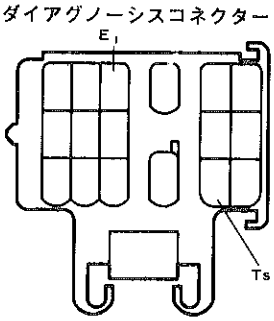
S-14-2-B

コネクターB



S-10-2

ダイアグノーシスコネクター



SH-18-1

コネクター	端子番号	端子番号	入出力	項目	測定条件	基準値 ( )内はHzレンジでのバー表示	基準値外の場合の不具合箇所
A	1	CHK	入力	電圧	ダイアグノーシスコネクター Ts—E1短絡	1.5V以下	ダイアグノーシスコネクター
					ダイアグノーシスコネクター Ts—E1開放	10～14V	
	2	SS1	入力	電圧	ステアリングホイールをゆっくり回転	1V以下～4V以上変化	ステアリングセンサー
	3	SS2					
	4	L_3	入力	電圧	スロットルを全閉からゆっくり全開へ操作	4V以上→1V以下→4V以上→1V以下→4V以上	スロットルポジションセンサーまたはエンジンコントロールコンピューター
	5	L_2				4V以上→1V以下→4V以上	
	6	L_1				4V以上→1V以下	
	8	I_3	出力	電圧	ダイアグノーシスコネクター Ts—E1短絡 アブソーバーコントロールスイッチ SPORT	9V以上	アブソーバーコントロールコンピューターまたはアブソーバーコントロールスイッチ
	9	I_2	出力	電圧	アブソーバーコントロールスイッチ SPORT	9V以上	
	10	I_1	出力	電圧	アブソーバーコントロールスイッチ NORM	9V以上	
	12	STP	入力	電圧	ブレーキペダル踏時	8V以上	ストップランプスイッチ
					ブレーキペダル開放時	1.5V以下	
B	1	SPD	入力	電圧	片側前輪を上げ，ゆっくりタイヤを回す	1V以下～5V以上変化	スピードセンサー
	2	FM+	出力	Hz	アブソーバーコントロールスイッチ NORM ↔ SPORT	(点灯)	アブソーバーコントロールアクチュエーター
	3	RM+					
	4	+B	入力	電圧	IGスイッチ ON	10～14V	電源
	5	SWS	入力	電圧	アブソーバーコントロールスイッチ SPORT	8V以上	アブソーバーコントロールスイッチ
					アブソーバーコントロールスイッチ NORM	1.5V以下	
	6	FM—	出力	Hz	アブソーバーコントロールスイッチ SPORT ↔ NORM	(点灯)	アブソーバーコントロールアクチュエーター
	7	GND	—	導通	IGスイッチ OFF 常時	導通あり	ボデーアース
	8	FCH	出力	Hz	ダイアグノーシスコネクター Ts—E1短絡 アブソーバーコントロールスイッチ NORM ↔ SPORT	(点灯)	アブソーバーコントロールアクチュエーター
	9	RM—	出力	Hz	アブソーバーコントロールスイッチ SPORT ↔ NORM	(点灯)	アブソーバーコントロールアクチュエーター
	10	RCH	出力	Hz	ダイアグノーシスコネクター Ts—E1短絡 アブソーバーコントロールスイッチ NORM ↔ SPORT	(点灯)	アブソーバーコントロールアクチュエーター

無断複製禁止